

第九十回帝國議會 衆議院

自作農創設特別措置法案外一件委員會會議錄(速記)第九回

付託議案
自作農創設特別措置法案(政府提
出)
農地調整法の一部を改正する法律案
(政府提出)
昭和二十一年九月二十三日(月曜日)午
前十時二十九分開議

出席委員
委員長 葉梨新五郎君
理事 小川原政信君 理事 上林山榮吉君
理事 山口光一郎君 理事 細野三千雄君
理事 富吉 理事 二君 理事 藤本 虎喜君
磯崎 貞序君 古賀 太郎君
田邊 讓君 三浦寅之助君
松浦 鸞君 山口 好一君
青木 浦之助君 江川 爲信君
小笹 耕作君 太田秋之助君
寺島隆太郎君 佐伯 忠義君
吉澤仁太郎君 井伊 誠一君
大澤寛代一君 高倉 輝君
堂森 芳夫君 平野市太郎君
棚橋 小虎君 麻生 正藏君
北 政清君

出席國務大臣
農林大臣 和田 博雄君
厚生大臣 河合 良成君
運輸大臣 平塚常次郎君

出席政府委員
司法事務官 奥野 健一君
厚生政務次官 服部 岩吉君
厚生參與官 佐藤 久雄君
農林事務官 三堀 參郎君
農林事務官 笹山茂太郎君
食糧管理局長官 片柳 眞吉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席者
內務事務官 八島 三郎君
本日ノ會議ニ付シテ議案
自作農創設特別措置法案(政府提
出)
農地調整法の一部を改正する法律案
(政府提出)

○葉梨委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス、前會ニ引續キ質疑ヲ續行致シマ
ス。三浦寅之助君
○三浦委員 第一ニ私ハ配給ノ問題ニ
付キマシテ、政府ニ於キマシテハ、此
ノ際思ヒ切ツテ此ノ十一月頃カラナリ
三合配給スルト云々所ノ、斷乎タル
英斷ヲ望ミタイノデアリマスガ、此ノ
點ニ對スル御意見ヲ御伺ヒシタイノデ
アリマス、本年ノ收穫ノ豫想ハ新聞等
ニ於テモ色々發表シテ居リマス、勿論
實際ノ此ノ豐作ニ依リ收穫量ハ、其ノ
調査ニ依ツテ幾分相違ハアルヤウデア
リマスガ、今年ハ例年ニナリ所ノ大豐
作デアルト云フコトハ事實デアリマ
ス、又甘藷ノ大收穫モアルノデアリマ
スシ、ノミナラズ人間ガ實際生活スル
場合ニ於テ、ドウシタ所デ三合ノ食糧
ガナケレバ明日ノ活動ハ出来ナイノデ
アリマス、現在マデニ色々ナク國內ノ食
糧事情ニ依ツテ、配給ハ二合一勺或ハ
缺配マデニナツテ居ルノデアリマスガ
レドモ、實際ニ於テハ、其ノ結果閣下
橫行シ、閣ニ依ツテ生活シテ居ルト云
フコトハ事實デアリマス、現在配給ダ
ケニ依ツテ生活出来得ナイト云フコト
ガ明ラカデアリマス以上、閣ニ依ツ
テ生活スルコトモ已ムヲ得ナイノデ

アリマス、併シナガラ現在法規ノ建前
カラ云フナラバ、閣ニ依ツテ主食用買
ツタ場合ニ於テハ直チニ處罰サレル、
例ヘバ米ニシテモ五升デモ一斗デモ閣
下買ツタト云フコトニナレバ、現在ニ
於キマシテハ、占領目的ニ反スルト云
フヤウナ嚴重ナル處分モアツテ、是ガ直
チニ起訴サレナレバ、チラナイト云フ
現狀ニアルト云フコトナラバ、其ノ結
果ヲ考ヘテ見マスルト、國民生活ノ不
安ト云フモノハ免レ得ナイノデアリマ
ス、國民生活ノ不安ガ甚イテハ官民離
間トモナリ、政府ヲ信頼シナイ所ノ結
果トモナルト云フコトハ已ムヲ得ナイ
ノデアリマス、政府ニ信頼シナイ所ノ
政治デハ、斷ジテ眞ノ政治ガ行ハレテ
居ナイコトハ明ラカデアリマシテ、私
ハ斯ウ云フ際ニ於テ三合配給スルコト
ハ、先ヅ明瞭ナル所ノ生活ヲセシムル
ト同時ニ、閣ヲ撲滅セシムル所ノ結果
ニナルト思フノデアリマス、勿論食糧
事情カラ云ツテ、殊ニ日本ノ食糧事情
ガ輸入ヲ仰ガナケレバナラナイト云フ
建前ニ於テアルコトハ、是ハ申スマデ
モアリマセヌシ、又假令本年ガ豐作デ
アリマシテモ、明年度ノ食糧事情ニ於
テ聯合軍ノ諒解ノ下ニ輸入ヲ仰ガナケ
レバナラヌト云フコトモ當然ダト思フ
ノデアリマス、併シナガラ私ハ此ノ輸
入ノ問題モ、今日日本ガ帝國憲法
ノ審議ヲ了シテ、戰爭ヲ抛棄致シマシ
テ、殊ニ侵略國家タル所ノ印象感マシ
一掃致シマシテ、從來ノ軍閥ハ退陣
シ、官僚モヤハリ退陣シテ、立派ナル
民主主義的ノ政治ガ行ハレルト云フ所

ノ此ノ情勢下ニ於テハ、十分ニ國際的
ノ信用モ回復スルコトガ出来得ルコト
ト思ヒマスルシ、又國際的ノ信用ガ回
復スルナラバ、十分ニ聯合國ノ理解ヲ
得ルコトガ出来得ルト思フノデアリマシ
テ、サウ云フヤウナ聯合國ノ十分ナル
諒解モ出来得ルナラバ、私ハ三合配給
ト云フコトハ當然ダト思フノデアリマ
ス、理窟ヲ言フト長クナリマスカラ餘
リ言ヒマセヌケレドモ、完全ニ食糧生
活ノ保障ナクシテ犯罪ヲ罰スルト云フ
コトハ、孟子ガ烏網ヲ張ツテ鳥ヲ捕
ルモノデアルト云フヤウナコトヲ言ツ
テ居ツタコトヲ、昔讀ムコトガアリ
マスルケレドモ、今日國民生活ノ最低
ノ保障ナクシテ嚴重ニ處分スルト云フ
コトハ、其ノ結果ハ却テ眞ノ日本ノ平
和文化國家ノ基礎ヲ破壊スルモノデア
ルト云フコトヲ考ヘマシテ實際ニ於キマ
シテ、私ハ三合配給ノ斷行ヲ政府ニ要
望スルモノデアリマスルガ、此ノ點ニ
對スル農林大臣ノ御意ヲ承リマス

○和田國務大臣 新食糧年度カラノ増
配ニ付キマシテハ、出来ルダケ努力ヲ
致シ、又ヤル積リデアリマスルガ、數
字ノ點ニ付キマシテハ、屢々申述ベマ
シタヤウニ申上ゲルコトハ出来マセヌ
○三浦委員 屢々御話ノアツタコトハ
分ツテ居リマスガ、其ノ數字ヲ申スコ
トノ出来ナイ事情ヲ、若シ差支ヘナカ
ツタナラバ、御話シ願ヒタイト思ヒマ
ス

○和田國務大臣 是ハ豫算總會ニ於テ
井上サンノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シ
タ通りデアリマス、速記録ヲ以テ御諒

承願ヒタイト思ヒマス
○三浦委員 ソレカラ地主ノ問題デア
リスマカ、私ハ決シテ地主ヲ擁護スル
モノデモ何デモアリマセヌ、唯從來ノ
論議ヲ聽イテ居リマス、地主ガ如何
ニモ惡徳ノ如ク、或ハ一切ノ地主ニ對
シ非難攻撃ガアルヤウデアリマスケレ
ドモ、私ハ地主中ニ於テモ、地方的ニ
農村ノ爲ニ働イテ居ル立派ナル地主モ
アルト思ヒマス、殊ニ地主層ニ於テモ、

現在働クコトノ出来得ナイ遺族ノ地主モ
アリマスルシ、或ハ年ヲ取ツテ働ケナ
イ所ノ地主モアリマス、サウ云フヤウ
ナ地主ノ人々ガ一町歩ノ保有ニ依ツテ
金納ノ小作料トナリ、或ハ不在地主ノ
場合ニ於テハ全然此ノ土地ガナクナル
ノデアリマスガ、サウ云フ氣ノ毒ナ地
主ニ對スル何等カノ救済、ト言ツテ
語弊ガアルナラバ、サウ云フ氣ノ毒ナ
ル地主ニ對スル特別ノ何かノ御考ヘガ
アリマシタナラバ、此ノ際承ツテ置キ
タイト思ヒマス

○和田國務大臣 色々ノ地主サンノ中
ニハサウ云フ氣ノ毒ナ方モアルト思フ
ノデアリマスガ、ソレハ一面カラ言ヒ
マス、或ル程度ノ負擔ヲ御忍ビテ願
フト云フコトデアリマスガ、サウ云フ
人達ニ對シマシテハ、ヤハリ土地ノ代
金其ノ他回收シマス資金ノ利用方法デ
アリマストカ、或ハ村々ニ於キマシテ
實際上其處ノ組合ナリ何ナリニ依ツテ
ソレノ方ノ更生ノ途ヲ別途ニ考ヘ
テ行クトカ、サウ云ツタヤウナコトヲ
結局ヤルコトニナルダラウ、斯様ニ考

ヘマス

○三浦委員 ソレカラ小作ノ問題デアリマスガ、私ハ第一次改革當時ニ於ケル小作料ト云フモノ、又小作人ト云フモノガ永久不變トハ考ヘラレナイノデアリマス、小作人ニハ此ノ法現ノ建前ニ於テ相當ノ耕作權モ認マラレテ居リマスガ、此ノ小作人モ二年經テ、三年、五年、十年經テ中ニハ、色々ナ家庭ノ條件ニ依ツテ小作ノ出來得ナイヤウナ場合モ生ズルデアラウト思ヒマスシ、又法規ニ依ツテ耕作權ガ確立シテ居リマスガ關係カラ見ルナラバ、一種ノ小作權利モ發生致シマス、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マス、殊ニ色々ナ農村ノ人口ノ過剩、或ハ失業等モ關係ガアリ、或ハ小作ヲ希望スルト云フヤウナ人モ出ルノデアリマスガ、一方ニ於テハ耕作ヲ繼續出來ナイ、一方ニ於テハ小作ヲ希望スルト云フヤウナ場合ニ於テハ、茲ニ一種ノ小作ノ權利トカ云フヤウナモノガ發生スルヤウニモ考ヘルノデアリマスガ、サウ云フヤウニ、小作人ガ小作ヲ繼續スルコトノ出來得ナイト云フヤウナ事情ニ立ツタ場合ニ於テ、其ノ耕作權ヲ第三者ニ讓渡シ得ルカドウカ、即チ此ノ耕作權ト云フモノノ讓渡ヲ認メルカドウカ、或ハ其ノ際ニ於テハ地主ノ承諾ガ必要デアルカドウカ、斯ウ云フヤウナ耕作權ノ讓渡ニ對スル所ノ處置ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、又小作關係ハ、小作整理ノ上カラ言ツテ出來ルダケ避ケナケレバナラナイノデアリマシテ、小作人ガ地主ノ知ラナイ内ニドシテ、貸シテ行ツテ、ソコニ又小作ガ出來テ來ルト云フコト、謂ハバ中間ノ地主ガ澤山出來テ來ルト云フコトハ出來ルダケ避ケベキコトデアリマ

シテ、將來ノ問題トシテハ、耕作權ガ確立シテ、ソコニ小作權ガ出來マスレバ、ソレハ組合ナリ何ナリニ依ツテ共同ノ管理シマシテ、サウ云ツタ又小作ノ發生ハ適當ニ之ヲ管理シテ行ク必要ガアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○三浦委員 實ハ私ハ漁業關係ノコトハ餘リ分ラナイノデスガ、個人ガ漁業權ヲ持ツテ居ル場合、其ノ漁業權ヲ借受ケテ漁業ニ從事シテ居ル、所ガ其ノ漁業權ヲ持ツテ居ル人ガ他ニソレヲ賣却シテ、サウシテ新シク漁業權ヲ持ツヤウニナツタ人ガ、從來其ノ漁業權ヲ借リテ使ツテ居ツタ人カラソレヲ取上ケルコトガ出來ルカドウカ、若シサウ云フ場合、其ノ漁業ニ從事シテ居ル人ガ、漁業權者ノ變更ニ依ツテ漁業權ガ出來ナクナルト云フコトデアルト、實際ノ漁業ノ生産ニ對シ非常ニ大キナ影響ヲ來ス、斯ウ云フ例ハ澤山アルサウデスガ、斯ウ云フ際ニ於ケル漁業權ノ賃借者ヲ保護スルコトニ付テノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○和田國務大臣 我只今漁業法上其ノ點ガドウナツテ居ルカ知リマセヌガ、農地ノ方ハ地主ガ變ツテモ、現ニ占有シテ居ル小作權ガ保護サレルコトニナツテ居ルノデ、其ノ點ハ若シモサウ云フ弊害ガアリマスレバ何トカ考ヘタイト思ヒマス

○三浦委員 ソレカラ農業ノ生産力ヲ發展セシメテ、農村ニ於ケル民主的傾向ヲ促進スルト云フ此ノ主眼カラ考ヘテ見ルナラバ、其ノ根本ヲ考ヘテ見マス、是ハ農民ヲ保護スルト云フコトモ勿論基礎デアリ、或ハ自作農ノ創設モ勿論其ノ基礎ニナルノデアリマスガ、其ノ半面ニ於テ從來農民ノ輕蔑スル思想ガ非常ニ多イノデアリマス、殊

ニ又一方ニ於テハ都會人或ハ農業ニ從事シナイ人ガ、農民ヲ非常ニ輕蔑スル、甚ダシキニ至ツテハ、私共子供ノ時代ニヨク聞イタ言葉ニ、百姓野郎ト云フヤウナ一ツノ輕蔑サレタ言葉ヲ屢々聞イタノデアリマス、所ガ又農民自身カラ申シマス、農業ニ從事シテ居ナガラ自ラ農業ニ對スル誇リヲ持ツ、百姓ハ詰ラナイモノダト云フヤウナ考ヘテ持ツテ居ル農民カ非常ニ多イノデアリマス、私ハ根本的ニ斯ウ云フ思想ヲ一掃スルニアラザレバ、眞ノ農民ノ民主化ハ出來得ナイト考ヘテ居リマス、私ノ子供ノ頃ニ聞イタ話ヲ記憶ニ殘ツテ居ルノデアリマスガ、私ノ村ニ非常ニ篤農家ガアツテ、子供ガ四人バカリアツタ、其ノ一人ガ、自分ノ財產、土地ヲドシナニ使ツテモ宜イカラ、子供ノ中ノ一人デモ洋服ヲ著タ生活ヲセシメタイト云フノガ私ノ一生ノ念願デアルト云フコトヲ申シテ居ツタト云フノデアリマス、私ハ斯ウ云フヤウナ考ヘテ一掃シテ、寧ろ農業コソ眞ノ國ノ大本デアリ、農業ノ發展コソ國ノ誇リト思想ヲ徹底セシメテコソ、所謂ヨク言ハレテ居ル所ノ官尊民卑ノ弊風ナドモ之ヲ一掃スルコトガ出來ルト思フ、立テテ農夫ハ坐セル紳士ヨリ尊シト云フヤウナコトヲ私ハ農業ノ本デアラドコトガアルガ、斯ウ云フヤウナ思想ヲ徹底セシメルコトガ私ハ根本的ニ必要ダト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ關スル農林大臣ノ御意見ヲ承リタイ

○和田國務大臣 全ク同感デアリマス、職業ニ依ツテ區別スルコトナク、ソレノ人格ガ尊重サレ、又自分デモノレダケノ自信ヲ持ツテ行クコトガ

民主主義ノ徹底デアリマスノデ、私ハ御意見ハ全ク同感ニ考ヘテ居リマス

○三浦委員 自作農ノ創設シタ場合ニ於ケル農地ノ權利ノ移轉、設定其ノ他ニ付テノ制限デアリマスガ、唯問題ハ、自作農ガ自己ノ經營ガ出來ナクナツタ場合ニ於テ、金貸カラ金ヲ借リルコトカ、或ハ肥料代ヲ支拂フコトガ出來ナクナツタト云フヤウナ場合ニ於テ、金ヲ借りテ肥料ヲ買ツタガ、凶作或ハ農産物價ノ下落等ニ依ツテ金ヲ拂フコトガ出來ナイト云フヤウナコトガ生ジタ場合ニ、金ヲ貸シタ者ガ其ノ農地ニ對シテ所謂強制執行ヲスルコトガ出來ナイヤウデアリマスガ、若シ強制執行ヲスルコトニ依ツテ、事實上ニ於テ競賣ニ依ツテ農地ノ所有者ノ變動ガ出來ルトモ考ヘルノデアリマスガ、此ノ強制執行ニ對スル處置ヲドウ云フ工合ニ御考ヘニナツテ居ルカ承リタイ

○和田國務大臣 ソレハ第一擔保ニ入レルノニハ既ニ地方長官ノ許可ヲ要スルコトニナツテ居リマス、ソレカラ強制執行ヲヤリマス場合ニ於テモ、ソレヲ誰ニ落スカト云フコトニ付テモ、ヤハリ地方長官ガ許可ナリ認可ナリヲシテ、サウ云フコトヲ抑ヘテ行クコトニナツテ居リマス

○三浦委員 ソレハ一寸、農林大臣大丈夫デスカ、強制執行ノ場合ニ於テ、地方長官ハ恐ラク干渉出來ナイノデハナイカト思フ、法的ノ根據ガアレバ別デスガ、私一寸調ベテ見タガ、法的根據ハ見當ラナイ、禁止シナケレバイケナイト云フ趣旨ハ分ルケレドモ、根據ガ分ラナイカラ……

地方長官ノ許可ガナケレバ出來ナイコトニナツテ居リマス

○三浦委員 普通ハ出來ナイガ、強制競賣マデ止メラレルカ、止メラレ、バ宜イガ、御調ベ願ツテ後デモ……

○葉梨委員長 政府ニ於テ後刻研究ノ結果御答辭申上ゲルトノコトデアリマス、御諒承願ヒマス

○三浦委員 是モハツキリサセテ置イタ方宜イト思フノデアリマスガ、今度ハ農地法ノ第二次改革デアリマス、既ニ第一次改革ノ、法律ガ御承知ノ通り昨年ノ十二月二十八日ノ法律第六十四號、勅令ガ二十一年十一月二十五日、サウシテ四月一日カラ施行ニナツタ譯デアリマス、サウシテ此ノ第一次ノ議會ヲ通過シタ法案ガ實施サレタ譯デアリマスガ、實際ニ於テ第一次ノ法案ノ中ニ色々ナ事情モアルコトハ推察致シマスケレドモ、其法律ガ實際ニ於テ實施サレテ居ラナクツタ部分ガ非常ニ多イ、例ヘバ實例ヲ舉ゲレバ、農地委員ノ選舉モ當然改正サレルコトヲ豫想シテノコトヲ思フノデアリマスガ、苟クモ法律ガ出來テ施行サレテ居ルノデアリマスガ、若シソレヲ實施シナイトスルナラバ其ノシナイ理由ヲ國民ノ前ニハツキリ分ルヤウニサセテ置カナイト、今後ノ法律ノ運用ノ問題ニ於テ疑問ヲ生ズルト思フノデアリマスガ、其ノ理由ヲ此ノ際ニ於テハツキリサセテ置ツテ置イタ方宜イト思ヒマス

○和田國務大臣 一寸速記ヲ止メテ置ツタ方宜イト思ヒマス

○葉梨委員長 一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○葉梨委員長 速記ヲ始メテ……

○和田國務大臣 自作農ノ創定サレタ農地、其ノモノニ付テノ處分ハ、全然

○和田國務大臣 全ク同感デアリマス、職業ニ依ツテ區別スルコトナク、ソレノ人格ガ尊重サレ、又自分デモノレダケノ自信ヲ持ツテ行クコトガ

○三浦委員 農林大臣ノ氣持ハ能ク分ルノデアリマスガ、唯其ノコトヲ國民ニハツキリシナイト云フト、實際ニ於テ政府ガ獨斷的ニ折角實施サレタ法律ヲ實施シナイノダト云フコトニナルト、何ダカ議會ヲ輕視シタヤウナ感シテ抱カレルカ、或ハ法律其ノモノヲ無視シタヤウナ感シモ抱ケバ抱カレルヤウナ氣ガスルノデアリマス云フ點ニ觸レタ譯デアリマス

ソレカラ是ハ私申上ゲニクイノデアリマスケレドモ、此ノ機會ニ農林大臣ニ一應意見ヲ聽イテ置キタイト思フノデアリマス、一昨日ノ委員會ニ於ケル農林大臣ノ答辯ニ於キキシテ、委員長ガ此ノ委員會ノ全部ノ空氣ヲ代表シテ、食糧管理廢止ノ問題ニ對スル農林大臣ノ意見ヲ聽イタ場合ニ於テ、農林大臣ノ直チニソレヲ否定シ、出來ナイト云フコトノ御答辯デアツタ、ソレハ實際ニ於テハ已ムヲ得ナイノカモ知レマセヌケレドモ、アノ答辯ノ仕方カラ見ルト、何ダカ議會ヲ輕視シタガ如キ印象ヲ私ハ受ケルノデアリマス、又他ノ委員カラ意見ヲ聽イテモサウ云フ意見ガ多イノデアリマス、私ハサウ云フコトハ甚ダ面白クナイノデアリマシテ、農林大臣ハ決シテ議會ヲ輕視スル意思ハナイト考ヘルノデアリマスガ、唯アノ時ノ印象ハサウ云フヤウニ受ケラレルノデアリマス、此ノ機會ニ何等カ釋明ヲ聽イテ置イタ方ガ宜イト思フノデアリマスガ、御意見ヲ伺ヒマス

○和田國務大臣 私ハ議會ヲ輕視スル意思ハ毛頭アリマセヌ、若シモサウ云フ印象ヲ與ヘマシタトシマス、是ハ私ノ不徳ノ致ス所デアリマシテ、サウ云フ意思ヲナイト云フコトヲ一ツ御諒承ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○三浦委員 ソレカラ農地委員會ノ問題デアリマスガ、農地改革ノ基本的ナ問題ヲ取扱フ農地委員會ガ働カドウカト云フコトガ、其ノ根本デアルト云フコトハ申ス、マデモナイノデアリマス、サウ云フヤウニ必要ナル基本的ナ問題ヲ取上ゲル此ノ農地委員會ニ於テ實際ノ運用ノ場合、相當ノ小作人對地主トノ對立モ出來マセウシ、又非常ニ困難ナ場合ガ起ルト思フノデアリマス、ソレヨリモ問題ハ、此ノ委員會ノ會長ヲ委員會ニ於テ互選スルト云フコトニナツテ居リマスガ、互選スルトコトニ於テモ相當難カシクナルト思フノデアリマス、併シ又互選ノ出來ナカクツタ場合ニ於テハ、地方長官ガ之ヲ選任スルコトニナツテ居リマスガ、問題ハ是ナノデス、結局ハ農地委員會ノ決議ト云フモノハ、サウ云フ工合ニ地主側ト小作人側トノ間ニ非常ニ對立シ、自作人ガ地主ニ付イタ場合ニ於テハ、五對五、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ、結局ハ地方長官ノ選任シマシテ會長ガ之ヲ決定スルコトニナル譯デアリマス、サウスルノ結局ハ一切ノ運用ノ實權、事實上ノ權利ガ地方長官ノ任命シタ所會長ニ依ツテ握ラレ、最後ノ採決ヲ受ケルト云フヤウナコトニナルト、其ノ委員會ノ運用ガ如何ニモ官僚的色彩ヲ帶ビルガ如キ印象ヲ受ケルノデアリマスガ、此ノ地方長官ニ會長選任ノ權利ヲ與ヘタ理由ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○和田國務大臣 是ハ只今三浦サノ御意見ノ中ニアリマシタヤウニ、結局兩方デ會長ヲ選ブト云フヤウニ、同意シテ會長ヲ選バレ、パソレデ宜イデアリマスガ、選バレマセヌ時ニハ——勿

論サウ云フ者ヲ選ブニ付テハ總員ノ同意ヲ要スルノデアリマスガ——結局是等ノ色々ノ行政事務ノ監督ノ長ト云ヒマスガ、運営ニ與ツテ居ル地方長官ニ其ノ選任ノ權限ヲ與ヘタ譯デアリマシテ、之ニ依ツテ必ズシモ官僚的ナ者ガ選バレルト云フコトニハ私ハ考ヘテ居ナイノデアリマシテ、サウ云フ者ヲ第一選ブカ選バスカト云フコトニ付テモ、是ハ選ブ人達ノ總同意ヲ要スルノデゴザイマスルノデアリマス、ソレ等ノ總同意ト云フモノヲ尊重シテヤルト云フコトデ、一應地方長官ト云フヤウニナツテ居リマス

○葉梨委員長 三浦君ニ申上ゲマスガ、只今水産局長ガ見エテ居リマスガ、先程ノ大臣ノ答辯デ宜シウゴザイマスカ

○三浦委員 宜シウゴザイマス、ソレカラ農地委員會ノ委員ノ選舉ハ一人一票トナツテ居リマス、ソレカラ第三條ノ色々ナル適用ノ問題ニ於テハ世帯單位トシテ居リマス、此ノ間ノ問題デアリマスガ、此ノ第三條ハ一戸ノ計畫ガ世帯單位トサレテ居リ、農地委員會ノ選舉ノ場合ニ於テハ、世帯單位トシナイデ、一人一票ニ依ツテ此ノ選舉ガ行ハレルト云フコトニナルノデアリマス、少シ實際問題トシテ世帯主ノ解釋ガ少シハツキリシナイノデアリマス、ソレカラ農地委員會ノ委員ノ選舉ハ一町ナラ一町ヲ耕作シテ居ル、所ガ其ノ世帯主ノ家ニ、土地ヲ持ツテ居ルトカ或ハ耕作シテ居ルトカト云フコトニナルト、人ナラ三人居ルト云フコトニナルト、一ツノ世帯ニ於テ三人ノ投票權ガアルト云フコトニナルノデスガ、其ノ間世帯主單位トシテ總テノ計畫ヲスルナラ、投票モ世帯單位ニシテヤッタラド

ウカ、農地委員會ノ選舉ノ場合ニ於テ一人一票ナラ計畫モ一人一票ニシナイト、實際ノ運用ノ場合ニ於テ非常ニ困難ナ場合ガアルヤウニモ考ヘラレルノデアリマスガ、ソレハ差支ヘナイデセウカ

○和田國務大臣 ソコノ所ハ初メノ農地調整法ノ時ニハ一寸矛盾ガアツタノデアリマス、個人デヤツタモノデスカラ、親父ハ地主ノ範疇ニ入り、或ハ子供ハ小作ノ範疇ニ入ルト云フヤウナ場合ガアリ得タ、今度ハ世帯單位トシテ考ヘテ、其ノ世帯ガ自作ナラ自作ト云フコトデアレバ、是ハ皆自作トシテ個々ノ人ガ一票ツツ持ツト云フコトニ致シマシテ、内部的ナ分裂ノ起ルコトヲ避ケテ居リマス

○三浦委員 ソレカラ實際ニ政府ガ買収シテ、ソレヲ計畫スル場合ニ——斯ウ云フコトハ實際ニナイカモ知レマセヌガ、私ノ知ツテ居ル中ニサウ云フヤウナコトガ豫想サレルノデアリマスガ、土地買受ノ希望ノナカクツタヤウナ場合、結局政府ガ自作農ヲ創設スル爲ニ計畫ヲシテモ、實際ニ買受ケル農家ノナカクツタ場合ニハ、其ノ土地ハドウ云フ工合ニ管理スルノデアリカ、其ノ管理ノ方法ヲ御聽キシテ置キタイト思ヒマス

○和田國務大臣 其ノ點御答ヘ致シマシタヤウニ、小作人ガドウシテモ買ハナカクツタ土地ハ、其ノ村ノ實行組合或ハ農業會ニ、ソレ等ノモノガ自作農創定ヲ將來ヤル時ノ土地トシテ賣渡シテ置キ、併シサウデナイ場合ハ、最後ノ手トシテ之ヲ農地委員會ニ管理サスコトニナリマス、隨テ農地委員會ノ管理ノ下ニ從來ノ小作人ガ耕作シテ行ク、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス

○三浦委員 モウ一ツ御伺ヒ致シマス、小作人ガ自作農ニナル爲ニ土地ヲ買フト云フコトニナルカラ、結局其ノ買受代金ノ支出ニ依ツテ、實際自作農ニハナツタケレドモ、土地改良ノ代金トカ農具、肥料或ハ家畜ニ投資スル資金ガ缺乏スル結果、農業經營ニ付テ資金ノ面ニ於テモ支障ヲ來サヤウナコトガアルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ資金ノ面ニ對スル融資ノ方法ニ付テノ御考ヘガアレバ承リタイ

○和田國務大臣 今度ノ農地改革ニ於テ地ヲ買フ爲ニ經營資金ガナクナツテ困ルト云フヤウナコトハ避ケナケレバナリマセヌ、今度ノ土地ノ賣渡ニ付テハ、或ル部分ハ小作人ガ現金ヲ以テ買取ル計畫ヲ立テ、居リマス、其ノ買取代金ノ大體三割程度ハ現金デ拂フト云フコトニナツテ居リマス、其ノ程度デアリマスレバ、我々ガ部落ニ付テ調査シタ所ニ依リマシテモ、經營資金ニサウ困難ヲ來スコトハナイト思ヒマス、併シ經營資金ニ付テハ、農業會トカ其ノ他ノ組合ノ金融ニ依ツテ融通スルノミナラズ、場合ニ依ツテハ國家ガ將來ノ經營ニ付テ補助ヲ致シタイ、國家資本ヲ導入セシメタイ、斯ウ云フコトデナケレバナラズト思ヒマス

○葉梨委員長 三浦君、殘餘ノ質疑ハ逐條審議ノ際ニ御願ヒ願ヒタイト思ヒマス

○三浦委員 ソレデハ是デ宜シウゴザイマス

○小笠委員長 出來ルダケ簡單ニ御尋ネヲ致シタイト思ヒマス、今回ノ土地制度ノ改革ハ洵ニ劃期的ノ内容ヲ持ツモノデアリダケニ、農村ニ於キマシテハ、重大ナル問題トシテ一大「センセーシヨ

ソレヲ惹キ起シテ居ルノデアリマス。隨テ中小地主ニ取ツテモ極メテ重大デ、死活ノ問題デアリ、又小作農家ニ取リマシテモ實ニ容易ナラヌモノガアルノデアリマス。該法案ハ、實質ノニ最早單ナル農地調整法ノ再改正デハナク、一種ノ農村ニ於ケル革命の性格ヲ持ツモノデアルト思フノデアリマス。要スルニ、農村ニ於ケル封建的支配階級ト目セラレテ居ル地主ノ土地ヲ取上ゲテ、其ノ支配力ヲ追放シテ農村ノ民主化ヲ圖ラントスルモノデアリマス。建設セシメテ、封建的機構ヲ改メシテ民主主義的ニ改革セントスルコトハ、絕對ニ必要デアリ、又當然トスル所デアリ。デアリマシテ、農村ニ於ケル機構制度モ革新ヲ要スルコトハ、今日ニ於テ誰モ否定スル者ハナイノデアリマス。併シ冷靜ニ考ヘマスル時ニ、人口ヲ開ケテ農村ハ軍國主義、全體主義ノ基礎デアリ且ツ温床デアツテ、其ノ由ツテ來ル所ハ封建制度ノ根源ヲナス土地制度ニアルトシテ、土地制度ノ改革ノ斷行ニ依テ農民ヲ舊イ封建的束縛カラ救フコトガ、民主主義ノ本建設途上缺クベカラザル重要ナル過程ト致シテ居ルノデアリマス。勿論民主主義農村ノ建設ニハ、土地制度ノ改革モ大ニ必要デアリコトハ申スマデモナイ所デアリマス。我々モ双手ヲ擧ゲテ贊成スルモノデアリマスガ、農村ノ民主化ニハ土地制度ノ改革ガ唯一ノ方法デアルト考ヘルコトハ、非常ニ危險デアルト考ヘルノデアリマス。農村ノ青壯年ハ、何レモ其ノ性質ガ非常ニ驕悍デアリマスシ、又眞面目デ、而モ身體モ強健ナルガ故ニ、戰爭ニ於キマシテハ完膚ナキマデニ驅使セラレタ

デアリマシテ、苦難ノ體驗ヲ嘗メテ歸リ、又敗戦ノ事實ヲ沁ム身ニ味ハツテ歸ツテ來テ居ルノデアリマス。無暴ナル戰爭ニ驅リ立テ軍部、財閥、官僚等ニ對シテハ言ヒ知レヌ憤怒ト憎惡ノ念ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、祖國ノ再建ニ對シマシテハ非常ニ根強イ所ノ熱意ヲ持ツテ居ルノデアリマス。是等ノ青壯年ヲ適正ニ指導善導スルコトハ、民主主義農村建設ノ根本ノ問題ト考ヘルノデアリマス。彼等ハ平和ヲ農村ヲ愛シ、文化ヲ望ミ、健全ナル娛樂ヲ熱望シテ居ルノデアリマス。彼等ノ教育ヲ與ヘ、農村文化ヲ指導シ、先進農業國ノ經營方法ヲ教ヘマシテ、一面又彼等ニ健全ナル農村ノ娛樂ヲ與ヘルコトガ、農村ノ封建的殘滓ヲ一掃スルニ最モ善イ所ノ方法デアルト信ズルノデアリマス。若シ政府ニシテ彼等ヲ指導スル熱意ガナク、單ニ土地制度ノ改革ニ依ツテノ民主主義的農村ノ建設ヲ圖ラントスルナラバ、却テ農村ニ暗闘ヲ起サシメ、一大混亂ヲ來サシメテ、逆效果ヲ齎ス結果トナルノデアリマス。然ルニ政府ニ於キマシテハ、其ノ點ニ於テ熱意ノ缺クルモノガアルト考ヘルノデアリマス。先般文部大臣ノ御答辯ニ依リマシテモ、實ニ頼リナイコトヲ痛感致シタノデアリマス。農村ノ民主化ハ土地制度ノ改革ト伴ヒマシテ、是等ノ若イ青壯年ノ善導指導如何ニ依ルコトト考ヘルノデアリマス。此ノ點ニ付キマシテ農村問題ニ造詣ノ深い農林大臣ノ御意見ヲ、簡單デ宜シイカラ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス。次ニ御答辯ニ於テ置キタイト、農林大臣ハ、今回ノ農地調整法ノ改正ハ、地主ノ土地ヲ買収シテ小作農ヲ自作農トスルノデアリマシテ、適正農家ノ創設ヲ意圖セスト云フヤウナ御答辯ヲ承ツタノ

アリマス。今回ノ改正ハ、實質上農村ニ於ケル革命的性格ヲ十分持ツテ居ルモノデアリマシテ、從來我が國ノ農業經營ノ規模ガ過小デ、一タビ不況ニナリマスルナラバ、直チニ貧農ノ域ヲ脱シ得ヌモノデアリマス。昭和四、五年ノ農村ノ不況ニ際シテ如何ニ農村ガ悲慘デアツタカラ、今日爾ニ必要ガアルト思フノデアリマス。今回ノ農地制度ノ改革ニ當リマシテ、所謂適正農家ノ創設ヲ期シテ、其ノ經營規模ノ擴大ヲ圖ルベキ絶好ノ時期ト信ズルノデアリマス。此ノ劃期的事業ヲ敢テ行ハントスル農林大臣ハ、何故ニ更ニ一歩ヲ進マシテ、勇斷ヲ以テ適正農家ノ創設マデ進マレナカッタカ、此ノ點ノ理由ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス。先ヅ以上ノ二點ニ付テ農林大臣ノ御考ヘヲ御尋ネ致シタイト思ヒマス。

○和田國務大臣 第一點ニ付キマシテハ、私モ御同様ニ唯農地ノ改革ダケデ農村ノ民主化ガ出來ルトハ考ヘテ居リマセヌ。唯農地ノ改革ハ其ノ必要ナ大キナ條件デアリ、基本的ナモノダト考ヘテ居ルノデアリマス。結局ソレハ農村ニ於ケル青少年ノ教育ノ問題ニ打突カツテ來ルノデアリマシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ農林省トシマシテハ、今後農村ノ青年ノ指導ト云ヒマスガ、教育ト云フ點ニ付テハ凡ニルコトヲヤツテ行キタイト思ツテ居リマス。只今デモ農林關係ノ團體ヲ通ジマシテハ、各地ニ實際上ノ講習會、而モ農業ト云フモノヲ中心ニシテノ講習會ヲ開キマシテ、相互ノ研鑽ヲ致シテ居ル譯デアリマス。唯斯ウ云フ面ダケデナシニ、或ハ農村ニ於ケル公民館ト云ヒマスガ、サウ云フ思想ヲモツト活カシテ、例ヘバ共同作業場ト云フモノガ農村ニハアリマスノデ、サウ云フ共同作業場

ヲ或ハ一種ノ圖書館ミタイナモノニシテ行クコトモ一ツノ考ヘデアリマセウシテ、或ハ私ノ本當ノ私見デアリマシテ、マダ熱シク居リマセヌガ、出來レバ實業學校、農業學校ト云ツタヤウナモノハ、農林省ノ方デモウ少シ力ヲ入レテヤルコトガ出來ルヤウニ致シマシテ、農家ノ子弟ガ十分ノ教育ヲ得ラレルコトガ出來ルヤウニ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス。農村教育ノ點ニ付テハ私モ今後大キナ問題トシテ、是非具體的ナコトヲ色々ヤツテ行キタイト考ヘデアリマス。

第二點ノ適正規模農家ノ問題デアリマスガ、今度ノ改正ニ於キマシテハ適正規模農家ノ設定ト云フコトヲ考ヘカテ拾テシマツタ譯デアリナイノデアリマス。出來マスレバ適正規模農家ヲ設定スルコトガ理想デアリマスガ、之ヲ急速ニ致スコトハ相當ノ困難ガ伴ヒマスノデ、農地ノ改革ヲ致シマシタ後、協同組合ノ組織ナリ、或ハ耕地ノ改良又ハ集團化ト云フコトヲヤル時ニサウ云フコトヲヤツタラドウカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス。勿論今度ノ場合デモ、適正規模農家ノ設定ノ出來マスヤウナ、自作農ノ創設ガ出來マス場合ニハ、勿論是ハヤル考ヘデアリマスガ、併シソレダケヲ中心ニシテハ居ナイト云フコトヲ申上ゲダノデ、適正規模農家ノ設定ヲ拋棄シタト云フコトデハ全然ナイノデアリマス。

○小笹委員 御意圖ノ程ハ了承致シマシタガ、第二點ノ、適正農家ノ創設ノ點ニ付キマシテ政府ノ執ラレヤウトシテ居リマス所ハ、單ニ所有權ノ移轉ノミヲ主眼點ニ置イテ、徒ラニ過小農ノ域ヲ脱セヌ自作農ヲ作ラウトスルヤウニ見受ケラレルノデアリマス。是ハ

近代農業經營ノ改善ニ將來一大禍根ヲ胎スモノト心配スルモノデアリマス。私ハ問題ハ自作農カ、小作農カノ土地所有ノ形態ニアラズシテ、適正經營カ否カニアルト思フノデアリマス。

（ヒヤク）小作農家ノ經濟的性格ハ、單ニ他人ノ耕作地ヲ借リテ農業經營ヲヤルト云フノデハナクテ、是等ノ持ツ性格ガ極メテ小規模ヲ不安定經營ナルガ故ニ、食糧増産ノ意欲ナリ手段ニモ乏シク、一タビ不況ニ際ラシマシタナラバ直チニ貧農ノ域ニ墜落シマシマフノデアリマス。農地制度ノ改革ハ、之ニ觸レテ初メテ將來ノ食糧問題ナリ農村問題解決ノ意欲ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマス。之ヲ離レテノ土地制度ノ改革ハ、單ニ所有權ノ移轉、形態ノ變更ニ過ギズシテ、農村問題ノ解決ノ意欲ヲ持ナイト考ヘルノデアリマス。私ハ自作農創設ハ適正農家ノ創設デナケレバナラズ信ズルノデアリマス。今回ノ改正ハ、近代農業經營ノ改善上、將來大ナル禍根ヲ胎スモノト思フノデアリマシテ、重ネテ農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス。

又最近御發表ニテリマシタヤウニ、農業綜合研究所ガ計畫セラレテ居ルヤウデゴザイマス。洵ニ結構ト存ジマスルガ、此ノ研究所ノ構想ヲ御尋ネ致シタイノデアリマス。是ハ從來ノ農業技術ノ指導ヲ主眼トセラレマスガ、此ノ農地ノ改革ヲ好機ト致シマシテ、近代のナ、新シイ農業經營ノ指導ヲ主トセラレルカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト存ジマス。

○和田國務大臣 今回ノ農地改革ハ經營ノ面ニハ觸レテナイデアリナイカト仰シヤイマスガ、ヤハリ經營ノ面ニ觸レ

テ居ルノデアリマス、方針トシテモ、耕地ノ集團化、或ハ耕地ノ交換分合ト云フコトガ同時ニ行ハレルヤウニ致シマシテ、出来ルダケ適正規模ト云フヤウナ觀念ニ即シテヤツテ行ク、斯ウ云フ考ヘハ十分採入レテ居ルノデアリマス、唯適正規模ノ問題ハ、農地ノ改革ダケデハ實ニ解決シナイノデアリマス、日本ノ今ノヤウナ現状デアリマスト、過小農ト云フモノガドウシテモ残りマス、其ノ殘ツタ遊小農ヲドウシテ行クカ、斯ウ云フ問題ト絡ミ合セマシテ、例ヘバソレノ農村加工業デアリス、例ヘバソレノ工業方面ノ發展ニ依ツテ、ソツチノ方ヘ持ツテ行クカ、又ハ協同組合ニ依ツテソレ等ノモノヲ處理シテ行クトカ、開墾ト結付ケルカ、色々ナ策ニ依ツテ初メテソコニ適正規模農家ト云フモノガ同時ニ出来得ルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、土地改革ト云フモノハ、同時ニ經營ヲ近代化スルコトヲ一ツノ大キキ目トシテヤツテ行クノデゴザイマス

ソレカラ農業綜合研究所ヘ、從來ノヤウナ、唯技術ノ指導バカリデナイデアリマス、今ノヤウニ經營ノ面ノ研究ヲセシメ、將來ノ大キキ指導ノ機關トシテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘデ居ルノデアリマシテ、出来ルダケ現在ノ日本ノ實情其ノ他色々ノ條件ヲ考慮シマシテ、農業ノ近代化ト云フコトヲ圖ツテ行ク、サウ云フコトヲ主トシテ研究サセテ行キタイト考ヘテ居リマス

○小笹委員 其次ノ點ヲ御尋ね致シタイト思ヒマス、地主ノ土地ヲ買収シテ、一部ハ小作人ガ現金ヲ拂ヒ、其ノ残りノ金ヲ證券デ以テ御支拂ヒニナルト思フノデスガ、措置法ノ第二十六條ニ依リマシテ、其ノ土地ノ代金ハ二十四箇

年ノ賦償還ノ方法デ小作者ガ拂フコトニ相成ルノデアリマス、不況ノ對策ト致シマシテハ、第二十七條ニ年賦金額ト當該農地ノ公租公課ノ金額ノ合計額ガ當該農地ノ通常收穫物ノ價格ノ三分ノ一ヲ超ユル場合、年賦金ノ支拂ニ付テハ減免、支拂猶豫、輕減ノ措置ヲ規定シテアリマスガ、最モ望シイコトハ、土地代金ヲ出来ルダケ一時ニ支拂ハセルコトデアリト思フノデアリマス、今日農村ノ大部分、勿論全部デハアリマセヌガ、大部分ハ相當ノ餘裕アリマス、農村マツテナイコト考ヘルノデアリマス、農村、永年不況ニ喘イデ居リマシテ關係上、此ノ現金ニ對シマシテハ非常ニ執著ヲ持ツテ居ルノデアリマス、金ヲ持ツテ居リマシテモ、政府ガ貸付ケテヤラウト云フコトニナリマスルナラバ、直チニ之ヲ借リルダラウト考ヘルノデアリマス、併シ將來不況ガ來タ場合ニ於キマシテ、假令年賦金デアリマシテモ、借入金ヲ殘シテ置クコトハ極メテ危險デアリト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ出来ルダケ金ヲ支拂ハスコトガ宜イ方法デハナカラウカト思フノデアリマス、勿論金ノナイ者ニ對シマシテハ、出来ルダケ借り易イ方法デ貸シテ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、斯クシテ農村ノ死藏、退藏セル通貨ヲ出来ルダケ引揚ゲマシテ、又證券ノ發行モ少クスルコトガ、今日ノ「インフレ」ノ現在ニ於キマシテ留意スベキコトト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點政府ノ方針ヲ御尋ね致シタイト思ヒマス

○和田國務大臣 全ク御同感デアリマシテ、今回ノ措置ニ於キマシテモ繰上

償還ノ途ヲ開イテ居ルノデアリマシテ、農家ニ餘裕ガアリマスレバ、是ハ幾ラデモ早ク繰上償還ヲスルコトニ致シテ、出来ルダケ早ク農家ガ此ノ年賦償還カラ免レテ、自分ノモノニ完全ニシ得ル途ヲ開イテ居ルノデアリマス、又「インフレ」ノ對策カラ致シマシテモ、農家ニアリマス餘裕ノ金ヲ都市ノ方ニ充テルト云フコトガ必要デアリマス、出来ルダケサウ云フコトニ致シタイト思ヒマス

○小笹委員 更ニ二、三點御尋ね致シタイト思ヒマス、中小地主、殊ニ小地主ニアリマシテハ、自作地ノ外ニ一町歩ノ小作地ヲ所有スルコトガ出来ルト相成ツテ居リマス、其ノ所有シ得ル限度ノ小作地ヲ幾分減少シテモ自作地ヲ増加シタイ者ニ對シテハ、私ハ之ヲ許スベキモノト考ヘルノデアリマシテ、例ヘバ現在五段歩シカ作ツテ居ラナイノデアリマスガ、五段歩ノ農業經營ハ半端ナ農業經營デ、事實農業經營ノ相成ラヌノデアリマス、ソレデ一町歩ノ小作地ヲ持チ得ルノデアリマシテ、其ノ中五段歩ヲ減少シテモ宜シイカラ、自作地ニ其ノ五段歩ヲ加ヘテ自作ヲ一町ニシタイト云フ者ニ對シテハ、適正農家ノ關係モアリマスシ、是ハ認ムベキモノデアリト考ヘルノデアリマス、小作人ノ耕作權モ認ムルト同時ニ、左様ナ零細ナ地主ノ是カラ専心農業經營ニ努力ヲシヨウト云フ者ニ對シテハ、之ヲ確保シテ、ソレ等ニ自作サスベキモノト考ヘルノデアリマスガ、ソレハ出来得ルモノデスカ、一ツ御尋ねシタイト思ヒマス

○和田國務大臣 簡單ニサウハ參ラヌノデアリマシテ、結局現狀デ一應押ヘテ居ル譯デアリマス、例ヘバ今現ニ地主

ガ五段歩シカ耕シテ居ナイト云フノハ、現狀五段歩ト云フコトデ其ノ人ハ耕作ヲ營ンデ居ルノデアリマス、ソレヲ此ノ法律化セラレル際ニ、自作ヲ殖ヤシテ一町歩ニスルコトハ簡單ニ認メテ行キマセヌ、サウ云フ問題ハ結局耕作權トノ關係ニナツテ來ル譯デアリマシテ、地主ノ自作ト小何人ノ耕作トガ打突カル譯デアリマス、是ハ今ノ所第九條ヲ處理シテ居リマス、簡單ニ今地主ノ自作シテ居ル面積ヲ擴ゲルコトヲ認メテ行クト云フ風ニハ一寸參ラナイノデアリマス

○小笹委員 其ノ持チ得ル一町歩ヲ幾分減ラシテデモ、其ノ減ラシタダケ自作ヲ殖ヤシテ行クト云フコトデ、勿論労働力其ノ他カラ見マシテ適當ナリト農地委員會ニ於ケテ認メタ場合ニ於テ出来得ルカ否カト云フコトヲ御尋ねシタイ

○和田國務大臣 ソレハ片方デ小作人ガ土地ヲ取上ゲラレルコトニナリマスノデ、第九條ノ解釋ハ非常ニ嚴格ニ致シテ居リマス、唯地主ガ自作ヲ殖ヤスト云フノデナクテ、實際上國民經濟ノ立場カラ見テ、ドチラデ作ツタ方ガヨリ多ク生産ガ上ルカラ、斯ウ云フ點カラ行ツテ居リマスルカラ、唯農地委員會ガ簡單ニ認メル、斯ウ云フ譯ニハ參リ難ナラス

○小笹委員 此ノ位ニ致シテ置キマシテ、次ニ此ノ特別措置法ノ第三條ニ依リマスルト、土地ノ所有限度ハ概ネ一町歩或ハ概ネ三町歩ト相成ツテ居リマスガ、此ノ意味ハ平均ト云フ意味デスカ、或ハ又他ノ意味ガアルカ、又府縣別ニ依ツテ制限面積ガ違フノデアリマスカ、之ヲ一ツ御尋ね致シタイ

○和田國務大臣 御答ヘ致シマス平均

ノ意味デアリマス、ソレハ中央農地委員會デ各府縣別ニ決メルコトニナツテ居リマス

○小笹委員 以上デ私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマシテ、他ノ逐條審議ノ折ニ致スコトニ致シマス

○葉梨委員長 一寸此ノ際農林大臣ニ伺ツテ置キタイノデスガ、先程ノ小笹君ニ對スル御答辭中、委員長ノ聽キ違ヒカモ知レマセヌガ、實業教育ノ面ニ對シテ、農林省ハ之ヲ所管シテ改善ヲシテ農村教育ニ進ンデ行キタイト云フヤウナ意向ノ御答辭ノヤウニ聽キマシタガ、其ノ點ハ間違ヒデアリマセウカ

○和田國務大臣 是ハ私見トシテ、私ノ希望ヲ言ハセバ、サウ云フコトモ今後ノ政府トシテ考ヘラレルノデハナイカ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、今ソレヲドウスルト云フノデアリナイノデアリマス

○葉梨委員長 所管ヲ御計畫ト云フ意味ノ御意見ノ發表デハナイノデアリマスカ

○和田國務大臣 サウデハナイノデアリマス

○江川委員 關聯シテ一言簡單ニ伺ヒマス、先程ノ小笹君ノ質問ノ、地主ガ幾ラカ小作地カラ割イテ自作ヲシヨウト云フコトニ付テ、農林大臣ハ、ソレハ中々簡單ニ行カナイト言ハレタ、簡單ニ行カナイコトハ承知シテ居リマスガ、小作人トノ間ニ話合ヒガ出来、農地委員會デ承認サレタ場合ハ差支ヘナイト思ヒマスルガ、之ニ對シテ如何ナル御見解ヲ持ツテ居ラレマスカ

○和田國務大臣 ソレハ法ノ第九條ニ依ツテ結局處理サレルノデアリマシテ、小作人ノ自由ナ意思ト地主ノ自由ナ意思ガ互ヒ二十分納得ゾクデ話合

ナ

ナ

ナ

ナ

ヒノ付イタモノハ當然デアリマス、併シ茲ニ相當考ヘナケレバナリマセヌノハ、此ノ法律ガ出來マシタ時ニ、地主ノ自耕ト云フ形デ其ノ土地ヲ取上ゲ面積ヲ擴ゲル譯デアリマス、ソコデサウ云フ面ニ之ヲ惡用サレル、ト言フト語弊ガアリマスガ、サウ云フコトハ法ノ運用ヲ濫ケテ行カケレバナラヌト思ヒマスノデ、是ハ先強言ヒマシタヤウニ、地主方面積ヲ擴ゲルカラサウ云フモノヲ許シタラドウカト云フコトニ付テハ、簡單ニ「イエス」ト言ヒ得ナイ、ソレハ小作人トノ話し合ヒ付ケバ、公ノ立場カラ見テ、片方ハ權謀デアリ、片方ハ非常ニ努力モアツテ立派ナ經營ガ出來ル、小作人トシテモ土地ヲ返スコトニ付テ納得シタ、斯ウ云フヤウナ時ニ於テハ、是ハ第九條ノ適用上農地委員會議ニ諮ツテ許サレルデアラウ、斯ウ申上ゲタノデアリマス

○江川委員 話ハ能ク分リマシタ、サウ云フコトデナクテハナラヌト存ジテ居リマス、併シナガラソレガ難カシイノドト云フヤウナ御話ニナルト、私共ハ能ク承知致シテ居リマスルケレドモ、又ソレヲ口實ニ致シマシテ、必要以上ニ強化シマシテ、地方デ色々ノ話合ヒト申シマスルカ、寧ロソレガ爭議ノ種ニナルト云フ場合ガアルノデアリマス、地主ノ關係バカリヲ惡ク言フ人モアリマスルケレドモ、隨分ト小作人ニモ惡イ人ガアル私ノ方デ斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、此ノ法律デ行キマシテモ、或ハ應召等カラ歸ツテ來タ者ハ田ヲ返シテ貰ヘルト云フコトニナツテ居ル、所ガ應召カラ歸ツテ來テ、話し合ヒガ付イテ、先ヅ馬鈴薯一作ハ地主ノ方デ作ツタ、所ガ此ノ法律案ガ出

マシテ、色々ナ話ガ色々ノ方面カラ出テ來ル、所謂迷ヒヲ起サシメルヤウナ方面、方ガ動イテ參ル、サウシテヤウ田圃、アノ畑ハ返シテ貰ヒタイ、アレハ十一月ノ幾日ニ廻ツテ效力ヲ發生スルノドカラ返シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナコトヲ……

○葉梨委員長 江川君、其ノ點ハ逐條審議ノ折ニ當然觸レル問題デアリマスカチ……

○江川委員 一寸簡單デアリマスカチ……ソレデ爭ヒニナツテ返サナカツタ、所ガ地主ハ其處ヘ大根ヲ蒔イタ、大根ヲ蒔イタ所ガ、折角大根ガ芽ガ出タニモ拘ラズ、後カラ行ツテ、五、六名ノ人ガソレヲスツカリ耕シテシマツタ、ソレガ裁判沙汰ニナツテ居ル、ソレハヤハリ小作ノ行爲デアツテ、地主ノ行爲デナイト云フヤウナ色々ノコトガアリマスニ依ツテ、所謂地主バカリガ惡イノデハナク、小作ノ方ニモ惡イコトガアルカラ、斯ウ云フコトハヤハリ公平ナ話ヲシテ戴クト、ソレガ地方ニモ公平ニ映ツテ、此ノ事業ガ巧ク圓滿ニ行クダラウト思ヒマスカラ、一言申上ゲル次第デアリマス

○葉梨委員長 農林大臣御答辯アリマスカ、今ノハ御感想ヲラウト思ヒマスカチ……

○江川委員 答辯ハ要リマセヌ、公平ニヤツテ戴ケバ結構デアリマス

○富吉委員 既ニ同僚諸君カラ蘊蓄ヲ傾ケテ色々御審議ニナリマシテ、私共十分明確ニナリマシタノデ、極メテ簡單ニ重點ニ付テ疑義ノアル所ヲ御尋ネ致シタイト思フデアリマス

ノデアリマスガ、是ハ洵ニ時勢ノ然ラシムル所ガト思フノデアリマス、何ニ致シマシテモ、此ノ土地ヲ買上ゲテ小作人ニ寛渡スト云フコトハ極メテ大事業デアリ、先程色々仰セラレタル通り革命的ナ法案デアルト思フ、私共勤勞農民ニ取リ對シテハ洵ニ一種ノ天來ノ福音トシテ歡迎致シテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ快カラズ思フ方面モ相當アリマスルノデ、此ノ法案ガ二箇年内ニ完全ナル實施ヲ終ルカドウカト云フコトハ相當ナ疑問ガ起リマスルノデアリマス、就中疑問ガ起リマスル原因ニハ、所謂町村ノ指導的ノ立場ニアラレル人ガ大體此ノ法案ニ對シテハ餘リ快ク思ハナイト云フコトガ一つ、ソレカラ官廳ノ側ニ於キマシテモ、農林省ノ案ニ對シテ、ドウモ他ノ省ガ所管外ノ事項トシテ餘リ協力シナイ、一例ヲ擧ゲマスルナラバ、此ノ農地調整法ノ昨年ノ臨時議會ニ於テ改正以後ニ於キマシテ、土地取上等ガ非常ニ起イヤウニト云フ念願ノ下ニ法律ガ改正サレタニモ拘ラズ、逆ノ結果ヲ來シタ、ソノニ於テ、私共ハ地方ニ於テ色々是等ノ問題ニ打突ツテ居ルノデアリマスガ、縣廳ナドヘ參リマシテモ、縣ノ當局ハ小作官ヲ除ク以外ハ、殆ド農地調整法ガ改正サレタト云フコトヲ知ラナイ、殊ニ内務省系統ノ警察官ナド、所謂不當ナルモノニ對シテハ相當ノ處置ヲスルト云フ法律ニモ拘ラズ、大澤君ガ指摘致シマシタヤウニ、二十五萬件アルハニ、殆ド何等ノ法的處置ガ講セラレテ居ラス、私ハ法的處置ヲ認ズルノガ善イ惡イノ議論ヲシテ居ルノデハナイノデアツテ、各省共此ノ農地改革ニ對シテ極メテ冷淡デアル、此

ノ事實カラ致シマシテ、農林當局ハ餘程懇切ツタ、徹底シタ方策ヲ御執リニナラヌト、自由黨ヲ進歩黨カラ頻リニ御指摘ニナツタヤウニ、實行ガ出來ナイヤウナ結果ヲ見ルノデハナカトラウカ、所期ク目的ヲ貫徹シ得ラレナイト云フ非常中心配ガ私ニハアルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ、重ネテ、農林大臣ニ此ノ際斷乎トシテ之ヲ二箇年内ニヤツテノケルト云フ御言明ガ願ハシイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御所見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○和國務大臣 是ハ既ニ政府ノ方デモ二箇年内ニ實行スルト云フコトガ決定シテ居ルノデアリマス、我々ト致シマシテハ、是非二箇年内ニヤリマスルヤウニ、今カラ覺悟ノ上デヤル積リデゴザイマス

○富吉委員 ソレデ了承致シマシタガ、實際地方縣廳ナドニ於ケル相當ノ地位ニ就イテ居リマス者ノ中デモ、農村デハ所謂不在地主ノ側ニ屬シテ居タリ、或ハ其ノ家族ガ殘ツテ居ルト云フヤウナ關係デ、理想トシテハ色々民主主義ヲ唱ヘテモ、實際上自分ガ地主デアル場合ニハ、中々サウ參ラナイト云フノガ洵ニ悲シムベキ人情ノ弱點デアリマスルノデ、大方法案ノ精神其ノモノニ對シテハ、議會ニ於キマシテハ、民主主義ヲ推進シナケレバナラヌ立場ニアル指導的ナ方デアリマスルカラ、法案ソレ自體ノ精神ニハ反對ハナイト思ヒマスルケレドモ、ソレガ結局分ノ所有地ヲナクシタリ、無論地主の特權ト云フテハヤカシイデスタモノガ、其ノ地位カエリ落チルト云フコトハ、容易ナラザル苦悶ガアルト思フノデアリマス、其ノ苦悶ヲ尙且

ウ敢テ斯ウシナケレバナラヌ此ノ情勢ニ向ツテハ、凡ソ其ノ局ニ當ル者ガ誠心誠意眞ニ徹底シタル氣分ヲ以テヤラナケレバイケマセヌノデ、一段ノ御努力ヲ御願ヒスル次第デアリマス

ソコデ此ノ一町歩殘サレルト云フ問題ニ付キマシテハ、自由黨進歩黨ノ間カラモチヨイ、御意見ガアリマシタカ、分ケテ社會黨ノ大澤及ビ松澤ノ兩君ガ指摘致シマシテ、大體農林省ノ御意見ハ分ツタノデアリマスルケレドモ、ドウシテモ私共之ニ納得出來ナイノデアリマス、ソレハ今モ御話ニナリマシタヤウニ一町歩殘シテ置クコト、ヤハリソコニ未練ガ殘ル、農林大臣ハ之ニ對シテ、一町歩殘シテ置クコトハ、小作制度ニ幅ヲ持タセルノデ、彈力性ヲ與ヘルノドト云フヤウナ意味ノ御答辯デアツタト思ヒマスルケレド、私ソレハドウモ極メテ薄弱デハナイカト思フノデアリマス、一町歩殘シテ置イテモ、ドウセ地主ガ勝手ニ取上ゲルコトハ出來ナイ、サウスト、小作料トシテ取ルトシマスルト、水田ニシテ最高一畝歩一石ノ小作料ト致シマシテ、大體十石ノ小作料シカ得ラレナイ、之ヲ見積リノ七十五圓ニ致シマス、七百五十圓ノ收入ヲ貰ツタノデハ、地主モ是カラ公租公課ヲ引イタリ、色々内容ヲ考慮シマス、一町歩殘サレタノハ有難迷惑デアルト思フ、蛇ノ生殺シトハ洵ニ此ノコトダト思フ、地主ノ爲ニ一町歩ガ邪隣ヲスル、或ハ又モウソレダケノ小作料ヲ取ルヨリモ、何トカ自作シタイト云フ欲求モ亦ソコニ起ツテ來ル、併シ今マデ作ツテ居ナイ地主ガ自作ヲシテ見タ所デ、是ハ駄目ナノデ

ス、ヨク世間デハ作ラウト云フ熱意ニ燃エテナドト仰シヤルケレドモ、地方

ト思フノデアリマス、其ノ苦悶ヲ尙且

思ヒマス、日本ノ耕地面積ガ非常ニ狭イモノデスカラ、八千萬人ナリト假定シテ「キロ」平方ニ對シテ千三百人臺デス、「オランダ」ベルギー「アタリ」一番世界デ一番多イノガ八百人ト云フコトデ、是非非常ニ「シリ」アスナ問題ニナツテ居ルト思ヒマスガ、唯人口調整ト云フノハ、今カラ受胎調節ヲヤリマシテモ、先ヅ六千萬臺ト云フ人口ニスル爲ニハ、細カイ算盤ハ取レナイガ、五、六十年掛ル、ソレデ人口調整ト云フ問題ハ非常ニ長イ問題デス、ソレデ勿論政府デモ考ヘテ居マスケレドモ、是ハヤハリ、講和條約ナドガハツキリシマセスト、一體日本ノ民族ト云フモノハ此ノ島ダケニドウシテモ居ラナクテハナラヌノカ、世界ニハマダ平和的ニ働ク餘地ガ多イデスカラ、サウ云フヤウナ問題モ少シ目途ガハツキリシマセスト、一寸此ノ受胎調節ト云フ問題ハ中外ニモ影響ヲ及ボスト云フヤウナ問題ガアリマシテ、困難ナ問題デスカラ、モウ少シ様子ガ決マツテ、サウ云フ問題ニ對シテハツキリシタコトヲ一般ノ輿論ニモ聽キ、サウシテヤルベキデハナカラカ、只今ノ所デハ積極的ニ必要ヲ認メナイ、ソレカラ各國ノ事例ヲ見マシテモ、積極的ニ政府ガ受胎調節ヲヤツテ居ル例ハ殆ドナイ、先ヅ民間ニヤラシテ居ルト云フ位ノ所ガ餘程進シテ居ル所デス、大體先進國ノ例ヲ見マシテモ、此ノ問題ニハ餘リ深ク入ツテ居リマセス、サウ云フヤウナ實情デス、ソレ位ノ所デ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

カ、今日ハ之ヲ止メルコトニ致シマス、ソレカラ農村工業ト云フコトガ類リニ言ハレテ居リ、此ノ農村工業ニ付テハ色々御意見モ承リマシタガ、私ハ斯クウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデスガ、農林大臣ハ如何デセウカ、製絲業ヲ思切ツタ制度トシテ一貫作業トシテ農村デヤラセル、今製絲工場ト云フモノガ資本家ノ手ニ依ツテ色々出来テ居リマシテ、出来テ居ルノラドウスルト云フノデハナイノデスガ、其ノ製絲工場ノ一番重要ナ方面ハ私ハ努力ダト思ヒマス、其ノ努力ハ結局農期トカ色々ナ方面カラ、農村ノ努力デ之ヲ賄ツテ居ルノデアリマス、之ヲ農民自體ノ家内工業、或ハ町村單位機械ヲ購入シ心配シテヤラセルナラバ、アソナ原始的ナ工業ハ農民自立派ニ出来ル、サウシマス、アノ輔ノ問題モ解決致シマス、層絲モ出テ參リマス、ソレニ附帶的ナ工業モ出テ來ル、從來ノ土地ガ廣過キテ、努力ガ少カツタ戰爭中ノヤウナ時代ナラバ、是非全然問題ニナリマセスガ、今相當「インテリ」ノ地主ノ息子トカ、或ハ半農的ナ連中、相當知識モアルシ、サウ云フ連中ガ農村ニ還元サレテ居リマスカラ、サウ云フ方面

ヲ働カスニハ是非最モ宜イコトトナ、所謂製絲業ノ一貫作業ヲ農村ニ於テヤル、此ノ心構ヘヲ御持チニナルコトガ宜イノデアリマシカト思フノデアリマスガ、ソレニ對シテノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○和田國務大臣 ソレハ私モ或ル程度贊成ナノデアリマス、例ヘバ昔ハ組合製絲ト云フモノガアツタ譯デ、之ニハ成功シタモノモアリ、或ハ失敗シタモノモアツタ譯デスガ、此ノ組合製絲ト云フヤウナモノハ、今後ハ多少考ヘ直シテ見テ、新シイ視角カラ檢討スベキモノデハナイカ、斯様ニ思フヤウナモノハ、只今デモ從來組合製絲ヲヤツタモノガ他ノ資本ト一轄ニナツテ新シイ形態デ製絲ヲヤツテ行カウ、斯ウ云フ機運モアルノデアリマス、組合製絲其ノモノハモウ一度企業形態トシテ考ヘテ見ル必要ガアルノデアリマシカト、私ハ斯ウ思フテ居リマス、從來ノ組合製絲ハ繭ノ非常ニ安イ時ニサツト持ツテ來テ、高イ時ニ他ヘ賣ツテヤルト云フヤウナ形デ、中々旨ク成立ツテ行カナカツタ點ガアル譯デアリマスガ、技術其ノモノガ他ノ技術ト違ヒマシテ、間ニ合フト云ヘバ間ニ合フノデアリマシテ、ソコニ精巧ナ技術ヲ要スルコトモ少イノデアリマス、是ハ農村ノ一ツノ工業上ノ形トシテ十分考ヘルベキコトデハナイカト思フテ居リマス

○富吉委員 其ノ點是非一ツ進メテ戴キタイ、實際出來ル所カラオヤリ下サイマスナラバ、是非見返物資トシテ、將來ニ現在モデスガ、非常ニ大キナ問題デスガ、色々農村工業ナドト云フヤウナコトヲ考ヘテ見マシテモ、種種ノ點デ高級ノ技術ヲ要スルモノハイケナイ、麥稈眞田等色々アリマセウ

ガ、是モ製品ト消費トノ關係ノ釣合ヒト云フ問題モアリマスシ、時計ナドモアリマスケレドモ、アソナモノヲヤツテモ、時計ハ三ツモ四ツモ持ツテ居ルケレバナラヌコトハナイ、是モ輸出向ニハサウナラナイト云フコトニナリマス、行詰リガ來ルノデス、將來ハ生絲、茶ト云フモノガ見返品トシテ有望ナモノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テ極力御注意ヲ御願ヒ致シマス

ソレカラモウ一點、開拓方針ニ付テ、所ハ言ヒマセスガ、或ル開拓團ヲ見テ居リマス、細カイコトハ申上ゲマセスガ、方針ヲ一ツ集約的ナ農業ニスルト云フコトニ御變ヘ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ今ノ開拓ノヤリ方ヲ見マスルト、大體一町五段カ二町ト云フヤウナ土地ヲ見込シテオヤリニナツテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ入植者ノ要員「メンバー」、構成ハ、要スルニ主トシテ復員軍人ダトカ、或ハ海外引揚同胞デアリマスルトカ、或ハ商業者カラノ轉落者デアリマスルトカ云フヤウナ、割合ニ農業ノ經驗ヲ持タナイ人ガ開拓團ノ方ニヤツテ參ルヤウデアリマス、是ハ又サウ「ナケレバ」ナラヌト思ヒマスガ、是等ノ人々ニ廣イ農耕地ヲ充ガツテ、農耕地ガ開拓サレルマデハ「トラクター」ヲ入レ、或ハ其ノ他ノ助成金デ宜シウゴザイマスガ、將來營農トシテハ、斯ウ云フ大キナ段別ヲ持タシテ果シテ其ノ勞ニ耐ヘ得ルヤ否ヤ、私ハ斯ウ思フノデス、大體文化人ハ二、三「コーヒー」ヲ飯マス、ドウモ何カ物足ラナイ、朝新聞ヲ見ナケレバイケナイ、「ラジオ」ハ全部聽カナケレバイケナイ、ソナコトデハ、トテモ開拓サレタ農耕地ヲ完全ニ移持シテ行クコトハ出來ナイノデアリ

マス、先程モ申上ゲマシタ通り、農業ト云フモノハ如何ナル方法ニ依ルト雖モ、眞ニ大地ト取組ムモノデアアル、成程一日ヤ二日ハ宜シウゴザイマスガ、毎日明ケテモ暮レテモ單調ナハサウシテ一年ニ二作カ「作シカ出來ナイヤウ」ナモノト取組シテ居ラデハ、トテモ長續キハシマセス、ダカラヤツテ居ルバ半分ニ減ツテシマフ、二年經テ三分ノ一ニナツテシマフト云フヤウナコトデ、大抵失敗ニ終ルノデアリマシカト思フノデス、食糧事情ガ何トカナリ、社會ノ經濟ガ少シ立直ツテ行クト云フコトニナルト、又ソツチノ方ニ魅力ガアツテ、會社勤メデモシタ方ガ宜イト云フコトニナツテ來ル、是ハモウ人情デアリマス、デスカラ私ハサウ云フ人々ニ對シテハ、出來ルダケ狭イ土地デ、集約的ニ、例ヘバ「トマト」トカ、西瓜「メロシ」、サウ云フ方面ヤラヌ、或ハ養鶏ヲヤラス、豚ヲ飼ハスト云フヤウナ風デ、努力ヲ當ニ次カラ次ヘ違ツタ勢力ニ轉換シテ行クト同時ニ、比較的収入モ得ラレルシ、サウシテ未熟ナ腕デモ立派ニ出來ルヤウナ仕事ヲヤラス、アノ開拓團ヲ見テモ、熱帯ノ方ニハ殆ド草一本デモ生ヤサナイノニ、開拓團ノ方ハ草茫々ト生ヤシテ居ル、モウサウナツテ來ルト、水田ハ宜シウゴザイマスガ、殊ニ畑地ノ問題デス、少シ草ニ被レマスト、モウ仕事ヲスル氣ニハナツテ來ナイノデス、ダカラ其ノ點ニ於テ出來ルダケ耕地ヲ廣クシナイト經濟ガ成リ立タナイト云フヤウナ公式的ナ考ヘ方デナシニ、小サイ面積デ、婦人モ子供モ「トマト」ノ心ヲ摘ムトカ、間引ヲスルトカ、サウ云フ仕事ハ誰デモ興味ヲ持ツテヤレル、

マ、先程モ申上ゲマシタ通り、農業ト云フモノハ如何ナル方法ニ依ルト雖モ、眞ニ大地ト取組ムモノデアアル、成程一日ヤ二日ハ宜シウゴザイマスガ、毎日明ケテモ暮レテモ單調ナハサウシテ一年ニ二作カ「作シカ出來ナイヤウ」ナモノト取組シテ居ラデハ、トテモ長續キハシマセス、ダカラヤツテ居ルバ半分ニ減ツテシマフ、二年經テ三分ノ一ニナツテシマフト云フヤウナコトデ、大抵失敗ニ終ルノデアリマシカト思フノデス、食糧事情ガ何トカナリ、社會ノ經濟ガ少シ立直ツテ行クト云フコトニナルト、又ソツチノ方ニ魅力ガアツテ、會社勤メデモシタ方ガ宜イト云フコトニナツテ來ル、是ハモウ人情デアリマス、デスカラ私ハサウ云フ人々ニ對シテハ、出來ルダケ狭イ土地デ、集約的ニ、例ヘバ「トマト」トカ、西瓜「メロシ」、サウ云フ方面ヤラヌ、或ハ養鶏ヲヤラス、豚ヲ飼ハスト云フヤウナ風デ、努力ヲ當ニ次カラ次ヘ違ツタ勢力ニ轉換シテ行クト同時ニ、比較的収入モ得ラレルシ、サウシテ未熟ナ腕デモ立派ニ出來ルヤウナ仕事ヲヤラス、アノ開拓團ヲ見テモ、熱帯ノ方ニハ殆ド草一本デモ生ヤサナイノニ、開拓團ノ方ハ草茫々ト生ヤシテ居ル、モウサウナツテ來ルト、水田ハ宜シウゴザイマスガ、殊ニ畑地ノ問題デス、少シ草ニ被レマスト、モウ仕事ヲスル氣ニハナツテ來ナイノデス、ダカラ其ノ點ニ於テ出來ルダケ耕地ヲ廣クシナイト經濟ガ成リ立タナイト云フヤウナ公式的ナ考ヘ方デナシニ、小サイ面積デ、婦人モ子供モ「トマト」ノ心ヲ摘ムトカ、間引ヲスルトカ、サウ云フ仕事ハ誰デモ興味ヲ持ツテヤレル、

○富吉委員 列國デサウ云フコトヲヤツテ居ナイト云フコトハ、何モ日本デヤラナクテモ宜イト云フコトニハナラナイ、コンナ日本ノヤウナ、軍國主義

サウ云フ風ナ集約のナ農業ヲヤラセ
ル、此ノ人達ハ相當文化程度ガ高タ
テ、頭ガ優レテ居ルノデアリマスガ
ラ、サウ云フ方面ニ創意工夫ヲ凝ラ
ト云フ風ニヤルト、私ハ從來ノ熱農ガ
ヤルヨリモ却テ成績ガ上ルト考ヘルノ
アリマス、ソレハ勿論北海道ノ端デア
ルトカ、ヒドイ山間僻地ニ開拓團ヲ入
植サセルト云フヤウナ場合ハ、集約農
業ヲスル色々ナ條件モ整ヒマスマイ
ガ、サウデナイ、例ヘバ飛行場ノ跡、
軍用地ノ跡ヲヤツテ居ル開拓團デモ、
一方ノ熱農ガ一町歩平均ヲ持ツテ居
イノニ、開拓團ハ二町歩持ツテ居
ヤウナ矛盾ニ陥ル、是ハ餘程御考ヘ
ナツテ、御方針ヲ御變ヘニナラヌト失
敗スル、斯ウマア見テ居ルノデスガ、
當局ノ御意見ヲ承リタイと思ヒマス
○和田國務大臣 御話御尤モ所ガアル
ト思ヒマス、ヤハリ開拓地ノ事情、距
離デアリマストカ、其ノ地帯ノ經營ノ
要素等デアラフと思ヒマスガ、其ノ點ハ
一ツ考ヘマシテ、營農上土地、努力ノ
無缺ノナイヤウニシタイと思ヒマス
○富吉委員 色々ゴザイマスケレド
モ、私ハ此ノ程度ニシテ置キマス
○葉梨委員長 ソレデハ田邊君、先日
保留ニナツテ居リマス厚生大臣ニ對ス
ル質疑ヲオヤリニナツタラ如何デアリ
マスカ
○田邊委員 ソレデハ時間ニナリマシ
タカラ簡單ニ御質問致シタイと思ヒマ
ス、厚生大臣ニ御質疑致シマスガ、農
村ノ生活ニ於キマシテ、固ヨリ慰安ト
カ振樂トカノ問題ハ色々オヤリニナラ
レテ居リマスガ、私ハモトモ重裏ナ、緊

急ナコトトシテ、農村カラ結構患者ヲ
撲滅スルト云フコトデアリマス、是ハ
先般貴族院ニ於テモ質疑ガ行ハレタ
ヤウデアリマシテ、厚生大臣カラ御答
辯ニナツテ居リマスガ、此ノ速記録ヲ
讀ンデ見マシタト、唯厚生大臣ハ、結
核ニ對スル劃期的ナ政策ヲ執リタイト
準備シテ居ルト云フ御答辯デアツタヤ
ウニ思ヒマス、私ハ農村ノ結構ニ付キ
マシテハ、實際ニ色々ト體験シテ居
リマス、私ガ町長ヲシテ居リマシテ、
村ノ徵兵検査ヲヤツタ時ニモ、隨分農
村ニ結構患者ガ多イト云フノデ、軍醫
カラ隨分ヤカマシク言ハレタコトガア
リマシタ、是ハ戰爭中ニ於テ殊ニソレ
ガ多カッタト云フノデゴザイマス、
今日終戦トナリマシテ、戦地ハ行ツタ
人、或ハ工場ニ於テ戰爭中働イテ居
タ人ガ、アノ實ニ不潔ナ中デ晝夜働イ
テ、非常ニ疲レテ居ルニモ拘ラズ、生
産ラ上ゲル爲ニハ之モ忍ンデヤラナケ
レバラスト云フヤウナコトノ爲ニ、
隨分結構患者ガ多クナツタ、由來農村
ハ健康ノ源泉地デアルト言ハレテ居
マシタガ、今日デハソレガ却テ都會ヨ
リモ結構ノ爲ノ死亡率ガ多クナツタト
云フコトハ、厚生大臣モ御諒承ノコト
ト思ヒマス、ソレハ此ノ保留者ガ段々
農村ニ歸ツテ來テ、サウシテ此ノ菌ヲ
バラ撒イテ、是ガ爲ニ赤十字社トカ或
ハ縣ノ方ニ於テモ對策ヲ講ジテ居リマ
スケレドモ、何シロ費用ガ掛ルモノデ
アリマスカラ、「ベツト」ノ數モ少イト
云フコトデ、又農村カラ斯ウ云フ赤十
字社ノ療養所ヘ行クトカ、縣ノ療養所
ヘ行クトカ云フコトニナリマス、費
用モ中々要リマス、ソレガ自分ノ村デ
療養スルト云フコトニナレバ、無醫村ノ
所モ段々アルト云フヤウナコトデ、才醫

者マデ行クト云フコトニナレバ、相當ノ
距離ガアルノニ乗物モナイ、ソレデハ
自宅療養ヲヤルト云フコトニナレバ、
ヤハリ今日ノ家庭ノ經濟カラ申シマシ
テ、又色々ノ點カラ中々難カシイト云
フヤウナコトデゴザイマシテ、其ノ爲
ニ段々病氣ハ殖エル一方デ、之ヲ撲滅
スル所ノ手ハナイ、放置シテアルト云
フヤウナ現狀デアリマス、之ニ對シテ
厚生大臣ハドウ云フヤウナ御考ヘヲ持
ツテオイデニナルカ、實際斯ウシテ農
村カラ病人ガドクノ出テ來ルト云フ
コトニナレバ、幾ラ今度農地改革ヲヤ
ツテ農民ガ本當ニ燃エ上ル意氣ヲ以テ
農民ノ地位ヲ安定シテ行カウト思ツテ
モ、病氣ニハ敵ハナイ、是ガドクノ
蔓延シテ來ルノ幾ラ良イ政策ヲ作ツテ
モ、ソレヲヤルノハ人間デアリマスガ
ラ、先ヅ以テ健康ヲ明開圖シテナケ
レバナラナイ、今ノヤウニ何カ知ラソ
ニ一沫ノ陰鬱ナ所デアルト云フノハ、
此ノ病氣ガ多イカラデアラ、私ハ現ニ
自分ノ村デソレヲ體験シテ居リマス
ガ、恐ラク全國のニサウ云フコトハ言
ノ御所見ヲ伺ヒタイ
○河合國務大臣 只今農村ノ結構對策
ニ付テ御質問デゴザイマシタガ、勿論
農村モ中々結構患者ガ多イヤウデスケ
レドモ、都市ノ間モアリマスノデ、
是ハ全國ヲ綜合のニ考ヘテ、實ハ思ヒ
切ツタ對策ヲ執リタイト今立案シテ居
ル所デアリマス、ヤハリ一番ノ重點
ハ、豫防ノ點ニ置キタイト思ツテ居
マス、ソレデ御承知ノ通りB.C.G注
射ノ如キハ中々效能ガアリマシテ罹病
率ヲ二分ノ一、死亡率ヲ八分ノ一ニ減ジ
テ居ルト云フヤウナ成績ニナツテ居リ

マス、聯合國側ニモ此ノ成績ハ非常ニ
能ク認メテ實ツテ居ルヤウナ次第デア
リマス、ソレデ兎ニ角之ヲ注射シテ宜シ
イニハ全部ヤリタイト云フコトガ先
ヅ第一ダト思ヒマス、此ノ追加豫算ニ
約六百萬圓位提案シテ居リマスガ、ソ
レデ先ヅ十九歲マデノ陰性ノ者全部ニ
其ノ費用デアレルマトニナツテ居リマ
ス、アト三十一歲マデノ者ハ來年度デ
ヤリタイ、大體三十二歲マデノ「ツツ
ルクリン」反應ノ陰性ノ者ハ全部ヤツ
テシマハウト云フコトガ一番先ノ問題
ダト思フ、私共ハナゼ今日マデソレガ
ヤラレナカッタカト云フコトヲ不思議ニ
思フ位デ、是ハ來年度豫算デハ全部ヤ
ルコトニナツテ居リマス、尙ホ陰性カ
ラ陽性ニ變化スル者ニ對シテハ特ニ特
別ノ注意ヲシタイ、ソレカラ其ノ他一
切ノ豫防ニ對スル細カイ色々ナ施策ガ
アリマスガ、ソレヲ放行シテヤル、現
ニ石川縣ナドニ於キマシテハ餘程積極
的ナ政策ヲ執ツテ來タ結果、死亡率ガ
餘程減ツタト云フヤウナ實績モ擧ツテ
居リマス、石川、富山等北陸地方ハ濕氣
ノ關係ガアリマシテ、中々結構患者ガ
多イ方デアリマスガ、中々好イ結果ヲ
得テ居リマスノデ、思ヒ切ツテヤレバ
相當減ズルト云フ見込ヲ持ツテ居リマ
ス、戰時中色々ナ問題デアサウデアリ
マスガ、今度ハ健康デ文化のナ最低生
活ヲ政府ハ保障シナクテハナラヌヤウ
ナコトニ憲法デモナツテ居リマス
○斯ウ云フ點ニハ餘程思ヒ切ツテ重
點ヲ置イテ差支ヘナイト考ヘテ居リマ
ス、併シ國費、豫算ノ關係モアリマス
カラ、何處マデ行キマスカ、是カラノ
問題ニナルト思ヒマス、尙ホ極メテ初
期ノ者或ハ開放性ノ結構患者ニ對スル

病院ノ隔離療法ト云フ面ニ付キマシテ
ハ、日本醫療團ヲ四、五年前設ケマ
シタ時ニ、約十萬ノ「ベツト」ヲ目標ニ
シテヤリマシタ所ガ、僅カ三萬位シカ
出來マセヌデ、成績ガ餘リ進マナイノ
デアリマスガ、幸ヒト申シマスルカ、
國立ノ陸海軍ノ病院ガ今度非常ニ餘ツ
チ參リマシタ、只今ハ主ニ引揚者、復
員者ノ方デ使ツテ居ルノデアリマス
ガ、此ノ方ガ大體片付キマス、順次
結構患者ノ方ニモ相當當テラレル、只
今其ノ「ベツト」ノ數ハ約三萬アリマ
スカラ、合セテ約六萬ト云フモノガ使用
出來ルノデアリマス、十萬ト云フ計畫
ニ對シテ六萬デアリマスカラ、マダ不
十分デアリマス、之ニ對スル病院ノ施
設、日本醫療團ノ施設ハ御承知ノ通り
巧ク行ツテ居リマセヌ、只今ハ非常ニ
病院ガ空イテ居リマス、是ハ甚ダ残念
ナコトデ、經營上ノ點モアリマス、
資金モナクテ困ツテ居ルト云フ點モア
リテ、是モ豫算ニ二千萬圓バカリノ助
成金ヲ提案スル積リニナツテ居リマス
ガ、是ガ巧ク行カナカッタ原因ハ、食糧
ノ問題ガ殆ド大部分デアリマシタ、御
承知ノ通りノ食糧事情ダツタモノデス
カラ、最モ養養ヲ必要トスル患者ニハ
中々届キマセヌノデ、此ノ點ハ段々食
糧問題ガ樂ニナツテ參リマスト同時ニ
解決シタイ、私ハ斯ウ云フヤウナ社會
的ニ最モ缺ケテ居ル申シマスガ、最
モ養養ヲ要スル人ニハ餘計行クノガ本
當ダト思フ、言葉ヲ換ヘルト、私ハ一
ツノ最低生活ニ達スルノガ目的デア
リマスカラ、餘程缺陷ノ多イ方ハ餘計
入レナケレバ此處ハ差支ヘヌト云フヤ
ウナ考ヘモ持ツテ居リマス、兎ニ角特
別ニ弱ツテ居ル人、特別ニ保護ヲ要ス

ル人ニハ特別ニ保護シナケレバイカヌ
ノデハナイカト云フ考ヘテ持ツテ居リ
マス、何處マデ斯ウ云フ點ニ重點ヲ置
ケルカ、現ニ角今後ハ食糧問題ヲ解決
ト共ニ、サウ云フ食糧難カラ病人ガ病
院ニ入レヌト云フコトハ、何トカシナ
ケレバナラヌト思ヒマス、サウカシナ
本醫療團ニ對シテモ相當改革ヲ致シ、
十分結核患者ヲ收容出來ル方途ニ進
ミタイト思ヒマス

○田邊委員 只今是非トモ「ベツト」ノ
數ヲ増シテ貰フコトト、榮養ノ足ラナ
イコトニ付テノ御答辯ガアリマシテ滿
足致シマス、是非ヤツテ戴キタイト思
ヒマス
モウ一ツ御尋ね致シタイノハ、只今
農村ガ困ツテ居ルノハ青年ノ處置デア
リマス、是ハドウ云フコトカト申シマ
スト、是マデ前線ニ居ツタ人達ガ段々
還ツテ來マシテ、何カヤリタイ、何カ
ヤラナケレバナラヌガ、何モヤレナイ
ト云フノデ毎日ブラ／＼シテ居ルト云フ
コトガ、請リ下等下劣演藝會ヲヤツテ
寄附金ノ強要ヲヤツタリ、又尖銳過激ノ
考ヘテ政治運動ニ携ハツテ見タリ、又
不良團ニ入リテ警察ニ暴ラレル人ガ
アリキス、斯ウ云フコトデ私ハ日本ノ
將來ヲ負フ中堅青年ヲ此ノ儘ニシテ置
イテハイケナイ、之ニ付テハ厚生省ト
シテハ就職ニ付テ是非トモ手ヲ打ツテ
實ハナケレバナラヌト思フ、是ガ幾ラ
農業ヲヤルカラト云ツテ、農村ニ歸リ
マシテモ今ハ農地ガナイ、殊ニ斯ウ
云フヤウニ農地制度ノ改革ヲ行ヒマス
ト、土地ガ欲シイト云ツテモ自由勝手
ニ作ル譯ニ行カナイ、農家ニハモウ相
當手ガアリマス、ト云フノハ、此ノ前
疎開アツトノ地方ニ來タ人アタリ
ガ、來テ見レバ百姓ヲスルト云フコ

トハ生易シイモノデハナイ、最初ハ生
活ニ困ルカラ食糧ヲ作ラウト云フノデ
ヤツテ見ルガ、到頭ヤレ切レナイデ逃
出ス人ガ居ル、唯農業ト云ハバ簡單ノ
ヤウデスガ、ソノ生易シイモノデハ
ナイ、況ヤ疎開シテ來タ人ナドニハ出
來ナイ、又農村ノ人デアツテモ、青
年ナドハ百姓ヲシヨウトハ思ハナイ、
何方會社ニデモ使ツテ貰ヒタイト云フ
人ガ多ク、私ノ所ニ段々サウ云フ人ガ
相談ニ來マシテ、隨分炭礦アタリニ心
配シテヤツタガ、多クハ坑内ニ入ラナ
イデ、事務員ヲ希望スル、炭礦デハ坑内
ニ入ル稼働者ヲ要求シテ居ルノデガ、
學校ヲ出テ居ル者ハソレヲ嫌フト云フ
譯デ、中々心配ガ行届カナイ、隨分私ノ
村デモ困ツタ事情ガアル、是等ハ戰時
中動員署アタリガ徵用工ヲ世話サレタ
ヤウニ、ヤハリ政府ガ青年ニ職ヲ與ヘ
テヤラナケレバ、何ト云ツテモ人間ハ食
ハザレバドウシテモ思想ガ悪クナル、
働カシテヤレバ、ヤハリ人間ハ思想ガ
良クナツテ來ルト云フコトハ理ノ當然
デアリマス、之ニ付テ厚生大臣ノ本當
ノ御信念ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○河合國務大臣 農村方面ノサウ云フ
失業者ニ對シマシテハ、農林省ヲ中心
ニシテ色々ナク積極的施設、或ハ公共事
業ナドモヤリマスシ、ソレカラ一般ノ
産業ノ面トシテハ、石炭ノ増産其ノ
他政府デ積極的ニ實ハ考ヘテ居リマ
ス、尙ホ其ノ他餘ツタ人員ニ付キマシ
テハ、厚生省補導所、共同作業所其ノ
他ニ收容シテ、出來ルだけサウ云フ人
ニ職ヲ與ヘ、積極的ニ日本ノ再建ニ資
シテ貰ハウト云フコトヲ根本的ニ考ヘ
テ居リマス
○三浦委員 關聯シテ人口問題ニ付テ
伺ヒタイ、御承知ノ通り、敗戦後問題ニ

ナツテ居ル若イ女ノ中ニハ、賣買人ノ
女バカリデナク、良家ノ子女モ相當ア
リマシテ、最近ニ於テハ身ノ振り方ニ
非常ニ困ツテ居ル女ガ多ク、斯ウ云フ
コトハ從來ノ墮胎ト云フコトニナル
ト、母體ヲ保護スルト云フ觀點カラノ
ミ行ハレテ、絕對ニ禁止サレテ居ツタ
ケレドモ、敗戦後ノ特殊事情トシテ、
サウ云フ若イ女ノ墮胎ノ身ノ振り方、
或ハ今後ノ日本ノ人口問題等、色々ナ
點カラ考ヘテ、女子ノ妊娠問題ニ對シ
テ、當然何等カノ處置——墮胎ノ方法
ヲ講ジナケレバナラヌ情勢ニアラト
思フノデアリマス、多クハ説明シマセ
ス、御分リダト思ヒマスガ、之ニ對ス
ル處置ニ付テ厚生大臣ノ御意見ヲ伺ヒ
タイト思ヒマス

○河合國務大臣 私モ多クハ申上ゲマ
セヌガ、適當ノ方法、適當ナコトデア
リツ、アルト云フコトヲ御諒承願ヒタ
イト思ヒマス
○製菓委員長 午後ハ一時半カラ再開
スルコトト致シマシテ休憩致シマス
午後零時二十四分休憩

午後一時四十六分開議
○製菓委員長 午前ニ引續キ會議ヲ開
キマス、質疑ヲ續行致シマス——松本
六太郎君 缺席 澤澤豐雄君
山本武夫君 缺席 櫻澤
徳ハ御缺席ノ諸君ハ一應棄權サレタモ
ノト認メテ、他ノ機會ニ於テ適當ニ取
計ラフコトニ致シタイト思ヒマス——
ソレデハ山口好一君

○山口(好)委員 本法ニ付キマシテハ、
今マデノ質問者カラ諸問題ニ付テ質疑
ガナサレマシテ、大分盡シタヤウデア
リマスガ、尙ホ私ガ疑問ト致シマス
ル點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

第一ニ、今マデノ質疑者カラモ、本
法ガ憲法違反ニナリハシナイカト云フ
ヤウナ質疑ガアリ、之ニ對シテ農林大
臣ハ簡單ニ御答ヘナサレタヤウデアリ
マスガ、是ハ中々サウ輕率ニ行カナ
イノデハナイカト思フノデアリマス、
併シ私ハ本法ノ終局ノ目的ニ付テハ大
體ニ於テ贊成ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス、否寧ロ此ノ法律ガ將來完全ニ行ハ
レルヤウニ希望致シテ居ルモノデアリ
マスルガ、我々ノ所屬スル自由黨内ニ
於キマシテモ、殊ニ今度ノ憲法改正ニ
委員長トシテ携ハリマシタ若田氏ナ
ドモ、此ノ點ニ付テ心配ヲ致シテ居
ルノデアリマス、現在トシテヨクモ、寧
ロ將來ニ於テ憲法違反ト云フ問題ガ起
キハシナイカ、此ノ法律ガ憲法違反デ
ハナイカト云フヤウナコトガ將來ニ於
テ起ツテ争ヒ種ニナツタナラバ、宜
シクナイコトデアアルト云フノデ、心配
ヲシテ居ル向モアリマスノデ、此ノ點
ヲ私モ篤ト伺ヒマシテ、尙ホ十分御研
究ヲ願ヒ、御考慮ヲ願ヒタイト思ツテ
居ル次第デアリマス、或程現行憲法ニ
依リマスレバ、第二十七條ニ「日本臣民
ハ其ノ所有權ヲ侵サレ、コトナシ、公
益ノ爲ニ必要ナル處分ハ法律ノ定ムル
ニ依ル」ト、唯斯ウシテアリマシテ、公
益ノ爲ニ必要ナル處分ハ、法律ヲ以テ
定ムレバ、是ガ出來ルノデアアルト云フヤ
ウナ解釋ニモナルノデアリマスガ、ヤハ
リソコニハ條件ガアリマシテ、「公益
ノ爲ニ必要ナル處分」ト云フ風ニナツテ
居リマス、サウシマスレバ、今度ノ此
ノ農地調整法ニ於ケル改正ハ、調期的ナ
モノデアリマシテ、斯標ナル人ノ財產
權ヲ政府ノ一方ノ行為ニ依リマシ
テ、定メニ依リマシテ、處分スル法律
ハ日本ニ未ダ曾テナイノデアリマス、

買上價格ノ點ニ付テモ、政府ノ今度ノ
案ト致シマシテハ、一方的ニ定メタ價
格デ強制的ニ之ヲ買上ゲルヤウニナツ
テ居ルノデアリマス、更ニ其ノ目的
ハ、成程大キク見マスレバ、農村ニ於
ケル民主化ト云フ大目的ニ向ツテ居ル
ト云フ意味ニ於キマシテ、公益ノ爲ト
云フコトガ言ヘルカモ知レマセヌガ、
政府ガ之ヲ買上ゲマシテ、更ニ個人ニ
賣渡スト云フコトニ相成リマスルノ
デ、必ズシモ是ハ公益ノ爲ト率直ニ、
直接的ニハ言ヘナイコトニナルノデハ
ナイカト思フノデアリマス、斯ク申ス
モ知レマセヌガ、我々ハ進んで此ノ社
會情勢ヲ考ヘルト同時ニ、又退イテ
斯クノ如キ制度ニ付キマシテハ、
ヨクノ保守的ト云フヤウニ意味デハナ
シニ、能クシククリト又退イテ考ヘル
必要ガアル、左様ナ意味ニ於テ此ノ問
題ヲ取上ゲテ能ク考ヘナケレバナラ
ナイト思フノデアリマス、而シテ此ノ民
主主義的ノ所有權ニ對スル、財產權ニ
對スル最モ進シテ考ヘ方ト致シマシ
テ、今度ノ改正憲法ノ條章ニ之ヲ見ル
コトガ出來ルト思フノデアリマシテ、
今度ノ改正憲法ノ第二十七條ニ依リマ
スレバ、財產權は、これを使してはな
らない、財產權の内容は、公共の福祉
に適合するやうに、法律でこれを定め
る、更に第三項ニ「私有財產は、正當
な補償の下に、これを公共のために用
ひることが出来る」、斯ウ云フ規定デア
リマシテ、現在並ニ將來ト致シマシテ、
憲法上我々ガ私有財產ヲ考ヘル場合ニ
ハ、今度ノ修正憲法ニアリマスルヤウ
ナ考ヘ方ヲ以テ行カナケレバナラナイ
ト思フノデアリマス、サウシマスル
ト、今度ノ憲法ノ第二十七條ノ——修

買上價格ノ點ニ付テモ、政府ノ今度ノ
案ト致シマシテハ、一方的ニ定メタ價
格デ強制的ニ之ヲ買上ゲルヤウニナツ
テ居ルノデアリマス、更ニ其ノ目的
ハ、成程大キク見マスレバ、農村ニ於
ケル民主化ト云フ大目的ニ向ツテ居ル
ト云フ意味ニ於キマシテ、公益ノ爲ト
云フコトガ言ヘルカモ知レマセヌガ、
政府ガ之ヲ買上ゲマシテ、更ニ個人ニ
賣渡スト云フコトニ相成リマスルノ
デ、必ズシモ是ハ公益ノ爲ト率直ニ、
直接的ニハ言ヘナイコトニナルノデハ
ナイカト思フノデアリマス、斯ク申ス
モ知レマセヌガ、我々ハ進んで此ノ社
會情勢ヲ考ヘルト同時ニ、又退イテ
斯クノ如キ制度ニ付キマシテハ、
ヨクノ保守的ト云フヤウニ意味デハナ
シニ、能クシククリト又退イテ考ヘル
必要ガアル、左様ナ意味ニ於テ此ノ問
題ヲ取上ゲテ能ク考ヘナケレバナラ
ナイト思フノデアリマス、而シテ此ノ民
主主義的ノ所有權ニ對スル、財產權ニ
對スル最モ進シテ考ヘ方ト致シマシ
テ、今度ノ改正憲法ノ條章ニ之ヲ見ル
コトガ出來ルト思フノデアリマシテ、
今度ノ改正憲法ノ第二十七條ニ依リマ
スレバ、財產權は、これを使してはな
らない、財產權の内容は、公共の福祉
に適合するやうに、法律でこれを定め
る、更に第三項ニ「私有財產は、正當
な補償の下に、これを公共のために用
ひることが出来る」、斯ウ云フ規定デア
リマシテ、現在並ニ將來ト致シマシテ、
憲法上我々ガ私有財產ヲ考ヘル場合ニ
ハ、今度ノ修正憲法ニアリマスルヤウ
ナ考ヘ方ヲ以テ行カナケレバナラナイ
ト思フノデアリマス、サウシマスル
ト、今度ノ憲法ノ第二十七條ノ——修

正ノ簡條デハ第二十九條ニナツテ居リ
マスルガ、其ノ第三項ニ「私有財産は、
正當な補償の下に、これを公共のため
に用ひることが出来る」と云フヤウ
ニナツテ居ルデアリマス、先少以
テ「公共のため」と云フ其ノ目的ヲ示
シ、更ニ之ヲ公共用ニ用ヒル爲ニハ、
フコニ私有財産ノ所有者ニ對シテ正當
ナル補償ガナサレナケレバナラナイ、
斯ウ云フヤウニ相成ツテ居ル次第デア
リマス、此ノ憲法ノ財産權不可侵ニ對
スル精神カラ見マシテ、私ハ本法ハ端
的ニ公用ニ供スルモノデアアル、公共
爲ニ之ヲ用ヒルモノデアアルト云フ點ニ
於テ疑點ガアルト同時ニ「正當な補償
の下に」と云フ、此ノ買上價格ノ點ニ付
テモ疑問ナキ能ハナイデアリマス、
此ノ「正當な補償」と云フ言葉ノ中ニ
ハ、ヤハリ其ノ時代ニ即シ、其ノ時ニ
於テ所謂時價ニ見積ラレタル所ノ價
格、所有者ガ其ノ時ニ於テ正當ナリト
思料セラレ、又一般ガ此ノ價格ヲ以テ
先少現在ニ於テハ正當デアアルトスル、
此ノ財産ノ所有者並ニ一般ノ輿論ニ於
キマシテ、ヤハリ正當ナ補償デアアルト
云フ風ナ實質的ナモノヲ持タナケレバ
ナラナイデアハナイカト思フデアアリ
マス、今日農村ヲ見マスノニ、成程小作
人ノ人々ハ安ク土地ガ買ヘルト云フノ
デ喜ンデ居ル向モアリマスガ、實際ノ
氣持ヲ聞キマスノニ、是デハ餘リ地主
サンニモ可哀想ダ、酷イト云フコト
ハ、一般小作人モ之ヲ認メテ居ル所デ
アリマス、法ノ根據ヲ釋キマスノニ、
元來ガアノ賃貸價格ナルモノハ、租稅
法ニ基キマシテ、稅務署ノ役人ガ各土
地ニ付テ實際ノ精密ナル調査ヲシテ定
メタルモノデハナク、寧ロ杜撰ナルモ
ノナノデアリマス、遠クノ方カラ遙カ

彼方ヲ眺メマシテ、アノ土地ハ少シ濕
ツテ居ルカラ賃貸價格ガ低イ、コナラ
ハ少シ高イト云フヤウナコトデ、大體
ノ所謂見當ヲ以テ古ク定メタルモノ
アルノデアリマス、此ノ賃貸價格ヲ基
礎ニ致シマシテ、田ハ四十倍、畑ニ付
テハ四十八倍ト云フヤウナコトデ買上
ヲ致サント致スノデアリマシテ、是ハ
何處ニ其ノ正當ナル補償ト云フ根據ヲ
見出シ得ルカ、ドウ云フ御氣持デ農林
大臣ハ此ノ價格ヲ正當ナリト致サル、
ノカ、此ノ點ガハツキリ致シマセヌ
ト、將來ニ向ヒマシテモ、此ノ強制買
上ハ適法デナイ、憲法ニ違反スルモノ
デハナイカト云フヤウナ議論ガ生ジテ
來ルノデアリナイカト私ハ思ヒマス、時
間モノナイノデ、細カイ具體的ナ價格ノ
問題ハ申上ゲマセヌガ、我々ガ一般觀
念トシテ、常識ト致シマシモ、低イト
云フコトハ分ルノデアリマシテ、實際
ニ行ハレマス田畑ノ賣買ニ於キマシ
テハ、一段歩ニ付テ安クテモ千圓或ハ
二千圓ト云フ賣買價格ヲ以テ實際ハ取
引サレテ居ルツデチマシテ、是ガ一
町歩ニ付テ獎勵金モ加ヘマシテ約千圓
位デアアルト云フヤウナコトニ相成ルノ
デアリマシテハ、一般社會通念カラ申
シマシテ、是ハ到底正當ナ補償ト云フ
風ニハ言ヘナイト思フノデアリマス、
斯クノ如ク公共ノ目的ト云フ點ト正當
ナ補償ト云フ點ニ於キマシテ、大イニ
此ノ法律ハ憲法上カラ見テ疑義ガアル
ト思ヒマスノデ、此ノ點ニ付テノ農林
大臣ノ御考ヘヲ伺ヒタイト思ヒマス

○和田國務大臣 憲法ノ問題ニ付キマ
シテハ、懃カ貴族院デ同様ノ御質疑ニ
對シマシテ主務大臣カラ御答ヘガアツ
タ譯デアリマス、是ハ此ノ前農地調整
法ヲ出シマシタ時モ、憲法違反デハナ
イカト云フコトガアツタノデアリマ
ス、其ノ時ニ懃カ松本國務相ガ、是ハ
憲法違反デハナイ、公益事業ト云フモ
ノノ中ニハ自作農創設事業ト云フモノ
ハ入ルノダ、斯ウ云フ解釋ヲシテ居ル
ノダト云フコトヲ述ベラレタノデアツ
テ、今回モ土地ヲ買取ルト云フノハ、
何モ土地ヲ買上ゲテ政府ガ儲ケルト云
フヤウナコトデナク、是ハ自作農創設
事業ト云フ公共ノ用ニ供スル爲ニ之ヲ
買フノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ
新憲法ニ於キマシテモ憲法違反ニハナ
ラナイト考ヘルノデアリマス

ソレカラ價格ノ點デアリマスルガ、
是ハ正當ナ補償ト云ヒマス時ノ價格ガ
唯時價ニ副フカドウカト云フコトデハ
判定出來ナイノデアリマシテ、其ノ土
地ノ價格ガ土地ノ生産力ト云フモノヲ
正當ニ反映シテ居ルカドウカト云フ見
地カラ見ナケレバナラヌト思フノデ
デアリマス、隨テ只今ノ所ニ於キマシテ
ハ、是ハ土地ノ生産力ト云フモノヲ正
確ニ表ハス標準ニナルモノハ賃貸價格
デアリマス、勿論其ノ賃貸價格ダケニ
依リマシテ之ヲ決メマスコトハ、或ハ
賃貸價格ガ非常ニ低イトコトハ、或ハ
ノ事情デ賃貸價格ノナイモノ等モアリ
マスノデ、ソレ等ヲ考慮致シマシテ、
土地ノ標準價格ガ實情ノ生産力ニ合フ
ヤウニ、ソレヲ補正出來ルヤウニ、例
ヘバ地方長官ノ認可デアルコトカ、又
農地委員會ガ申請ニ依リ認可ヲ認メテ
居ルノデアリマシテ、是ハ價格其ノモ
ノニ付テハヤハリ正當ナ補償ヲナシテ
居ル、斯ウ云フコトガ言ヘルノデアハ
イカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス
○山口(好)委員 是ハ結局見解ノ相違
ニナリマスノデ長引クト思ヒマス、左
様ノ御考ヘ方カラ憲法違反ニナラナ

イ、斯ウ云フ風ナ御考ヘノヤウデアリ
マスガ、尙ホ其ノ點ハ十分御研究ヲ願
ヒタイト思ヒマス、尙ホ他ノ方カラモ
此ノ點ニ付テハ後ニ御質問ガアルヤウ
デアリマスカラ、私ハ唯シツカリト御
研究ヲ願ヒタイト云フコトニ致シマシ
テ此ノ點ハ打切りマス

ソレデハ問題ガ變リマスガ、今般ノ
農地制度改革ハ、農民ノ心理ニモ所謂
百八十度ノ轉回ヲ示唆スルモノデアツ
テ、必ズヤ農民民衆化ニ役立つモノデ
アルコトヲ私モ確信ヲ致シマス、所ガ
元來農村ノ人々ハ民主主義ト云フコト
ニハ最モ遠イ人々デアリマス、其ノ最
モ遠イ農村ニ第一民主主義ノ理想ノ
實現ヲ圖ラントスル此ノ立法ガ行ハレ
ルコトニナツタノデアリマシテ、ソレ
ダケニ此ノ實施ニ付キマシテハ幾多ノ
困難ガ存在スルコトヲ、我々トシテモ
深ク考ヘナケレバナラナイト思ヒマ
ス、唯今日農村ヲ廻ツテ觀察致シマス
ルノニ、大體地主ハ此ノ法律ニ對シマ
シテハ一種ノ諦メヲ以テ之ヲ眺メテ居
リマスガ、更ニ進ンダ人々ハ之ニ率先
協力ヲ致サウストル傾向モ見エルノデア
リマシテ、結局農村ニ於キマシテノソ
レ等ノ地主階級ト云フモノハ、ヤハリ
農村ニ於テハ大事ナ理解者デアリ指導
者デアアルト云フコトヲ、我々ハ看取シ
ナケレバナラナイノデアリマス、彼等
ハ從來ノ地位、特ニ先祖傳來ノ土地
ヲ、現在ノ貨幣價值カラ申シマスレバ
殆ド算盤ニ合ハナイイ價格ヲ以テ提供ス
ル犧牲ヲ敢テ忍ビテ致サントシテ居ル
ノデアリマス、而モ中ニハ進シテ居ル
ニ於テ、之ヲ指導セント云フ心意氣ヲ
示シテ居ル人モアリマス、此ノ大キナ
犧牲ニ對シマシテ我々並ニ政府當局
ハ、今後此ノ法律ノ實施ニ當リマシテ

ハ、其ノ目指ス農村ノ民主化ノ最高度
ニ實現シ得ルヤウニ、指導ヲ誤ラザル
ヤウ十分ノ努力ヲ致サナケレバナラ
イト深ク考ヘルモノデアリマス、換言
致シマスレバ、少クとも農村ノ人々ノ
生活ヲ町ノ人々ノ生活レベルニマデ
高メマシテ、其ノ生活ノ中ニ科學ト文
化ヲ採入シ、社會的ナ知識ニ於キマ
シテモ、其ノ他ノ思想のナ部面ニ於キマ
シテモ、大イニ進歩ヲ致サセナケレバ
ナラナイト思フノデアリマシテ、要ハ
昔ノ如ク朝ニ星ヲ戴キ夕ニ月ヲ踏ンデ
粒々辛苦、精根盡シテ働ケドモ困窮ヲ
免レ得ナカツタ所ノアノ農村ノ状態
ヲ再來セシメナラナイト思フノデア
リマス、今日農村ノ人々ハ此ノ法律
ニ對シマシテハ或ル程度ノ心構ヘガ出
來タト思ヒマス、唯茲ニ農村ガ非常ニ
不安ニ思ツテ居リマスノハ、只今申シ
マシタ通り、折角自作農ヲ確立シテ我
我ガ一生懸命働イテモ、其ノ結果トシ
テ我々ノ受クベキモノハ又元ノ如キ虐
ゲラレタ農村ノ生活デハナイイダラウ
カ、即チ食糧事情ガ好クナツテ、或ハ
平和條約ガ結バレ、或ハ其ノ前ニ食糧
ノ輸入ト云フヤウナコトガ正式ニ致サ
レルヤウニナツテ、此ノ食糧品ノ價格
モ安クナツタト云フヤウナ場合、我々
ノ頭、我々ノ知識トシテハ、ヤハリア
ノ元ノ悲惨ナ境遇ニ陥ラナケレバナ
ライノデアリナイカト云フノガ、農村ノ
人々ノ頭ニ此ノ法律ヨリモ更ニ重ク覆
ヒ被ツテ居ル問題デアアルノデアリマ
ス、故ニ私ハ此ノ點ニ付テ、今日此ノ
ヤウナ犧牲ヲ拂フコトニナリ、又過去
ニ於テモ苦心慘情致シマシ働イテ來
テ居リマス此ノ農民ニ對シテ、農林大
臣カラ斯様ナ約束ノ言葉ヲ全部ニ對シ
テ與ヘテ戴キマシタナラバ、現在ノ農

民ノ心ニ如何バカリ安堵ヲ與ヘルコトガ出來ルカト思フノデアリマス、即チ農民ニ向ヒマシテ、君等ガ勤勉ニ働キ且ツ今次ノ農地制度ノ改革ニ協力ヲスル限リ、過去ノ如キ不遇ナル境遇ニ諸君ヲ陥レルコトハナイ、我々トシテハ其處ニ向ツテ十分努力ヲ拂フト云フコトヲ、農村民ニ向ツテ宣言致シテ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テノ農相ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○和田國務大臣 私は是非農地ノ改革ニ凡ニ力ヲ協力シテ戴キマスシテ、實際ノ農村ノ生活方向上致シマス爲ニ各種ノ施設ト云フモノガソレヲ基礎ニシテ行ハレルト云フコトニ付テハ、今後は非トモ最善ノ努力ヲ致シタイト思フ次第デアリマス、何ト言ヒマシテモ農村ガ良クナリマス爲ニモ、農村ニ本當ノ力ガ出テ來ナイドウシテモイケンナイノデアリマシテ、ソレデ農業ニハヤハリ生産力ヲ高メ、農村ニ力ヲ持セテ行クコトガ第一ト考ヘマスノデ、是非其ノ點ニ付テハ色々ナ施設ヲ今後トモヤツテ行キタイ、ト斯ウ考ヘル次第デアリマス

○山口(好)委員 次ニ農村ノ今後ノ荒廢ヲ防グ爲ニ農村ノ工業化ガ提唱サレテ居リマスガ、此ノ點ニ付テ具體的ナ農林大臣ノ御方策ガアリマシタナラバ、茲デ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○和田國務大臣 其ノ點ニ付テハ今マデ屢々御答ヘ致シタ譯デアリマシテ、各種ノ工業ガ考ヘラレル譯デアリマスガ、急激ニサウ云フモノヲ方々ニ持ツテ行クコトハ、資材其ノ他ノ點デ出來マセヌガ、今ノ條件デ許シマス範圍ニ於テハ、例ヘバ製品ニシマシテモ、農村方面ニ於キマス色々ノ電化事業ニシマシテモ、之ヲヤツテ行ク考ヘデ準備

ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○山口(好)委員 次ニ是非農村民バカリデナシニ、一般ニ取ツテ最大ナ關心事デアリマシテ、今マデモ總理大臣トドニ對シテ質問ガアリマシタガ、今度憲法モ改正致サレマシテ、是ガ公布實施致サレマシタナラバ、必ズヤ平和條約ガ締結ニ向ツテ一步ヲ進メルコトニナリマスノデ、此ノ平和條約ノ締結ニ付テハ、日本全國民ガ非常ナル關心ヲ持ツテ居リマスガ、是非農村民トモ非常ニ深い關係ガアルト思ヒマスノデ、現状カラ見マシテ、農林大臣ノ御考ヘシテデ結構デアリマスガ、此ノ平和條約ハ何時頃結バレルデアラウカ、其ノ豫想ガ見ラレマシタナラバ、御示シテ、平和條約ガ結バレル前ニ於テノ國內ノ食糧事情ノ眞ノ解決ノ爲ニハ、食糧ノ正式ナ輸入ヲ得ルコトガ必要デアルト思ヒマスノデ、平和條約ノ締結前ニ於テモ、之ニ拘ラズ食糧輸入ノ問題ヲ正式ニ締結スル御計畫ガアリマスカ、又サウ云フ努力ヲナサレテ居リマスカ、其ノ點御答ヘテ願ヒタイト

○和田國務大臣 講和條約ガ何時出來マスカ私ヨウ申上グルコトハ出來マセヌガ、出來ルダケ早イ機會ニ結バレルコトヲ私モ望ンデ居ル次第デアリマス、ソレカラ輸入食糧ニ付テハ、目下其ノ話ヲ各方面ト致シテ居ル次第デアリマシテ、折角努力中デアリマス

○山口(好)委員 或ハ重複スルカモ知レマセヌガ、現行法ハ小作料ノ金納ノ原則トシテ、其ノ但書ニ於テ、物納ノ時ニ依ツテハ認メルト云フ風ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、物納ト金納ト半々ト之ヲ二本建ニシテ認メテ行クト云フヤウナ御考ヘハアリマセヌデセ

ウカ、農村ヲ廻ツテ色々ト意見ヲ聽キマスノニ、物納ト金納ト半々ニ致スコトガ出來タナラバ、小作人ニモ地主ニモ非常ニ便利デアリ、公平デアルト云フコトガ言ハレ、且ツ實際狀況カラ申シマシテ左様デアルト思ヒマス、法律ノ原則の建前トシテ、物納及ビ金納ノ二本建ニスル云フコトハ御考ヘニナツテ居リマセヌデセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト

○和田國務大臣 只今ノ所、其ノ點ニ付キマシテハヤハリ現行法通り、原則トシテ金納ト云フコトニ致ス考ヘデアリマス

○山口(好)委員 ソレデハ物納ノ點ハ、當事者、小作人及ビ地主ガ合意ノ上デ物納ニスルト云フノハ差支ヘアリマセヌカ

○和田國務大臣 當事者ガ合意テ物納ニスルト云フコトデアリマシテ、唯辨濟期ニ於キマシテ、小作人ガ物納ニスルト云フコトヲ申出マシテ、地主ガ承諾シタ場合ニ初メテ、物納ニナルデアリマス、當事者ガ合意ヲ以テ物納ニスルト云フコトハ出來マセヌ

○山口(好)委員 小作人ガ物納ヲ申出テ、地主ガ之ヲ承諾スレバ出來ル、一般的デハナシニ、個々ト云フ場合、斯ウ云フ譯デアリマスカ

○和田國務大臣 一般的ニハナシ得ナイノデアリマシテ、而モ辨濟期以前ニ於テサウ云フ豫約ニスルトハ出來テイノデアリマス、小作料ヲ拂ハナケレバナラナイ時期ガ來マシタ時ニ、小作人ガ物納ヲ以テ拂フ、ソレヲ地主ガ承諾スル、斯ウ云フ場合デアリマシテ、物納ノ原則の一般ニ許シテ居ル譯デアリナイノデアリマス

○山口(好)委員 次ニ農地調整法ト土地ノ交換分合ノ問題デアリマス、措置法ノ中ニハ交換分合ノ規定ガアリマスガ、實際農村ヲ廻ツテ見マシテ、農民ハ此ノ際トシテ是非交換分合モヤリ、完全ナ、本當ニ便利ノ宜イ、能率ノ上ル耕地ヲ持タイト云フノガ其ノ要請デアリマス、此ノ點ニ付テハ、此ノ際デナケレバ出來ナイノダト云フ認識ヲ農民モ持ツテ居リマスノデ、此ノ規定ヲ見マスト、勿論不十分ナ點モアリマスガ、農林大臣ニ於カレテハ農村ノ要求ニ應ヘマシテ、彼等ノ要求スル面ニ向ツテ、十分ソレヲ擴大強化シテ行ク御考ハナイノデアリマセウカ

○和田國務大臣 交換分合ノ點ニ付キマシテハ、御話ノヤウニ今日ハ非常ニ好イ機會デアリマスノデ、是等ノ規定ヲ十分活用致シテ極力ヤリマス同時ニ、將來ノ問題トシテモ、協同組合其ノ他ノ力ニ依リマシテ、交換分合ト云フタ事柄ニ依リ經營面ノ改善ト云フコトハ是非圖ツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○山口(好)委員 ソレカラ各土地ヲ廻ツテ見マスノニ、耕地ガ少ク、却テ山林ガ多イト云フヤウナ地方モアリマスガ、今度ノ農地調整法ニ依ツテ非常ニ惠マレル、即チ大地主ガゾコニアツテ、今マデノ小作人ガ非常ニ惠マレルト云フ土地モアリマス、又耕地ノ狭小ナ地方ニ於テハ必ズ其ノ反對ニ、山林ナドガ多イトデアリマシテ此ノ山林ニ付テ農林大臣トシテハ耕地問題ト同様ニ、一部ノ人ガ澤山ノ山林ヲ持ツテ居ルト云フコトデハナシニ、之ヲ分割シテ、平均ニ持タシメルト云フヤウナ御考ヘハゴザイマセヌデセウカ

○和田國務大臣 山林其ノモノヲ農地

ト同ジヤウニ均分スルト云フ考ヘハ、今ノ所私持ツテ居リマセヌ、唯今回ノ農地調整法及ビ自作農創設措置法ニ於キマシテ、市町村ノ農地委員會ノ開墾適地トシテ未墾地ヲ認定致シマシタ場合ニハ、國家ガ之ヲ買上ゲテ、ソレヲ結局地元ノ人達ノ開墾ノ用ニ供スルト云フコトモ出來ルヤウニ致シマシテ、サウ云フ面カラ耕地ガ非常ニ少クテ、而モ山林ガアル、其ノ山林ヲ開墾ニ適スルト云フヤウナ所ハ、之ヲ耕地ニ致シタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○葉梨委員長 山口君、時間ガ經過致シテ居リマスガ……

○山口(好)委員 ソレデハ最後ニ司法省ノ方ノ質問ヲ簡單ニサセテ戴キタイト思ヒマス

農地調整法ニ依ツテ整理サレタ土地ニ付テ、更ニ相續問題ナドニ依ツテ土地細分ト云フ結果ヲ招來シテ、結局生産ヲ阻得シ、農民ヲ農奴化スルト云フヤウナ弊害ヲ生ズルコトニナルト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ司法大臣カラ本會議ニ於テ答辯モアツタヤウデアリマスガ、現在ニ於テドウ云フ法律ヲ以テ之ヲ規定セントシテ居ルカ、ソレヲ御伺ヒ致シタイト

ソレカラ此ノ農地調整法施行ノ結果、登記所ノ仕事ガ非常ニ増大スルト思ヒマスルガ、ドウヤウニシテ之ヲ簡素化シテ行クカ、其ノ點ヲ伺フト同時ニ、私ハ登記所ヲ始終見テ居リマスルガ、登記所ノ職員ガ所謂線ノ下ノ力持デ致々黙々トシテ、複雑且ツ正確ナ記録ヲ要シマスル極ク細緻ナ仕事ヲ致シテ居リマス、此ノ登記所職員ニ付テハ待遇其ノ他ガ惠マレナイモノガアルノデアリマス、民主主義ニ於テハ、斯クノ如ク黙々トシテ國家ノ爲ニ働イテ居

ル人ノ一層引上ゲテヤル必要ガアルノ
デハナイカト思ヒマス、其ノ仕事モ非
常ニ重要ナドアリマス、聞ク所ニ依
リマスルト、此ノ登記所ノ書記ト云フ
モノハ、通常ノ場合ニハ監督書記ニナ
レナイト云フヤウナ内規ガアルサウデ
アリマス、即チ事件ノ立會ガアルサウ
記ナケレバ監督書記ニハ致サナイト
云フ内規ガアルサウデアリマスルガ、
左様ナコトデハ甚ダ以テ宜シクナイコ
トト存ジマスルノデ、是等ニ付テモ待
遇ヲ改善シ、又權要ナ地位ニ就キ得ル
ヤウナ途ヲ開イテヤルコトガ必要デア
ルト思ヒマスルガ、民事局長ノ御考ヘ
ヲ伺ヒタト思ヒマス

○農野政府委員 只今土地細分化ト云
フコトニ付テドウ云フ方策ヲ持ツテ居
ルカト云フ御尋ネデアリマス、一般
的ニ農地ノ細分化ヲ防止スル方法ニ付
キマシテハ、農業政策ノ關係カラ特別
法ノヤウナモノヲ制定スルコトガ最も
適當デアアラウカト考ヘマシテ、其ノ點
ハ農林當局トモ能ク協議ヲ致シテ研究
致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ民法
改正ノ結果、相繼ニ依ル土地ノ細分
化、即チ相繼ニ均分化ニ依ツテ農地ガ
細分サレル處ガアルト云フコトニ付テ
デアリマスガ、此ノ點ニ付テハ、目下
民法改正ノ基礎ヲヤツテ居リマスノ
デ、十分考慮致シタイト考ヘマス、即
チ相繼ニ依リマシテ遺產ガ相繼人ノ間
ニ分割サレルト云フコトニ相成リマス
場合ニ於キマシテモ、是ハ必ズシモ現
物ソレ自體ヲ分ケルト云フノデアアリ
マセヌノデ、所謂分割ト申シマシテ
モ、色々ナ分ケ方ガアル譯デアリマ
ス、例ヘバ相繼人ノ中ノ一人ニ其ノ事
業ノ經營等ヲヤセマシテ、他ノ者ハ
其ノ事業ノ利益カラ配當ニ預カルト云

フヤウナ約束ニシテ置ク、斯ウ云フヤ
ウナコトモ出來マスルシ、又民法改正
案ニ於キマシテハ、裁判所ハ、特別ノ
事情ガアル時ニハ、一定ノ期間ハ遺產
ノ全部又ハ一部ニ付テ分割ヲ禁止スル
コトガ出來ルコトモ考慮シテ居リマ
ス、又更ニ遺產ヲ以テ被相繼人ハ分割
ヲ一定ノ期間禁止スルコトモ出來ルヤ
ウニ致シタイト考ヘテ居リマス、要ス
ルニ遺產ノ分割ト云フコトハ、其ノモ
ノ又ハ其ノ相繼財產ノ種類、性
質、或ハ又相繼人ノ職業、其ノ他一切
ノ事情ヲ斟酌シテ分割スルト云フコト
ニ相成リマスルノデ、必ズシモ現實ニ
其ノ土地ヲ細分スルト云フコトノミヲ
分割ト云フ風ニハ考ヘテ居ラナイ譯デ
アリマシテ、色々ノ方法ニ依ツテ農業
ノ經營ニ付テ支障ノナイヤウナ途ヲ考
ヘタイト思ツテ居リマス、休シナガラ
最モ適當ナ方法トシテハ、農業政策ノ
建前カラ民法トハ別個ニ或ル特別法ヲ
作ラレルコトガ最モ適當カト考ヘル譯
デアリマス

○和國務大臣 御答ヘ致シマス、今
朝程三浦サンカラ御質問ノアリマシ
タ、自作地ニ對スル競賣ノ點デアリマ
スガ、競賣ハヤハリ出來ル譯デアリマ
ス、サウシテ競賣ニ依ツテ競賣人ニ落
テル譯デアリマスガ、其ノ點ニ付テ
ハ、ヤハリ所有權ノ移動問題トナル
ノデ、現在ノ法律行キマス、第五條
ニ依ツテ地方長官又ハ市町村長ノ認可
ヲ要スル、斯ウ云フコトニナツテ居
マス、其ノ點ニ付テハ司法省ト打合セ
マシテ、サウ云フ選擇ノ體カ出シテ居
ル管デアリマス

○三浦委員 私人質問シタ問題ガ出マ
シタノデ、此ノ際緊急ナ質問ヲ御許シ
願ヒタイト思ヒマス、ソレハ實際問
題トシマシテ、岐阜縣ノ六八練兵場
ノ耕地ノ問題デアリマスガ、此ノ耕
地ガ終戦後岐阜縣在住ノ遺家族、傷
殘軍人、或ハ職業軍人ノ一部ノ約四

務ノ抄ルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル
譯デアリマス、尙ホ之ニ對應シマシ
テ、登記事務ノ増加ニ基イテ登記官吏
ノ増員ト云フコトハ是非圖リタイト考
ヘテ居リマス、尙ホ登記官吏ガ仰セ
ヤウニ、所謂線ノ下ノ力持ノ事務ニ
追ハレテ居リマスノデ、若シソレ等ノ
人々ノ待遇ガ他ノ職員ニ比シテ惡イ
ト云フコトデハ、是ハ甚ダ宜シクナイ
デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ
仰セテ御趣旨ニ副ヒマスヤウニ、出來
ルダケ其ノ待遇ノ改善ト云フコトニ付
テ我々當局ト致シマシテハ努力致シタ
イト考ヘテ居リマス

○山口(好)委員 以上デ終リマス
○藥劑委員長 午前中保留ニナツテ居
リマスル、耕地ニ對スル強制執行權ノ
問題ニ付テ、政府ノ御見解ガ若シ一定
シテ居ルノデアレバ、此ノ際御答辭願
シタラ如何デスカ

○和國務大臣 御答ヘ致シマス、今
朝程三浦サンカラ御質問ノアリマシ
タ、自作地ニ對スル競賣ノ點デアリマ
スガ、競賣ハヤハリ出來ル譯デアリマ
ス、サウシテ競賣ニ依ツテ競賣人ニ落
テル譯デアリマスガ、其ノ點ニ付テ
ハ、ヤハリ所有權ノ移動問題トナル
ノデ、現在ノ法律行キマス、第五條
ニ依ツテ地方長官又ハ市町村長ノ認可
ヲ要スル、斯ウ云フコトニナツテ居
マス、其ノ點ニ付テハ司法省ト打合セ
マシテ、サウ云フ選擇ノ體カ出シテ居
ル管デアリマス

十名現在八十名ニナツテ居ルノデア
リマスガ、是等ノ人々ガ地方世話部、
即チ元聯隊區司令部ノ輔導會ノ幹旋
デ、縣ノ農務課ト地元農業會、此ノ三
者ガ協議ノ結果、此ノ六八練兵場ノ耕
地ガ地元農民ニ半分、殘リノ半分ヲ遺
家族、傷殘軍人、職業軍人ニ貸下ラ
ス云フコトニナリマシテ、是等ノ人
失ガ貸下ラ受ケマシテ、十二月カラ現
實ニ農耕ヲ始メ、六月農地實行組合ヲ
組織シテ耕作シテ居ツタノデアリマ
ス、所ガ最近ニナリマシテ地元ノ農業
會ガ、現ニ耕作シテ居ル土地ヲ地元農
民ニ再分配シロト云フヤウナコトデ、
土地取上ヲ協議シ、サウシテ次ノ麥作
ヲスル時ガ取上ゲヨウト云フ所ノ
協議ヲシテ居ルノデアリマス、之ニ對
シマシテ岐阜縣當局ガ是ハ國家ノ方針
ニ反シナイ限リ干涉ハシナイ、其ノ爲
ニハ現ニ耕作シテ居ル所ノ此ノ氣ノ毒
ナル遺家族ガ傷殘軍人、復員軍人ノ人
人ガ餓死スルモ仕方ガナイト云フヤウ
ナ、非常ノ冷淡ナ態度ヲ取ツテ居ル爲
ト、現ニ權利ヲ持ツテ耕作シテ居ル
等ノ氣ノ毒ナル人々ガ非常ニ困ツテ、
少シ騒イデ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、ソレデ御馳驅キタノデアリマスガ、
斯ウ云フヤウニ、現ニ貸下ラシテ使用
シテ居ルヤウナ場合ニハ、是等ノ現ニ
使用シテ居ル所ノ土地ヲ、即チ遺家族
ヤ傷殘軍人、職業軍人等カラ直チニ取
上ゲルト云フコトガ出來ルカドウカ、
又斯ウ云フヤウナ方針ヲ御執リニナツ
テ居ルカドウカト云フコトニ付テ、當
局ノ御答辭ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○和國務大臣 岐阜縣ノ問題ハ私マ
ダ伺ツテ居リマセヌガ、舊軍用地デ農
耕ニ適シマスモノニ付テハ、前々御説
明致シマシタヤウニ、營團或ハ農業會

○和國務大臣 左様デアリマス
○三浦委員 分リマシタ
○上林山委員 山口君ノ質問ニ關聯ガ
アリマス
○藥劑委員長 上林山君ハドウ云フ點

ヲ事業主體トシテ開發サセテ居ル次第
デアリマシテ、ソレ等ノ土地ノ將來自
作農トシテ入植致ス者ハ、地方長官ガ
資格ヲ十分審査シ、地元ノソレレノ
事情ヲ考慮シテ入植サセテ居ル譯デア
リマス、御話ノヤウニ、既ニ地方長官
ガ地元ノ農業會ナリ何ナリト話合ツテ
入レマシタモノニ付テハ、サウシテ又
現ニ耕作中ダト云フモノニ付テハ、サ
ウ簡單ニ其ノ方針ヲ其ノ後重大ナル變
化ガアレバ別デアリマスケレドモ、サ
ウ云フ變化ガナイニ、サウ云フコト
ヤルコトハ私ハ適當デナイト思ツテ
居リマス、隨テサウ云フヤウニヤレ
ト云フコトヲコトカラ指示シタコト
ハ、恐ラクナイト思ヒマス、開墾地ハ
御承知ノ通り非常ニ土地ガ劣惡デア
リ、其處ニ入りマス人ハ、復員者ナリ
或ハ餘リ農業ニ熟練デナイ人モアル譯
デアリマス、又サウ云ツタ人ニ職ヲ持
タセルト云フ意味カラ言ツテモ、開墾
ハ必要デアリマスガ、サウ云フ人ガ入
ツタ場合ニハ、現在能力ガナイカラト
云ツテドウスワスルト云フコトハド
ウカト思フノデアリマシテ、ヤハリソ
レニ對シテハ相當ノ指導ヲシ、相當ノ
土地ヲ貸シテ、將來營農者トシテ立ツ
テ行ケルヤウナ方針ヲ國トシテハ講ジ
タイト考ヘテ居リマス

○三浦委員 ソレニ關聯スルノデアリ
マスガ、サウ云フヤウナ軍用地ノ分配
ヲ地元ノ農業會ニ一切一任スルト云フ
譯デアハナイト了承シテ差支ヘアリマセ
ヌカ

○和國務大臣 左様デアリマス
○三浦委員 分リマシタ
○上林山委員 山口君ノ質問ニ關聯ガ
アリマス
○藥劑委員長 上林山君ハドウ云フ點

ガ關聯スルノデアリマスカ
○上林山委員 憲法ノ問題デ、今ノ大臣ノ答辯ガ腑ニ落チナイ點ト、ヤハリ憲法問題ニ關聯スルノデアリマスガ、買収令書ヲ出シ得ル法の根據デアリマス

○葉梨委員長 上林山君ニ御相談致シマスガ、逐條審議ノ折ニ法律ノ上専門ノ政府委員ノ出席ヲ得テヤラレタ方ガ、目的ヲ達成スル上カラモ宜カラウト思ヒマス

○上林山委員 ドチラデモ宜シノデスガ、關聯シテ居リマシタカラ……

○葉梨委員長 ソレナラ其ノ機會ニ願ヒマス、政府委員ガ貴族院トノ都合モアツテ中々手ガ足ラナイヤウデアリマスカラ、大臣ノ答辯サレタ點ダケニ付テ簡單ニ……

○上林山委員 私ハ此ノ前カラ申シマスヤウニ、勿論此ノ法案ガ政治的ナ意味ニ於テ、二ノモノヲ除イテハ議論ノ餘地ガナイモノデアアルト云フヤウニ了解シ、寧ろ進ンデ之ヲ支持シタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、併シ之ヲ法律的ニ見マスト、多クノ疑問ガ介在スルノデアリマス、此ノ問題ニ付テ掘下ゲテモウ少シク伺ツテ見タカッタノデアリマスケレドモ、時間ノ關係或ハ山口君ノ御話ナドモアリマシタノデ簡潔ニ申上ゲマスガ、農林大臣ハ、松本國務大臣ヨリ議會ニ於テ、是ハ公共ノ用ト云フ意味ニ據テ自作農モ含ムノダ、斯ウ云フ答辯ガアツタカラ、決シテ憲法違反デハナイ、斯ウ云フ風ニ答辯サレタヤウデアアルガ、ソレデハ何等立法律由ニモナラナイシ、私共ハハツキリト憲法違反デハナイト云フ意味ヲ掘メナイノデアリマス、法律所管ノ大臣デハナイト致シマシテモ、此ノ法

案ハ最モ重大ナ法案デアリマスシ、私ハ憲法實施後或ハ本案實施後ニ必ズ訴訟ガ起ルト云フコトヲ考ヘテ居ル一人デアリマスノデ、此ノ點ヲ出來ルダケ無難ニ終ラシムル爲ニ、モット正確ナル憲法違反デナイト云フ根據ヲ御示シ願ヒタイ、所謂法律上ノ意味ニ於テモ疑問ガアル、之ヲ質シテ置キタイト私ハ考ヘルノデアリマス

○和田國務大臣 其ノ點ニ付テハ何レ司法省ナリカラ詳シク御説明致シマスガ、私ハ、自作農創定ト云フ事業ハ公共ノ事業デアアル、斯ウ考ヘテ居リマスルシ、又明示シテ居リマス、隨ヒマシテ新憲法ニ於キマシテモ、ソレカラ只今ノ憲法ニ於キマシテモ、憲法違反デハナイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○上林山委員 勿論今マデ執ラレタ意味ニ於ケル自作農創設デアツタナラバ、私ハ決シテ憲法違反デハナイト考ヘル、ソレハ公共ノ用デアアルナシニ拘ラズ、サウ云フ風ニ理解スルノデアリマスガ、今回ノモノヲ見マスト、國家ガ強制的ニ之ヲ買収スルト云フ點カラ言ヒマシテ、而モソレハ個人ノ用ニ供シテ居ル、斯ウ云フ意味ニ於テ公共ノ用トハ必ズシモナラナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、モウ少シ率直ニドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ伺ヒタイ

○和田國務大臣 土地ハ自作農創定事業ト云フ公共ノ用ニ供スルモノデアリマシテ、其ノ土地ガ個人ニ渡ルノデアリマス、事業其ノモノニ付テノ公共性ト云フモノハ、此ノ前ノ自作農ト雖モ同ジデ、結局ハ個人ニ渡ル譯デアリマス

ラ、其ノ際發言ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス、之ヲ以テ打切りマス
○吉澤委員 民事局長ガ折角御出席デアリマスカラ、曩ニ御質問ノアツタ立入禁止ノ問題ニ付テ局長ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、一昨日ノ本委員會ニ於ケル民事局長ノ立入禁止ノ問題ニ關スル御答辯ハ私了解シキク點ガアリマスカラ簡單ニ御伺ヒタイト思ヒマス、數度ノ御答辯中ニ、所有權ハ絕對ノモノデアナイ、耕作權ト並行シテ行カケレバナラヌ、詰リ立入禁止ハ、耕作者ガ耕作權ヲ侵害サレル場合ニ於テハナサレルガ、所有權ノ場合立入禁止ハ、不當デアアルカノ如キ御答辯ガアツタヤウニ承リマシタガ、私ハヤハハ普通ノ場合ナラバ、所有權必ズシモ絕對ノモノデアナイ、現在ノ土地ニ對スル耕作權ハ、或ル程度認メナケレバオラス、是ハヤハリ並行的ニ進ムベキモノデアアルト思フガ、例ヘバ或ル年ニ凶作ニ見舞ハレタ、其ノ場合ニ減免問題ガ必ズ生ジマス、サウ云フ時ニ小作者ト地主ノ間ニ協定ガ出來レバ別デアリマスガ、若シ不當ノ要求ト認メラレル程度ノ要求ガアツタ場合ニ、地主ハ之ニ應ジナカッタ、ツイ緊争ガ起キテ、ソレガ爲ニ地主ハ土地取上ヲ請求シタト云フ場合ニ、次年度ノ耕作者ニ對スル立入禁止ラスト云フコトモアリ得ルト思ヒマス、又今後農地法ガ制定サレマシテ、大體耕作權ガ非常ニ重ク見ラレルト云フコトニナルト、ヤハリ其ノ間ニ乘ジマシテ、或ハ小作者ノ權利ハ耕作權ノ確立ト云フ非常ニ重ク見ラレト置テ利用シテ、土地ニ對スル耕作ノ熱心サヲ失フ、斯ウ云ツタ場合ハ、或ル程度小作者ト話合ツテモ分ラナイ、結局耕地ノ返還ヲ求メル、或ハ之ヲ他ニ轉

作セシメルト云フ場合ガアツテ、小作者ガ應ジナイ場合ニハ立入禁止ラスト云フコトモアリ得ルト思ヒマスガ、民事局長ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス

○農野政府委員 御答へ致シマス、此ノ前ガ申上ゲマシタヤウニ、所有者ト雖モ小作者ガ現存シテ居ル場合ニアリマシテハ、其ノ耕作地ハ小作者ノ占有ニアル譯デアリマスカラ、地主ト雖モ濫リニ其ノ占有ニアル小作地ニ立入ル權限ハナイト考ヘマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、小作權擁護ト云ヒマスガ、サウ云フ意味デ地主ガ小作地ニ立入ルコトヲ禁止スル所ノ假處分ヲ求メルト云フ事案ガ相當ニアルヤウニ考ヘマス、ソレト同事ニ、小作者ノ方デ債務不履行ナリ色々ナコトニ依リマシテ、既ニ小作權ガ消滅シテシマツテ居ル場合ニハ、小作者ノ方デハ其ノ耕地ヲ占有シ、或ハ耕地デ收益スル權限ガナイ譯デアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、地主ノ方デ小作者ガ其ノ耕作地ニ立入ルコトヲ禁止スルコトヲ求メルト云フ、立入禁止ノ假處分モアル譯デアリマシテ、要スルニ、小作者ノ方カラ地主ノ立入禁止ヲ求メル場合モアリマスルシ、地主ノ方カラ小作者ノ立入禁止ヲ求メル場合モアル譯デアリマス

○吉澤委員 今ノ局長ノ御答辯ニ依リマス、小作權消滅ノ場合ト云フ御言葉ガアリマシタガ、私ノ伺ハントスル所ハ、小作權ガ消滅スレバ、何モ地主ガ立入禁止ヲシナクテモ別ニ問題ハ起ラヌト思ヒマス、唯所謂地代ノ滞納デアルトカ、或ハ減免問題ニ於ケル緊争中ノ場合デ、トモ度シ難イ小作者ガ假ニアルトスレバ、結局地主モ自衛上又

自分ノ所有權ノ擁護上、立入禁止ノ假處分ヲ申請スルト云フコトモアリ得ルト思ヒマスカラ、其ノ點ニ付テモウ一同御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○農野政府委員 小作者ガ正當ナ事由ガアリマセヌデ、債務不履行デアアルトカ、或ハ賃料ノ滞納ト云フヤウナコトガアリマシテ、法律上適法ニ其ノ貸借等ガ解除サレマスナラバ、隨テ小作權ハ其ノ解除ニ依ツテ消滅スル譯デアリマシテ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ、先程申シマシタヤウニ小作權ハ解除ニ依ツテ消滅スル譯デアリマシテ、既ニ小作權ナキ場合ニ於キマシテ更ニ小作者ガ何等ノ權限ナクシテ立入ツテ參ルト云フ場合ニ於テハ、立入禁止ノ假處分ヲ地主ノ方カラ申請シ得ルト云フ風ニ申上ゲタノデアリマス

○葉梨委員長 吉澤君、再々申上ゲテ居リマス通りデアリマスカラ、アトハ逐條審議ノ際ニ御譲リ願ヒタイト思ヒマス

○吉澤委員 逐條審議ノ際デモ宜シイノデスガ、民事局長ノ御臨席ヲ得ルコトハ困難ダト思ヒマシタノデ……

○葉梨委員長 左様ナコトハアリマセヌカラ次回ニ願ヒマス——太田秋之助君

○太田(秋)委員 質問ノ時間ヲ何分間許シテ下サルノデスカ

○葉梨委員長 三十分間ト云フ協定デアリマスカラ、出來得ル限り簡潔ニ御進行願ヒマス

○太田(秋)委員 私人質問セント考ヘテ居ツタコトハ大體同僚議員各位ニ依ツテ盡サレテ居リマスカラ、私ハ唯簡單ニ保有限度ノ問題ニ付テ、四、五伺ツテ見タイノデアリマス

第一ハ、本法第三條ノ三ノ自作農地

ノ制限デアリマス、北海道ハ二十町歩
其ノ他ノ都府縣ハ平均面積概ネ三町
歩ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリ
マス、是ニ於テ我々ノ東北地方ノ如
キ、御承知ノ通り寒氣積雪期間が極
メテ長イノデアリマス、隨テ二毛作ハ
不可能デゴザイマス、殊ニ周期的ニ變
來スル寒冷ノ爲ニ一毛作モ完全ニ收穫
ガ覺東ナイ土地モ時ニアルノデアリマ
ス、御承知ノ如ク東北ハ食糧ノ實庫ト
サレテ居リマスガ、又養蠶業煙草、果
樹類ノ適地トシテ相當量ノ生産ヲ負荷
サレテ居ルノデアリマス、是等ノ關係
上、北海道ニ準ジテ農業經營ニハ相當
ノ面積ヲ必要トスル現狀デゴザイマ
ス、是等ハ中央農地委員會ガ都府縣別
ニ定メルコトニ相成ツテ居ル本法デゴ
ザイマスガ、此ノ委員會ニ御出シニナ
ル案ハ即チ政府カラ御提出ニナルコト
ト思フノデアリマス、是ニ於キマシテ
私ハ、政府ハ東北地方ノ特殊性ニ鑑ミ
マシテ、彼ノ氣候ニ惠マレテ居ル溫暖
地方ノ農業收入ト比較シテ勘案スベキ
デアルト思フガ、東北地方ガ、殊ニ太
平洋沿岸ハ是レ亦初夏ノ頃マデ寒流ニ
禍ヒサレマシテ頗ル低溫ナノデアリマ
ス、隨テ農作物ハ日本海岸ニ比較シマ
シテ非常ニ遲レテ居ル、又土地ニ依ツ
テハ是ガ爲ニ減收ニナルノデアリマ
ス、是等ハ過去ニ於ケル凶作地帯ト申
シマスト、大陸太平洋沿岸ガ多イノデ
ゴザイマス、斯ウ云フ點モ綿密ニ勘案
サレテ此ノ農地改革案ヲ定メラレテ、
今後再ビ此ノ改革案ガドウナルカ分リ
マセヌガ、當分改革案ハ出來ナイコト
ト思ヒマスカラ、此ノ機會ニ斯ウ云フ
コトヲ能ク御調査ヲ願ツタ上ニ決定サ
レテ戴キタイ、斯ウ云フコトニ付キマ
シテ政府ハドウ云フヤウナ御考ヘヲ持

ツテ居リマスカ、此ノ點ヲ一應伺ツテ
置キマス
○和田國務大臣 自作農ノ經營面積デ
アリマスガ、三町歩ト云ヒマスルノ
ハ、勿論地方々々ニ於キマシテ、十分
各種ノ地帯ノ實情ヲ考ヘマシテ、是ハ
保有面積ト同シヤウニ決定致サウト考
ヘテ居リマス
○太田(秋)委員 今ノ問題ハ大體是デ
了承致シマシタ、次ハ小作地ノ返還ヲ
繞ツテ紛争ガボツク起キテ居リマ
ス、此ノ解決方法ニ付テデアリマス
ガ、是ハ本法ノ第五條第六號ニ該當ス
ル事情ノ爲ニ、一時自作地ヲ他人ニ耕
作セシメタノデアリマス、所ガ今回復
員ニ依リマシテ勞務ハ元ニ復シタノデ
アリマス、隨テ小作地ノ返還ヲ求メマ
シテ、明年度ヨリ元ノ通り自分デ自作
シタイト云フコトノ爲ニ返還ヲ申出
タ、所ガ耕作者ハ今回ノ農地制度ノ改
革案ノ發表ヲ見マシテ、自分ハ一年ナ
リ二年ナリ耕作スレバ既ニ耕作權ト云
フモノガアルノアル、デスカラ自作
農地トシテ優先的ニ政府カラ買受ケ出
來ルノダト云フコトヲ豫想致シマシ
テ、此ノ返還ニ應ジナイト云フコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、此ノ種ノ一
時的ノ小作地ノ増加シタ原因ハ、政府
モ御承知ノ通り、戰爭中農業勞務ガ非
常ニ拂底ヲ致シテ、其ノ際ニ不耕作地
ノ防止對策トシテ、ソレレ各市町村
農業會ハ耕作ヲ欲シタノデアリマス、
ニハ作付ヲシテ戴イタノデアリマス、
勿論國ヲ擧ゲテ食糧生産ニ集中シタ時
代デアリマスガカラ、又作方ノ方デモ
農業ニハ經驗ガナクテモ、多分手ガ空
イテ居ルカラ何トカ出來ヨウト云フイ
デ飯米小作農ニナツタノデアリマス、
斯ウ云フ方ハ今尙ホ食糧事情ノ不安定

ノ爲ニ見透シガ付カナイカラ、尙ホ耕
作ノ續行ノ希望ヲ持ツテ居ルノデゴザ
イマス、是ガ解決ノ暫定方法ト致シマ
シテ、私共種々相談ヲ受ケテ居ルノデ
ゴザイマスケレドモ、自作小作地ヲ
合計シマシテ三町歩以內ノ所有者デア
ラナラバ、是ハ本法第三條第三項ノ
制限ヲ受ケタメヌ、將來ニ及ボス影響
ハナイノデアリマス、デアリマスカ
ラ、一町歩マデノ小作ヲシテ二町歩ヲ
自作スル、其ノ一町歩ヲ食糧安定ノ付
ク間留守中守ツテ耕作シタ者ニ貸セト
云フコトモ言ヒ得ルノデアリマスケレ
ドモ、三町歩以上ノ所有者此ノ法ヲ制
限ヲ受ケルコトニナリマスカラ、勞務
モ復シタノデアアルカラ、ドウシテモ此
ノ際元通り返シテ貰ツテ作リタイト云
フコトモ眞剣ト主張デアリマス、デア
リマスカラ、茲ニ返サナイ者ト自分ノ
留守中貸シテ居ツタノダカラ、今度
ハ返セト言フ者ト對立ガ生ジテ來テ
居ルノデゴザイマス、是ニ於テ市町村
ノ農地委員會ニ於キマシテモ、之ヲ如
何ニ裁定スルカト云フコトニナルノデ
アリマスケレドモ、然ラバ三町歩以內
ノ地主ガ一、二年ノ間デ日本ノ食糧モ
安定スルダラウカラ、其ノ間貸スト云
フ決心ニナツタノデアアルカラ、三町歩
以上ノ人モサウ云フ風ニシテ、今俄カ
ニ取上ゲナイヤウニシタラドウカト云
フヤウナ裁定案モ試ミタノデアリマス
ケレドモ、此ノ裁定案ニ依リマス、
ヤハリ結果第三號ノ小作地ニ當換マ
ルト云フ結果ニナルノデゴザイマス、
斯様ナ關係カラ、地主ハ釋然トシテ承
諾ヲ與ヘナイノデアリマスガ、是等ヲ
飽クマデモ返還ヲ要求スルコトニナル
ト、中々此ノ問題モ容易ニ片付カナ
イ、サリトテ是ハ一時的ノモノデアッ

テ、法ニ於テモ許サレテ居ル關係モア
ルカラ、是等ニ付キマシテ暫定措置ト
シテ、先ヅ一年ナリ二年ナリ食糧安定
ノ時間ヲ見計スウマデ小作ヲ繼續シタ
場合ニハ、第三條第三號ノ適用ヲ除外
スルコトニシタラドウカ、此ノコトハ
果シテ政府ハ御認メニナルカドウカ、
斯ウ云フ點モ此ノ機會ニ承ツテ置キタ
イト思ヒマス
○和田國務大臣 第五條ノ六號ハ第三
條ノ規定ニ依ル買收ヲシナイ農地ナ
デアリマスカラ、自作農ガ例ヘバ其ノ
家族ガ應召シタ、ソコデ一時的ニ貸シ
テ置クト云フヤウナモノハ農地委員會
デ適當ト認メレバ第一買收ヲシナイ、
國ガ買ハナイ譯デスカラ、アナタノ仰
シヤルヤウナ場合ハ起ツテ來ナイノデ
ハナイカト思ヒマス
○太田(秋)委員 其ノ點ハ私共能ク承
知シテ居ツタノデアリマス、一時的ニ
貸シテ居ツタ土地デアルシ、是ハ法的
ニモ貸シテ戴クト云フ明文ガアルカ
ラ、今度返シテ貰ヘバソレデ何モ言フ
コトハナイノデアリマス、併シ今返セ
ト言ツテモ今マデノ耕作者ガ返サヌ場
合ハ、更ニ改メテ二年ナリ三年ナリ貸
シタ場合ハ、所謂小作地トナツテ第三
條第三號ニ該當スル、所謂三町歩ヲ超
過スル面積ニナルノデアリマスカラ、
其ノ場合ニ於テモ私共除外例ヲ望ムノ
デアリマシテ、之ニ對シテノ御所見ガ
ハツキリ承リタイノデアリマス
○和田國務大臣 結局ソレハ一時貸貸
ノ場合ハ宜イ譯デスカレドモ、一時貸
貸テナクナレバ是ハドウウカト思ヒマ
ス、一應買收ノ對象カラ省カレテ居ル
譯デスカラ、ソレニ付キマシテハ、食
糧事情ナドガ緩和スルト云フ時ニハ、
何時デモ返シテ貰ヘルト云フ條件ノ下

ニ貸シテ居ルコトニナツテ居ル譯デア
リマス
○太田(秋)委員 了解シマシタ、次ニ
御伺ヒシマスコトハ開發營團ノ問題デ
アリマスガ、開發營團ノ計畫ニ依リテ
開拓サレタ農地ノ自作農創設ニ際シマ
シテ、其ノ開發ニ必要ナル所ノ素地、山
林トカ原野、サウ云フヤウナ素地ヲ提
供シタ當該町村ノ地主、所謂所有者
ガ、自分ハサウ澤山ノ田畑ヲ所有シテ
居ラヌガ、ココニ山林、原野ヲ持ツテ
居ル、是ハ今度開發營團ニ開墾スルノ
ダト云フノデ、開發營團ニ其ノ素地ヲ
提供シタ、ソレデ開發ガ完成シタ場合
ニ、其ノ素地ヲ出シタ者ガ分與ノ申込
ヲシタ際ニ、此ノ土地ヲ農地委員會ニ
於テモ自作可能ト認メ、又面積モ本法
ノ第三條第三號ノ範圍內デアルト云フ
場合ニハ優先的ニ賣渡ス御考ヘハナイ
カ、此ノ點ヲ伺フト同時ニ、斯様ニシ
テ戴クナラバ、私ハ此ノ素地ノ講入ト
云フ交渉ハ容易ニ纏マルト考ヘマスノ
デ、此ノ點ヲ一應伺ツテ置キマス
○笹山政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
農地開發營團ノ開發シタ素地ニ對シマ
シテ、將來ノ分讓ニ當リマシテ、素地
ノ元ノ所有者デアアル地主ニ對シ優先的
ニ取扱フコトガ出來ルカドウカト云フ
問題デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマ
シテハ開發營團トシテ將來自作農ニ精
進セントスル者ニ分讓スルコトヲ考
ヘテ居リマスノデ、元ノ所有者デアアル
地主サンガ鐵ヲ揮ツテ自作農ニナラウ
ト云フ場合ニハ十分考ヘタイト思ツテ
居リマス

○太田(秋)委員 分リマシタ、次ニ開
發營團ノ事業計畫ニ基キマシテ、幹線
事業ハ開發營團ニ於テ施行シタ、其ノ
事業區域內ノ一部分ノ耕地開發ヲ關係

第六類第二十五號 自作農創設特別措置法案外一件委員會議錄 第九回 昭和二十一年九月二十三日

地主ニ於テ耕地整理組合ヲ組織シテ施行スル場合ハ、之ヲ許可スルヤ否ヤ、是モ何ツテ置キタイノデアリマス、例ヲ舉ゲテ方ガ分リ易イト思ヒマスガ、一例ヲ申シマス、福島縣ノ猪苗代湖ヨリ用水ヲ取入レテヤル所ノ新築積水ト云フ事業ガ現在開闢營團ヲ著手サレテ居リマス、是ガ面積約三千五百町歩、此ノ面積ノ中ニハ、ヤハリ耕地ノ開墾ハ耕地整理組合ヲ組織シテ完全ニ自分等デヤリタイト云フ希望ヲ持ツ居ルモノガ含マレテ居リマス、勿論此ノ希望スル地主ト云フモノハ現在サウ澤山ノ面積ヲ有シテ居ナイ、耕作面積ガ狹隘デアルト云フノ、今度幸ヒニ幹線事業ヲ國ガヤツチ呉レテ其ノ恩惠ヲ受ケルナラバ、此ノ新開墾ノ開墾ダケデモ自分等ガ耕地整理組合ヲ組織シテヤリタイ、斯ウ云フノデアリマス、其ノ面積ニハ自ラ限リガアリマセウガ、ヤハリ最モ本法第三條第三號ニ該當スル以内ノ面積アツタナラバ御許シアルカドウカ、此ノ點モ併セテ御伺ヒ致シマス

○笹山政府委員 營團ノ幹線事業ニ對シマシテ、地元ノ關係者ガ水利組合或ハ耕地整理組合ヲ設ケマシテ開墾或ハ治水等ヲ考慮スルコトハ一向差支ヘナイト思ヒマス、又ソレハ寧ロ私ノ方デモ望ムデ居ル所デアリマス

○太田(秋)委員 此ノ場合農林大臣ニ御伺ヒ致シマスガ、今マデ自分所有シテ居ル自作地ト新タニ自分共ノ所有シテ居ル山林原野ヲ開墾シテ——無論此ノ開墾ノ幹線ハ國家ノ施設ニ依ツテ出來タノデアリマスガ、其ノ他ノ小設備、開墾等ニ至ルマデ耕地整理組合デヤツテ、其ノ土地ノ分配ヲ受ケテ場合ニ、現在自作シテ居ル土地ト今度新タニ開

發シタ土地ト合セテ三町歩以上ニナツタ場合モ、本法ノ適用ヲ受ケル政府買上ニ該當スルカドウカ、此ノ點モ併セテ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○和田國務大臣 是ハ第五條ノ七號デ、新開墾地等ニ付テハ、若シモ政府ガ之ヲ買收スルコトヲ不相當ト認メタモノニ付テハ買收シナイノデアリマスカラ、合セマシテ三町歩ヲ超エル場合モアルト思ヒマス

○太田(秋)委員 次ニ政府ハ、緊急開墾事業ニ依ツテ農林大臣ノ説明サレタ如ク相當面積ヲ此ノ二箇年間ニ造ルト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ新耕地ノ速カニ完成センコトハ私共モ要請シテ已マナイノデアリマス、併シ此ノ新開墾ト云フモノハ、之ヲ熟地ニスルマデニハ多年ニ亙リマシテヤハリ逐次土地ノ改良施設、土壤ノ改良——之ニ付キマシテハ石灰モ必要デアル、堆肥モ必要デアル、サウ云フヤウナ施設ハ十分ヤラナクテハナラヌト思フノデス、斯ウ云フ條件ノ件ヒマス是等ノ開拓地ヲ自作農創設地トシテ買渡ス時ニハ、ドウ云フヤウナ價格ヲ賣ルノデアルカ、引受ケタ人ガアト熱田ニスルマデニハ相當金ガ要ルト私ハ思フノデアリマス、デアリマスカラ此ノ政府ノ買渡ス時ノ基本價格ノ算定方法ヲ此ノ際承リタイト思フノデアリマス

○笹山政府委員 其ノ開墾出來上リマシテ後ノ土地ノ處分デゴザイマスガ、大體ニ於キマシテハ、其ノ土地ガ相當熟地ニ近クナツタ場合ニ於キマシテ處分スル方針デゴザイマス、隨ヒマシテ私共トシマシテハ、其ノ價格ニ付キマシテ、近傍類似ノ農地ノ價格ヲ適當ニ參酌シテ檢討シテ參リタイト思フ

テ居リマス

○太田(秋)委員 只今開拓局長ノ御説明ニ依ツテ私共大變安心致シマシタ、アラ地ヲ買上ガテ、買受ケタモノヲ熟地ニ直スト云フコトハ非常ニ費用モ出サナクテハナラヌト云フコトヲ考ヘタ、所ガ政府ノ方デ大體熟地ニナツタ所デ自作農ニ賣下テ呉レルト云フノデ、是ナラバ私モ大變安心スルノデアリマス

次ニ此ノ下トハ前ニモ農林大臣ニ伺ツタ問題デゴザイマスガ、今日又町村長ガ出テ來タノデ伺ツテ見タイト思ヒマス、政府ノ所有ニ屬スル元ノ軍用地デアリマス、先程岐阜縣ノ話モ出テ居リマシタガ、此ノ軍用地ト云フモノハ、軍部ニ依リ本當ニ一方的ナ低價ナリ價格ヲ以テ當時強制的ニ買收サレタノデアリマス、而シテ家屋敷ヲ引拂ツテ、耕地ヲ軍部ニ引渡シテ、此處ニ居住者自作者、小作者、皆期間ヲ定メラレテソレレ、此處ヲ引揚ゲタノデアリマス、斯ウ云フ同情スベキ元ノ所有者デアリマスカラ、此ノ方々ニハ優先シテ軍用地解放ノ場合ニハ還元シテ、元ノ自作農創設地ニ充當シテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ農林大臣ニ豫テ要望シタ所ガ、農林大臣ヨリハ、極メテ同情ノアル御聲明ヲ承ツタノデアリマス、ソレハ考ヘテヤラウ、サウ云フ方面ハ優先ニ取上ゲテ考ヘル餘地ガアルト云フ御話デ、此ノ點秋モ非常ニ安心ヲ表シタノデアリマス、然ルニ之ニ反スル現實ノ問題ト致シマシテ、一例ヲ舉ゲマスレバ、是ハ私ノ方ノ福島縣ノ雲雀ヶ原ノ飛行場デゴザイマス、終職直後臨時食糧生産ト云フヤウナ話ヲ聞イテ居リマシタガ、此ノ臨時食糧生産

ノ爲ニ自由開墾開闢ヲシタノデアリマス、自由ニ此ノ軍用地ハ何處デモ起シテ作レト云フ許シテ受ケタイト云フノデ、是等ノ人達ガ方々カラ集マツテヤツタノデアリマス、然ルニ此ノ自由開墾ト申シマシテモ、サウ完全ニ開墾デハナク、唯唯張りヲシテ、是ダケノ土地ハ開墾シテ置ケバ、後デ自分等ノ所有權ヲ得ラレルノダト云フヤウナ緣故ヲ作ル爲カ、殆ド粗末ナ開墾デ、何ヲ作ツテモ收穫ナドハ二ツモ出來ナイ有様ナノデアリマス、斯ウ云フ風ニシテ先取ノ耕作權ヲ戴クガ如ク主張シテ居ルノデアリマス、更ニ又此ノ土地ニ對シテ、最近開墾營團ガ計畫ニ著手サレテ居リマス、此ノ自由開墾者ニ開墾營團ノ——勿論現狀調査ニ行ツテ居ル人達ノ話デアリマスカラサウ深ク當テニモナリマセウガ、自由開墾者トシテモ此處ニ入植シタノダカラ、營團デ此ノ仕事ヲ完成シタ時ニハ、自由入植ヲ先ニヤルコトモ出來ルノダト云フヤウナ話モシテ居ラレルノデアリマシテ、最近ハソレヲ目的トスルカ、各所ニ小屋掛ケナンカラシテヤツテ居ルノデアリマス、サウシマスト、曩ニ軍用飛行場ニナツタ所カラ追ハレタ八十四戸ノ自作者或ハ小作者、之ヲ他ニ轉ズル場所ガナイカラ、村内ノ或ル部落々々ニ割付ケテ、サウシテ僅カノ山林原野ヲ開墾シ、此處ニ宅地ヲ移シテ一戸ニ付テ四、五段位ノ畑作ヲ營ンデ、傍ヲ勞働ニ從事シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ元ノ自作農者ハ何トカシテ昔ノ土地ニ還リタイト云フコトヲ念願シテ已マナイノデアリマシタガ、然ラバ此ノ連中ガ自由開墾ヲ許サレタト云フ時ニ、ナゼ早ク其處ニ戻ツテ開墾ニ著手シナカツタカ、斯ウ云フコトニナルト、

福島縣ノ扱ヒ大變ナ食糧ヒガ出來テ居ツタノデアリマス、是ハ私共ノ當時村長ヲ勤メテ居リマシタノデ、能ク承知シテ居リマスガ縣ノ方カラハ、其ノ土地ハヤハリ舊墾故者ニ優先シテ分配スベキ性質ノモノデアルカラ、舊墾故者ノ内ニ他ニ轉業シタ者ハアルケレドモ、現在其ノ附近ニ戻ツテ居ル元ノ自作者ニナリタイト云フモノヲ調査シテ呉レ、或ハ其ノ耕作段別ヲ調査シテ置ケト云フコトヲ我々町村長ニ向ツテ縣ノ指圖ガアツタノデアリマス、デアリマスカラ縣ガ速カニ關係筋ト交渉シテ、サウシテ町村長ニ指圖シタ運リノ運ビニシテ呉レ、バ問題ハナカツタノデアリマスガ、縣ノ關係筋ヘノ交渉ガ遅レタ爲ニ、其處ニ行ツタ進駐軍ノ方ノ手ニ依ツテ許可ヲ受ケタト云フ者ガ現ハレテ來マシテ、其ノ許可ヲ受ケタ某ナルモノガ多數ノ急造開墾者ヲ募集シテ來テ、皆彌羅リシテヤツタノデアリマス、サウスルト町村長ノ方ニ依存シテ居ツタ者ハ、手後レニナツテ、其ノ方ノ自由開墾ノ願請ハ認メラレナカツタノデアリマス、斯様ナ結果ニ於キマシテ、如何セン我々町村長トシテモ方法ガナイカラ、此ノ緣故關係ヲ禁絶シテ、大藏大臣ニ向ツテ、國有地ニ縁故者ノ自作農創設ヲシテ欲シイト云フ請願ハ致シテ置キマシタガ、是等ノ國有地ヲ開墾營團ガ事業ヲシテ取扱フ場合ニハ、地元ノ町村ノ農地委員會ニモ相談ガアルベキ管ト私共思ツテ居ルノデス、デアリマスガ、此ノ自由開墾地ヲ繩張りシテ今良イ所ダケヲ起シテ居リマスガ、尙ホ殘地モ相當アリマス、是等ノモノヲ今後開墾營團ガ全地區ノ事業計畫ヲ立テ上ニ、又此ノ耕地ノ配分スル時ニ於キマシテハ、相

○爲ニ自由開墾開闢ヲシタノデアリマス、自由ニ此ノ軍用地ハ何處デモ起シテ作レト云フ許シテ受ケタイト云フノデ、是等ノ人達ガ方々カラ集マツテヤツタノデアリマス、然ルニ此ノ自由開墾ト申シマシテモ、サウ完全ニ開墾デハナク、唯唯張りヲシテ、是ダケノ土地ハ開墾シテ置ケバ、後デ自分等ノ所有權ヲ得ラレルノダト云フヤウナ緣故ヲ作ル爲カ、殆ド粗末ナ開墾デ、何ヲ作ツテモ收穫ナドハ二ツモ出來ナイ有様ナノデアリマス、斯ウ云フ風ニシテ先取ノ耕作權ヲ戴クガ如ク主張シテ居ルノデアリマス、更ニ又此ノ土地ニ對シテ、最近開墾營團ガ計畫ニ著手サレテ居リマス、此ノ自由開墾者ニ開墾營團ノ——勿論現狀調査ニ行ツテ居ル人達ノ話デアリマスカラサウ深ク當テニモナリマセウガ、自由開墾者トシテモ此處ニ入植シタノダカラ、營團デ此ノ仕事ヲ完成シタ時ニハ、自由入植ヲ先ニヤルコトモ出來ルノダト云フヤウナ話モシテ居ラレルノデアリマシテ、最近ハソレヲ目的トスルカ、各所ニ小屋掛ケナンカラシテヤツテ居ルノデアリマス、サウシマスト、曩ニ軍用飛行場ニナツタ所カラ追ハレタ八十四戸ノ自作者或ハ小作者、之ヲ他ニ轉ズル場所ガナイカラ、村内ノ或ル部落々々ニ割付ケテ、サウシテ僅カノ山林原野ヲ開墾シ、此處ニ宅地ヲ移シテ一戸ニ付テ四、五段位ノ畑作ヲ營ンデ、傍ヲ勞働ニ從事シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ元ノ自作農者ハ何トカシテ昔ノ土地ニ還リタイト云フコトヲ念願シテ已マナイノデアリマシタガ、然ラバ此ノ連中ガ自由開墾ヲ許サレタト云フ時ニ、ナゼ早ク其處ニ戻ツテ開墾ニ著手シナカツタカ、斯ウ云フコトニナルト、

○爲ニ自由開墾開闢ヲシタノデアリマス、自由ニ此ノ軍用地ハ何處デモ起シテ作レト云フ許シテ受ケタイト云フノデ、是等ノ人達ガ方々カラ集マツテヤツタノデアリマス、然ルニ此ノ自由開墾ト申シマシテモ、サウ完全ニ開墾デハナク、唯唯張りヲシテ、是ダケノ土地ハ開墾シテ置ケバ、後デ自分等ノ所有權ヲ得ラレルノダト云フヤウナ緣故ヲ作ル爲カ、殆ド粗末ナ開墾デ、何ヲ作ツテモ收穫ナドハ二ツモ出來ナイ有様ナノデアリマス、斯ウ云フ風ニシテ先取ノ耕作權ヲ戴クガ如ク主張シテ居ルノデアリマス、更ニ又此ノ土地ニ對シテ、最近開墾營團ガ計畫ニ著手サレテ居リマス、此ノ自由開墾者ニ開墾營團ノ——勿論現狀調査ニ行ツテ居ル人達ノ話デアリマスカラサウ深ク當テニモナリマセウガ、自由開墾者トシテモ此處ニ入植シタノダカラ、營團デ此ノ仕事ヲ完成シタ時ニハ、自由入植ヲ先ニヤルコトモ出來ルノダト云フヤウナ話モシテ居ラレルノデアリマシテ、最近ハソレヲ目的トスルカ、各所ニ小屋掛ケナンカラシテヤツテ居ルノデアリマス、サウシマスト、曩ニ軍用飛行場ニナツタ所カラ追ハレタ八十四戸ノ自作者或ハ小作者、之ヲ他ニ轉ズル場所ガナイカラ、村内ノ或ル部落々々ニ割付ケテ、サウシテ僅カノ山林原野ヲ開墾シ、此處ニ宅地ヲ移シテ一戸ニ付テ四、五段位ノ畑作ヲ營ンデ、傍ヲ勞働ニ從事シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ元ノ自作農者ハ何トカシテ昔ノ土地ニ還リタイト云フコトヲ念願シテ已マナイノデアリマシタガ、然ラバ此ノ連中ガ自由開墾ヲ許サレタト云フ時ニ、ナゼ早ク其處ニ戻ツテ開墾ニ著手シナカツタカ、斯ウ云フコトニナルト、

○爲ニ自由開墾開闢ヲシタノデアリマス、自由ニ此ノ軍用地ハ何處デモ起シテ作レト云フ許シテ受ケタイト云フノデ、是等ノ人達ガ方々カラ集マツテヤツタノデアリマス、然ルニ此ノ自由開墾ト申シマシテモ、サウ完全ニ開墾デハナク、唯唯張りヲシテ、是ダケノ土地ハ開墾シテ置ケバ、後デ自分等ノ所有權ヲ得ラレルノダト云フヤウナ緣故ヲ作ル爲カ、殆ド粗末ナ開墾デ、何ヲ作ツテモ收穫ナドハ二ツモ出來ナイ有様ナノデアリマス、斯ウ云フ風ニシテ先取ノ耕作權ヲ戴クガ如ク主張シテ居ルノデアリマス、更ニ又此ノ土地ニ對シテ、最近開墾營團ガ計畫ニ著手サレテ居リマス、此ノ自由開墾者ニ開墾營團ノ——勿論現狀調査ニ行ツテ居ル人達ノ話デアリマスカラサウ深ク當テニモナリマセウガ、自由開墾者トシテモ此處ニ入植シタノダカラ、營團デ此ノ仕事ヲ完成シタ時ニハ、自由入植ヲ先ニヤルコトモ出來ルノダト云フヤウナ話モシテ居ラレルノデアリマシテ、最近ハソレヲ目的トスルカ、各所ニ小屋掛ケナンカラシテヤツテ居ルノデアリマス、サウシマスト、曩ニ軍用飛行場ニナツタ所カラ追ハレタ八十四戸ノ自作者或ハ小作者、之ヲ他ニ轉ズル場所ガナイカラ、村内ノ或ル部落々々ニ割付ケテ、サウシテ僅カノ山林原野ヲ開墾シ、此處ニ宅地ヲ移シテ一戸ニ付テ四、五段位ノ畑作ヲ營ンデ、傍ヲ勞働ニ從事シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ元ノ自作農者ハ何トカシテ昔ノ土地ニ還リタイト云フコトヲ念願シテ已マナイノデアリマシタガ、然ラバ此ノ連中ガ自由開墾ヲ許サレタト云フ時ニ、ナゼ早ク其處ニ戻ツテ開墾ニ著手シナカツタカ、斯ウ云フコトニナルト、

當ニ耕作ノ便、不便モ勘案シテ、十分元ノ縁故者ニモ分配サレシコトヲ御願ヒスルト同時ニ、此ノ點ヲ強ク政府ニ要望スルノデアリマス、此ノ軍用飛行場カラ追ハレタ者ハ、明治二十年頃ニ、此ノ國有地ノ拂下ヲ受ケテ開墾ヲシ、非常ナ苦勞慘酷ヲシテ良イ畑地ニシタノデアリマス、是等ハ今日マデ三代モ經ツテ此ノ地ノ利用ノ仕方、耕作ノ仕方ヲ十分習得シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ者ヲアノ地ニ置カナケレバ、他カラ入ツタ者ノ者デハ到底好イ結果ヲ得ル譯ニハ行カス、私ハ却テ斯ウ云フ經驗ノアツタ者ヲ置イタ方ガ、其ノ地ヲ利用スル上ニ於テ、利用價值ガアルト考ヘルノデ、ドウシテモ之ヲ織込テ戴キタイト云フコトヲ、特ニ此ノ際政府ニ御願ヒスルト同時ニ、其ノ御方針ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○和田園務大臣 御尤モデアリマスノデ、御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト思ヒマス

○和田(秋)委員 最後ニ御伺ヒシタイコトハ、政府ハ農ニ開墾助成法ヲ制定サレマシテ、開田事業ヲ民間團體ニ委任シテ開拓サセタノデアリマス、此ノ開拓中ニモ種々事業ガゴザイマスガ、私ノ聞ク所、又私共拜見シタ所ニ依リマスト、干拓事業ト云フモノハ頗ル困難デゴザイマス、是ハ九州方面、中國ニハアリマス、唯私ノ縣ニハ三タシトゴザイマス、唯私ノ縣ニハ三箇所ガゴザイマス、此ノ福島縣ニアル干拓事業ガ約三箇所、面積ガ約七百町歩デゴザイマス、此ノ工事ヤヤツタ時ニ於キマシテハ、太平洋方面ハ九州方面ト違ツテ、干満ノ差ハ三尺乃至四尺ノ間ヲ往復シテ居リマスカラ、餘リ干

拓ニハ適シテ居ナイノデアリマスケレドモ、政府ガ大正七年ノ米暴動ニ鑑ミテ、大正八年原内閣ノ時代ニ開墾助成法ヲ制定シテ、民間ニ慈惠シテテラセタノデアリマス、是ガ其ノ後ニ至ツテ工事中幾多ノ災害ヲ受ケ、又設計ノ變更ヲ已ムナクシ、事業ガ大變ニ長期ニ互ツテ居ル中ニ、段々政府ノ方針ガ變ツテ參リマシテ、減段ト云フ方針ニナツテ來マシタ、此ノ減段ニ依リテ開墾助成ト云フモノハ中途ニ於テ之ヲ打切ラレタノデアリマス、爾來耕地整理組合ハ非常ナル困難ニ陥ツタケレドモ、折角途中マデヤツタ事業デアルカラ拋棄スル譯ニハ行カナイ、財源ヲ起債ニ求メテ此ノ工事ヲ續行シタ爲ニ、今日ハ開田トシテハ立派ニ成功シテ居リマス、又相當ノ收穫モ上ツテ居リマスガ、是レ亦一ツノ缺點ガ生レテ來タド云フコトハ、最近ニ於キマシテ各河川トモ著シク用水ガ減少シテ、未流ニアル所ノ干拓地ハ灌溉用水ガ全クナイ、ソコデ周圍ノ溜地ヲ造ツテ見タガ、是レ亦流域ガ不足十分ニ一パイノ水ガ溜ラヌ、デアリマスカラ旱天ノ年ニハ全ク用水ガ缺乏シテシマツテ、植付ハ致シマシテモ、此ノ土壤ノ中ニハ鹽分ガマダ殘存シテ居ル、元鹽田デアツタカラ、或ハ鹽水ノ入ツタ土地デアリマス、其ノ鹽水ガ出テ來テ稻ヲ枯ラヌノデアリマス、此ノ被害ハ洵ニ甚大デアリマス、折角肥料ヲシテ植付ケテ、非常ナ良イ成育ヲシテ來タ時ニ、水ガ溜レルト云フト、土壤カラ鹽分ガ流出テ來テ稻ノ眞赤ニ枯ラシテシマフ、ソレガ爲ニ一段歩三、四俵、或ハ五俵位僅レル土地ガ皆無ニナル年モゴザイマス、之ニハ農事試驗場デモ、鹽分ノ除去ト云フコトヲ色々ヤツテ見マシタ

ガ、中々大面積ノ鹽分ヲ俄カニ斷ツト云フコトモ、マダ科學的ニ研究ハ付イテ居リマセヌ、ソコデドウシテモ淡水ヲ潤澤ニシテ、淡水ヲ掛ケ流スト云フコトガ一番デアリマス、ソレニハ現ニ其ノ干拓地ノ中デモ苦シクナツテ突抜キ井戸等ヲ掘ツテ、六百尺、或ハ八百尺ノ地下水ヲ取ツテ掛ケテ居ルノデアリマス、其ノ地下水ノ掛ツタ所ノ一町歩位ハ鹽害ヲ被ラナイ、僅カノ細イ井戸ノ水デモ、鹽害ヲ防止シテ居ルノデアリマス

(委員長退席、小川原委員長代理 著席)

斯ウ云フ次第デアリマスガ、此ノ井戸モ澤山掘リマス、他ノ井戸ガ出ナクナル、地下水ニハヤハリ限りガアル、ソコデ私共ハ此ノ土地ヲ建直スニハ、ドウシテモ此ノ耕地面積ニ足リルダケノ灌溉用水ノ設備ヲシタイト云フコトヲ念願シテ居ルノデアリマス、ケレドモ、何分ニモ組合ガ今マデ非常ニ疲レテ、資力盡キテ中々容易デナイ、此ノ云フヤウナ不安定ナ、戦時中斯ウデアリマスカラ、勞務賃ノ高イ時ニハ、小作人ハ皆他ニ離農シタ、ソコデ地主ガ集マツテ直營テ數十町歩作ツタ、應援其ノ他テ勞務ヲ獲得ヲシテヤ童ノ應援其ノ他テ勞務ヲ獲得ヲシテヤツタノダガ、是等モ勞務賃ガ高クテ到底引合ハナイ、地主ノ手取收入ト云フモノハ、小作ノ方ハ御承知ノ通り五十ニ全部掛ケテモ、此ノ百二十圓ノ生産費マシケレドモ、此ノ百二十圓ノ生産費折角ノモノガ所々枯レシマフ、總收獲デ計算シテ見ルト、生産費ガ百五十圓或ハ二百圓モ掛ルト云フ状態デアリ

マシテ、戰爭中四、五年ノ間ニ殆ド此ノ地ヲ不耕作地ニシナイデ我々ハ守ツテヤツテ來マシタガ、此ノ上トモ用水設備ヲスルコトハ、我々ノ手デハ中容易デナイノデアリマス、政府ハ此ノ度食糧ノ生産ノ目的、或ハ失業救済ノ目的、其ノ他土地ヲ澤山ニ與ヘルト云フコトカラ、緊急開墾ヲ始メタノデアリマスガ、私共ノ管理シテ居ル干拓地モ決シテ自作農創設ニシタクナイノデハナイ、今デモ自作農ニシタイ、併シ今申上ゲタ通りノ土地デアリマスカラ、今移住住宅補助ヲ買ツテ入ツテ三箇所ニアル、ヤハリ二百戸位ノ戸數ガアリマスケレドモ、是等ニ勸メテモ容易ニ引受ケナイ、非常ニ維持管理費ガ掛ル、排水スルノデモ、此ノ頃ハ排水ノ動力料ガ十倍ニ上ツタ、此ノ間モ農工大臣ニ話シタケレドモ、斯ウ云フ農業用電力ヲ上ゲルナラバ、農林大臣ト協議シテ呉レ、政府ノ方デハ、縣ノ方デハ、日本ノ油ノ船舶ニ使ハナケレバサナカスカラ、成ベク「デイトセル、エンジン」ヲ使ハナイデ、電化ニセヨト云フノデ、慈惠サレテ電化シタ、私共御尤モダト思ツテ、高イ機械ヲ買ツテ電化シタ、所ガ農業電力ガ十倍ニ上ツタ、斯様ニ唯一律ニ、工業電力ト同ジヤウニ農業電價ヲ許可スルコトハ商工大臣困難デハナイカト云フコトハ先達テ話シマシタガ、是後ノ祭リデドウニモナラヌ、職員ガ經營管理ナドヤツテ上ゲタノデアリマス、我々ハ此ノ點ニ付テ、現在マデハ二萬七、八萬圓ノ動力代ガ、三箇所デ約十七、八萬圓モ拂ハナケレバナラヌト云フコトニナツテハ、維持管理ニ掛ツテ經營ガ出來ナイノデアリマス、之ニ對シテ私ハ今抗議ヲ申込シテ、幾分ハ割引キスル

ヤウウナコトモ言ツテ居リマスガ、斯云フコトデ中々組合ノ維持ガ出來ナイ、私ハ政府ニ要望スルノハ、今斯ウ云フ風ナヤ段ノ策ヲアレバ立派ナ耕地ニナツテ、收穫モ段々四俵位ハ平均獲レルノデアリマシテ、斯ウ云フ土地ヲ一段ト直シテ自作農地ニシテ戴キタイ、是等ノ要望スルト共ニ、是ハ元々政府ノ慈惠シタ開墾助成法ニ依ツテ出來タ仕事デアリマス、ソレヲ中間デ離シテシマフ、大海ノ中マデ誘キ出シテ櫛毛櫛毛ブツ投ゲテシマツタヤウウ状態デスカラ、ドウカ現農林大臣ニ於テ之ヲ取上ゲテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ御願ヒスルト共ニ、私ノ希望ヲ申上ゲ、之ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○笹山政府委員 開墾助成當時實行サレタ事業ガマダ完成シナイ内ニ、助成ガ打切ラレテ非常ニ御困リノ御話デアリマスガ、マダ十分完成ヲ見テ居ナイト云フ地區ニ對シマシテハ、當局ト致シマシテ繼續シテ事業ヲ完成サセタイ、斯ウ云フ考ヘデアリマス、隨ヒマシテソレニ付テ灌溉用水ノ設備、其ノ他ニ關シマシテ、若シ適當ナ事業ガゴザイマスルナラバ、其ノ點ハ十分御連絡ヲ願ヒマシテ、之ヲ完成スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○小川原委員長代理 佐伯君

○佐伯委員 大分質問モ盡キタヤウデアリマス、私ガ伺ハント致シテ居リマス要點モ、大分御聽カセ願ツタノデゴザイマスガ、殘ツタ部面ニ付テ二、三點伺ヒマス

私ガ一番不審ニ思ツテ居リマスノハ、農地ノ時價ト云フモノヲドウ云フ基準ノ下ニ御決メニナツタノデア

○太田(秋)委員 私人質問ハ是デ打切

カ、即チ土地ノ開墾費ガ元ニナツテ居ルカ、或ハ其ノ土地カラ上ル農産物ノ價格ヲ基準ニシテ時價ガ決定サレルモノデアリカ、其ノ邊ニ付テ何ヒタイト思ヒマス

○和田國務大臣 是ハ時價デハナク、統制價格デゴザイマスガ、其ノ統制價格ヲ出シマスノハ、小作人ガ自作人ニナリマス時、實際上ソレヲ耕シテ得マシタ純利益ト云ヒマスガ、サウ云フモノヲ出シマシテ、ソレヲ一應基準ニシテ此ノ土地ノ率ニ依リテ計算シテ出ス、斯ウ云フ形ヲ執ツテ居ル譯デアリマスガ、其ノ考ヘ方ハ、逆ニ言ヘバ、小作人ガ自作人ニナリマシテ以後、從來拂ツテ居リマシタ小作料ナラ小作料以上ノ負擔ヲ帶ビズシテ自作人ニナリ得ル價格、標準價格ト云ヒマスガ、サウ云フ點カラ價格ト云フモノヲ決定致シテ居ル譯デアリマス

○佐伯委員 餘リ土地ノ價格ガ安イト云フコトニナルト、今後原野デアルトカ、山林ノ開墾ト云フヤウナ意欲ガ減退スルノデハナイカト考ヘル、現在新タニア、云フ所ヲ開墾スルトシマスレバ、畑ニシテ少クトモ三百圓以上掛ルモノト考ヘル、サウスルト、一段デハ三千圓乃至五千圓掛ルデハナイカト思フ、サウ云フ意欲ガ減ズルト云フコトヲ非常ニ心配スルモノデアリマス、舊來カラ農村ハ總テ價例ガアリマシテ、上田ハ米、又牛デアレバ、上等ノ牛ハ米二十俵ト云フ大體ノ標準ガアツタノデアリマス、サウ云フ標準ガアツタト云フコトヲ御參考マデニ申上ゲテ置キマス

ソレカラ此ノ法案ガ決定致シマシテ、是ハ直チニ實行ニ移サナケレバナ

リマセヌガ、上ノ方デハ大體ノ方針デアリカ、上ヤリマスケレドモ、細部ニ互ツテ直接働キ當ル所ノ町村ノ方デハ中容易デナイト思フテ居リマス、貸貸價格ト云フモノハ大體家ガ標準ニナツテ居リマス、家以下一筆々々ノ貸貸價格ト云フコトデハ適正デナイト考ヘテ居リマス、サウ云フコトニナツテ參リマスト不公平ガ生ジテ來ルト、思ヒマ

ス、農村ノ方ハ公平ト云フコトヲ非常ニヤカマシク言フノデゴザイマシテ、一寸公平ヲ失シタ場合ニハ取返シガ付カナイ、農村ノ平和ヲ紊スモノデアリマスノデ、斯ウ云フ所ヲ非常ニ心配シテ居リマス、就テハ其ノ家ノ中デ上等ノモノ、悪イモノニ付テ、上等ノモノニ付テハ粹外シテ高ク買上ゲル御考ヘハアリマセヌカ、左様ナ工合ニ致シマセヌト、同シ家ノ中デモ容易ニ解決ノ付カヌヤウナ實例ガ今マ澤澤山アツ

デ、其ノ時々ニ非常ニ困ツタコトデアリデアリマス、細カキ問題ノヤウデゴザイマスガ御伺ヒ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○和田國務大臣 價格ニ付キマシテハ、貸貸價格ノ田ハ四十倍、畑ハ四十

八倍ト云フモノヲ基準ニ致シテ、其ノ範圍内デ之ヲ決メルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、上田ト下田デハ恐ラク貸貸價格ガ違フ譯デゴザイマスカラ、自然ソ

コニ良イ田ハ良イ、悪イ田ハ低クナルノデゴザイマス、現在ニ於テモ此ノ前ノ農地調整法ノ規定ニ依リマシテ、都道府縣農地委員會ノ意見ヲ聽イテ市町村農地委員會ガ申請シタ區域ニ付テハ

前ノ率トハ違ツタ率ナリ額ナリ決メルコトガ出來ルヤウニシテ居リマシテ、ソレガ現實ニ適應致シマスヤウナ

裕リヲ持タセテ居ルノデアリマス

○佐伯委員 政府デハ此ノ二箇年間ニ二百萬町歩ノ土地ヲ買上ゲテ配分スルト云フコトデゴザイマスガ、實際問題トシテ是ハ可能デゴザイマセヌカ、本年三月十五日デアリマシタカ、G・H・Qノ發言ヲ見テ、當時ノ東畑農政課長ハ是ハ實際ニ不可能ダカラ首ヲ

課長ハ是ハ實際ニ不可能ダカラ首ヲ切ツテ實ヲ云フノデ首ヲ差伸ベタト云フコトモ私ハ聞イテ居リマスガ、是ハ決シテ容易ナコトデハナイト、思

ツテ居リマス、之ヲ二箇年間ニ配分スルト云フノハ、現在ノ地方廳ノ機構デハ絕對出來ナイト思フテ居リマス、ソコデ之ヲ實行スル爲ニハ、何トカ思

切ツタ大機構ヲ御作りニナラナケレバ出來ヌト思フ、之ニ付テ具體案ヲ御考ヘニナツテ居リマスカドウカ、アルト致シマスレバ、此ノ席上ニ於テ詳シク國民ニ御示シテ願ヒタイト考ヘマス、

是ハ大臣デハ一寸勿體ナイコトダト思ヒマス、殊ニ是ハ事務的ナコトデアリマシテ、却テ政府委員ノ方ガ能ク御存

ジニナツテ居ルト思ヒマス、其ノ方カラ御説明ヲ願ヒタイト考ヘマス

又序デニ參考マデニ御尋ネ申上ゲテ置キマスガ、地方廳ニ付テハ、知事以下ノ任免權ヲ内務大臣ガ持ツテイラツ

シヤル、ソコデ經濟部長デモ農林省ノ命令ハ中々キカヌト云フヤウナ工合デ

ゴザイマス、サウスルト内務省ノ出店デハナクシテ、農林省ノ出店ヲ作ル必要

ガアルト思ヒマス、譬ヘテ言ヘバ、農産物ノ生産量ノ調査デモ同ジコトデアリ

マスガ、今年ノ麥ノ實收調査ノ如キ、知事ノ報告ト食糧管理局ノ調査デハ

三百五十萬石モ相違ガアリマス、一割以上違ツテ居ルノデハナイカト思フテ

居リマス、又二十一年度ノ今年ノ産米

ノ豫想調査ニ致シマシテモ、知事ノ報告ハ五千二百萬石トナツテ居リマス、是ハ

大キナ相違デゴザイマス、コンナコトハ洵ニ寒心ニ堪ヘマセヌ、私ハ我が國

ノ統計ガ出鱈目デアアル、其ノ爲ニ失敗ヤ惡政ガ繰返サレテ居ツタト云フコト

ハ、先達テノ地方制度委員會ニ於テモ内務大臣ニ苦言ヲ呈シテ置イタヤウナ

次第デアリマス、殊ニ農林統計ノ如キハ極メテ重大ナ關係ヲ持ツテ居リマス

ノデ、最モ適切ナ手段ト方法ヲ講ジナケレバナラナイノダト思ヒマス、是ハ

要スルニ、先程申シマシタヤウニ、機構ト人間關係ヲ思ヒ切ツテ整備スル要

ラウト云フコトノヤウデアリマスガ、此ノ度ノ軍事補償ノ打切りニ付テハ、直接目見エナイヤウデアリマスガ、段々ト悪影響ヲ及ボシテ來ルト思ツテ居リマス、又何レハ國債ノ整理ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フコトニナツテ、次ギ、金融上ノ恐慌ヲ招來スルコトニナルト、協同組合法案ヲ出ス時期ガナイト思ヒマス、特ニ今議會ハ提出ニナラナカッタデアリマスガ、恐ラク斯ワシタ金融措置ノ問題ガ次ギ、ニ行ハレル今日ニ於テハ、其ノ時期ガナイノデハナイカ、左様ニ私ハ考ヘル、中金或ハ農業會ニハ相當打撃ガアルト心得テ居リマス、早ク之ヲ救済シナケレバナラナイ、私ニ言ハセテ戴キマスナラバ、早ク此ノ團體ヲ別々ニ分割シテ、速カニ生業増強ニ當ラセラルコトガ、最善ナリト信ジマス、金融恐慌ノ爲ニ内容ガ非常ニ惡クナツテ居ル所ヘ持ツテ來テ、速カニ思ツテ積極ノ増産ヲシナケレバ、救國日本ヲ運ラズ所以デアルト私ハ考ヘマス、出來ル限リ、譬ヘテ言ヒマスレバ、養蠶組合トカ畜産組合トカ、茶業、酪農ナドヲ別トニ組合ヲ作ツテ行ケバ、此ノ發展ノ目的ガナシ得ラレコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアアル爲ニ、此ノ機會ニ於テ早ク是ガ全機能ヲ發揮セシムルヤウニ御指導ヲ願ヒタイ、御答辯ハ要リマセヌ

アルコトヲ、ハツキリ御示シ願ヒタイノデアリマス
○和田國務大臣 其ノ點ハ屢々御答ヘ致シタ譯デアリマスガ、協同組合モ之ヲ何時マデモ延バス譯デアリナイノデアリマシテ、出來ルダケ早イ機會ニ出シタイト準備致シテ居ル譯デアリマス、恐慌ニ對スル對策ヲ、今カラ色々其ノ時ヲ考ヘマシテ、農地ノ經營方面ノ改善、或ハ農村ノ組織化ト云ツタコトニ付テノ施設ヲ考ヘテ居リマス、是ハ何ト云ヒマシテモ一般ノ世界ノ農業經濟ノ動向ヲ察知致ス必要ガアリマス、所等ニ於テ十分檢討シテ、今後ハ農林省ノ政策ト云フモノヲ實施シテ行クヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○佐伯委員 是ハ他ノ委員ノ方カラ度度質問ニナツタコトトゴザイマスガ、先般內務省カラ公表ニナツタ復興五箇年計畫ノ農業部面ト云フモノハ、極メテ杜撰千萬ナモノデアラト思ヒマス、アレハ農林省ニ御相談ニ相成ツタモノデアリマセウカ、御相談ニナラナカッタデアリマセウカ、私ノ推定ニアル所ニ依リマスレバ、內務省獨自ノ案デアツタデアリナイカト考ヘマス、又サウ聞イテ居リマス、左様ナコトガアツテハ相成リマセヌ、國土ヲ始トガ山林デアリ、原野デアリ、或ハ耕地デアアツテ、大部分農林省ノ所管デアアルト思ヒマス、是等ノコトヲ農林省ニ相談ナシニ、決定マデニ行カストシテモ、發表スルト云フコトハ面白クナイト思フ、何故御相談ニナラナカッタカト云フコトヲ御伺ヒ致シタイ、是ハ國土局長ニ御伺ヒ致シマス
○小川原委員長代理 此ノ際際ニ內務省國土局計畫課長八島三郎君ノ發言ヲ

許可致シマス
○八島說明員 國土計畫ノ試案ニ付キマシテ、色々御批判ヲ願ツテ居リマス點ニ付キマシテハ、起案ヲ致シタ私共トシテハ洵ニ有難ク存ズル次第デアリマス、只今御話ノゴザイマシタ國土計畫ノ中、テノ案全般ニ付キマシテハ、大臣色々説明ヲ致シテ居リマスカラ、實ハ試案ゴザイマシテ、我々ノ研究シテ居ル所ヲ色々方面カラ御聽キヲシヨウト云フ意味デ、實ハ議會ノ方面ニ於テモ色々國土計畫ノ御話モゴザイマスノデ、一應私共ノ考ヘ方々ケデモ纏メテ見ヨウト云フ氣持デアツタモノデゴザイマス、資料ニ付テハ關係各省カラ皆戴イテ居リマス、是ハ內務省獨自ノ試案ナ案ガ出來ル管ノモノデアリマセウカ、關係資料ニ付テハ各方面カラ戴イテ居ルノデゴザイマスガ、唯之ヲ取捨致スニ付キマシテハ、私ノ方トシテハ出來ルダケ地方ノ配分計畫ト云ツタヤウニ立脚點等ヲ尊重致シマシテ、集マリマシタ資料ヲ適宜按配致シマシテ、實ハ、云ツタヤウナモノヲ作ツタ譯デアリマス、實ハ作リマシタ案ノレ自體ゴザイマス、省ト十分協議ハ遂ケテ居リマセヌ、此ノ點ニ付キマシテハ議會ノ方面ニ於テモ度々問題ガ出テ居リマスノデ、其ノ都度委員會ノ席上等ニ於テ御答ヘ致シタヤウナ關係モゴザイマスルノデ、此ノ程度一應發表シテ見ヨウデアリナイカト云フヤウナ輕イ氣持デアツタノデアリマスガ、御指摘ノ點等ニ付テハ、關係各省ニモウ一遍御集マリテ願ヒ、サウシテシツカリシタモノニ個々行キタイ、ノミナラズ大臣モ此ノ席上ニ於テ言明シテ居ラレマス如クニ、內閣ニ近ク國土計畫審議會ト云フ權威アル

モノヲ設ケテ完壁ナモノヲ作りタイト云フヤウナ意圖ヲ屢々洩ラサレテ居リマスノデ、之ニ依ツテシツカリシタ完壁ナ案ヲ作ツテ行クヤウニシタイト實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス
○佐伯委員 開墾地ノ自作農創設ハ極メテ困難ナコトト思ヒマス、計畫ハ出來テモ全部ヤリ切レルダケノ自信ガアルカ否カ、現在開墾ノ濟ンデ居ル十萬町歩サハモ自作農創設ト云フコトハ非常ニ無理ガアルヤウデアリマス、私ノ縣ノ如キハ、戰時中開墾營團ガ開墾致シマシタ所ガ再ビ草莽ニトシテ、又原野ニ還ツテ居ルヤウナ狀態デアリマス、又入植計畫ヲ立テテモ、家ネナイシ、道具モナイシ、或ハ寢具モナイ、其ノ上ニ營農費ハ殆ドナイト云ツテ宜イ位デアアル、又其ノ上既存ノ近イ農家ノ方カラ同情ガナク、毛嫌ヒラサレ、排斥サレルト云フヤウナコトガアツテ、大抵ノ者ハ入植ヲ失望シテシマフト云フ狀態デアリマス、此ノ開墾地ニ於ケル自作農創設ト云フコトガ計畫通りニ推進出來ルモノデアルカ否カ、特ニ營農費ノ如キハ洵ニ貧弱デアリマスノデ、是等ノ貸付方法或ハ助成ノ方法ヲ思ヒ切ツテヤツテ戴カナケレバナラヌト思ヒマスガ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○和田國務大臣 御尤モデアリマシテ、開墾地ノ自作農創設ハ中々困難ヲ伴ヒマス、計畫ノキヤリマシタアノ滿洲移民ノ場合ニ於テアリマシテモ、同様ノ困難ガアツタ譯デアリマシテ、内地ニ於テモヤハリソレ等ノ困難ハアルコトト思フノデアリマス、殊ニ最近ノヤウニ資材ノ非常ニ窮乏ナ時ニハソレガ加重サレル譯デアリマシテ、住宅ナドノ點ニ付テモ、今マデノ所満足ニハ行ツ

テ居ナイ狀態デアリマス、併シ今後ハ住宅ナドノ點ニ付テモ、先ヅ家ヲ建テルトカ云フヤウニシテ、開墾ノ計畫ガ圓滑ニ行クヤウニ、工夫シ努力シテ見タイト思フノデアリマス、又營農資金ニ付キマシテハ、只今ノ所色々ナモノヲ合セテ大體一萬圓位ヲ提供致シテ居ル次第デアリマス、勿論之ヲ以テ十分トハ言ヘマセヌガ、營農上ノ其ノ他ノ指導面ニ付テモ、從來ハ是ガ十分デアアルトハ申セマセヌガ、是カラノモノニ付キマシテハ、計畫ヲ立テル時ニガツチリ立テマシテ、サウ云ツタ弊害ヲ出來ルダケ少クスルヤウニヤツテ參リタイト考ヘテ居リマス
○佐伯委員 營農費一萬圓ト云フノハ、今日ノ金額ニシテハ洵ニ零細ナモノト考ヘマス、ソレカラ九月三日ノ會議決御決定ニナツタ公共事業費六十億圓ノ中、農林省關係ハ二十九億五千萬圓モ取ツテ居ラレマスガ、ソレハドノ部面ヘ使用サレルノデアアルカ、大部分ハ開拓或ハ干拓關係ト想像致シマスガ、極メテ大ナ豫算ニ上ツテ居リマス、決シテ豫算ヲ取ルダケガ能デハナイ、要スルニ此ノ實行ヲ巧ミニスルト云フコトガ結局國家再建、救國ノ途デアアルト考ヘマス、現在農村デハ化學肥料ヲ非常ニ要求シテ居リマス、勿ガ必要ダト考ヘマス、現在農村デハ化學肥料ヲ非常ニ要求シテ居リマス、勿論化學肥料ナルモノハ裏作ニハ必要デアリマスガ、夏作ニ關シテハ大體補助ノ程度デ宜イト考ヘテ居リマス、昔カラ言フヤウニ、精製ハ田圃ノ作ル、中農ハ作物ヲ作ルト云フコトニナツテ居コト、眞ニ農業ニ精出ス者ハ土地ヲ耕スコトニ專念スル、サウシナケレバ、安全ナ作物ガ得ラレナイノデアリマス、土地ヲ肥ヤスニ付テハ、飽クマデモ家

畜ヲ利用シナケレバ其ノ目的ハ果サレ
マセズ、開墾地、開拓地ニ於テハ特ニ是
ガ必要デアリマス、厩肥、堆肥ヲ以テ土
地ヲ作ツテ行キヨリ外ニナイト思フツテ
居リマス、現在ノ各家畜ノ数カラ申シテ
マスト、酪農業ノ本デアル所ノ乳牛ハ
二十萬頭ヲ割ツテ居ルト思フテ居リマ
ス、昭和五年當時ヨリ十二、三萬頭位
減ジテ居ルノデハナイカト思フテ居リ
マス、又役肉用牛ニ致シマシテモ、其ノ
當時ノ百五十萬頭カラ激減シテ居ル
思フテ居リマス、此ノ乳牛ヲ殖ヤシテ
行クト云フコトハ中々容易デアリマセ
ヌ、速カニ此ノ入植者ニ家畜ヲ與ヘル
ト云フコトニナルト、結局役肉用牛ヲ
持ツテ行カケレバ間ニ合ハスト思フ
テ居リマス、隨テ此ノ役肉用牛ヲ改良
ト云フコトガ一番急務デゴザイマス、
ソレハ乳ノ出ル牛ト云フコトニ改良シ
テ行カケレバ、乳牛ガ殖エテ行クト
云フコトヲ待ツテ居ツテハ、五年先ニ
ナルカ、十年先ニナルカ、二十年先ニ
ナルカ分ラスト思ヒマス、取敢ズ比較
的數ノ多イ役肉用牛ヲ改良シテ、乳ヲ
取ラセル、サシテ土地ヲ肥ヤシテ行
ク、土地ヲ改良シテ行クト云フコトニ
仕向ケナケレバ相成ラヌト云ツテ居リ
マス、此ノ點ニ付テ大臣トシテハ極極
的ナ方法ヲ御考ヘニナツテ居ルカ御伺
ヒ致シタイ

ハ、家畜ノ預託制度ト云ヒマスカ、サ
ウ云フモノヲ早ク行ツテ貰ヒタイト云
フ希望モ相當アルノデアリマス、是等
ノモノハヤハリ相當考ヘテモ宜イ制度
ダト思ヒマス、デ、何かサウ云ツタ
ヤウナ形デ開拓地ニ一ツ計畫ノ他家畜
ヲ殖ヤシテ行クコトヲヤツテ見タイ
スウ思フテ居リマス、何分御承知ノヤ
ウニ只今非常ニ數ガ減ツテ居リマスノ
ト、飼料其ノ他ノ關係デ相當ノ困難ハ
伴フト思ヒマスガ、其ノ點ハ開拓ヲ巧
クヤリマス上ニ於テハ忽ヒ出來ナイ
點デアリマス、一ツ十分御意見ノ
點ニ付テハヤツテ見タイ、斯ウ考ヘテ
居リマス

○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、御
意見御尤モデアリマシテ、實ハ一番ノ
憐ミガ、率直ニ言ツテソコニアルノデ
アリマス、是ハ何ト云フテモ、只今ノ
所役肉用牛ヲ先ツ改良シテ行クト云フ
コトガ一番手取早イト思ヒマス、ソレ
カラ家畜ヲ開拓民ニ殖ヤセルニハ、
是ハ形トシテハドウカト思フ點モアリ
マスケレドモ、開拓民ノ希望トシテ

○佐伯委員 モウ二、三點御伺ヒ致シ
マス、農業保險ト家畜保險トヲ無理ニ
引付ケテオヤリニナルト云フ方針ダト
云フコトヲ聞イテ居リマスガ、是ハ同
ジ農業保險關係ニハ類シマスケレド
モ、農業保險ト家畜保險ト一緒ニ併存
シテ行クコトハ、經理上難カシイデハ
ナイカ、農業保險ト云フモノハ、天候
自然ヲ相手ニシテ相互救済ノ途デア
ル、家畜保險ノ性格ト云フモノハ、左
程マデモ關係致シマセヌ、即チ患畜ノ
取扱或ハ投棄スルカ云フヤウナコト
デ、結局共濟事業デアツテモ餘程趣ヲ
異ニシテ居リマス、之ヲ一括シテ
ヤツテ行カウト云ツテモ、是ハ容易デ
ハナイト思フテ居リマス、私ガ聽キ聞
違ヒデアルカモ知レマセヌガ、農林省
トシテハヤハリ一緒ニ持ツテ行ク考ヘ
デアリマスカ否カ、是ハ畜産局ト農政
課トノ兩方ニ別レテ居リマス、下ノ
方モヤハリ農業保險ハ農業保險、或ハ
家畜保險ハ家畜保險トシテ行カケレ
バ、其ノ目的ヲ達シ得ナイノデハナイカ
ト思ヒマス、此ノ點モ御伺ヒ致シマス

又現在農業藥品ト云フモノハ非常ニ
拂底シテ居リマス、假ニ稻熱病ガ出マ
シテモ、之ヲ防ガ藥品ガナイノデゴザ
イマス、又家畜藥、例ヘテ言フト「ヘ
ロール」或ハ二硫化炭素、腺疫ノ血清
藥ナドハ、日本全國何處ヲ鉦ヤ太鼓デ
搜シテモナイノデアリマス、一刻モ早
ク是等ノ藥品ヲ造ツテ貰ハナケレバ、
如何ニ片一方デ生産増強々々ト云ツテ
モ、其ノ目的ハ達セラレヌノデアリマ
シテ、非常ニ淋シイ氣持ヲ持ツテ居リ
マス、是等ノ計畫ニ付テハドノ程度御
考ヘニナツテ居リマス、又ドウ云フ
道程デアルカ御示シ願ヒタイ

○和田國務大臣 御話ノヤウニ、農業
保險ト家畜保險トハ、會計トシテハ一
緒デアルカ、制度トシテハ別ナモノト
考ヘテ居リマス、片方ハ死亡、疾病ノ
保險デ、保險ニ相應ハシイモノデア
ルガ、農業保險ハ、保險ヨリモ共濟上云ツタ
方ガ事實ニ近イヤウナモノニナルノデ、
別個ニ政府トシテ考ヘテ居リマス
農業ノ點ハ、御話ノヤウニ基本的ナ
資材ガ足ラナイノデアリマスカラ、只
今ノ所ハ其ノ足ラナイモノヲ製造工場
ニ割當テマシテ、ソレ等ノ生産ヲ督勵
シテ居ルデアリマスガ、唯ドウシテ
モ日本デ足ラナイモノハ外國カラ仰グ
ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、米國ニ
頼ミマシテ輸入ヲ仰イデヤツテ行ク、
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○佐伯委員 先程太田サンカラ御質問
モアリマシタガ、私ノ方デモ縣營乃至
八國營ニ依ツテ土地ノ改良事業ヲ行ヒ
ツ、アル、所ガ戰爭中臨時處置ノ爲ニ
打切り、中絶ト云フヤウナ形ニナツテ
居ル、今後モ其ノ目的ヲ遂行ノ爲ニ援助
ヲ仰ガナケレバナラヌ場合ガアルト思
ヒマスガ、今マデ地主ノ方デ多額ノ負擔

ラシテ居リマス、一段歩百圓ナリ二百
圓ノ負擔ヲシテ居ル、ソレガ今度自作
農創設ト云フコトニナリマス、マダ
實益ガ認めラレテ居ナイ其ノ地主ノ負
擔金ノ幾地買上價格ニ加算スルコトガ
出來ルカドウカ、是ハ當然加算シナケ
レバコトヲ問題デアルト考ヘマスガ、
此ノコトヲ何ツテ置キマス、先達テ山
添局長カラハ、是等ニ付テハ、或ハ其
ノ他ノ、水利費デアルトカ色々ナ土地
ニ對スル費用ニ付テ、交付金ヲ以テ
「コンドル」スルト云フヤウナ御説
明デアツタヤウニ思ヒマスガ、是ハ町
村役場ニ來ル交付金ト意味ガ違ヒマ
ス、是ハ直接ニ政府ノ方カラ御考ヘテ
戴カケレバナラヌト思ヒマスカラ、
此ノコトニ付テ御伺ヒシテ置キマス、
相當ニ水利費ガ掛リマス、一年間一段
歩八十圓乃至百五十圓位掛ツテ居ル、
斯ウ云フモノヲ政府ガ買上ゲテ、マダ
自作農ニ手渡シガ出來ナイ間政府ノ方
デ御負擔額ヘルカドウカト云フコトモ
附加ヘテ伺ヒマス

○和田國務大臣 土地改良費ノ關係ハ
非常ニ厄介ニナリマスガ、從來地主ガ
出シテ居ツタ土地改良費ト云フモノ
デ、地主ガ現實ニ出シテ、而モ其ノ土
地ト一體ニナツテ居ルモノハ、是ハ實
賃價格其ノ他ノ點ニ付テ考ヘマスガ、
後ニ殘ツテ居ルモノガ假ニアルトスレ
バ、ソレハ當然小作人ノ負擔ニナリマ
ス、是ハヤハリ買收價格カラソレヲ差
引クト云フコトニ依ツテ、價格ノ上デ
操作スル、斯ウ云フコトニ相成リマス
○佐伯委員 ソレハ全ク困ルコトデア
リマス、此處デ論議ヲシマシテモ盡キ
ナイ問題デアリマスカラ、後デ直接御
相談申上ゲマスガ、是非トモ私ノ意見ヲ
通シテ戴キタイト思ヒマス

最後ニ一ツ御伺ヒ申上ゲマスルコト
ハ、供出ト云フ言葉デゴザイマス、是
ハ至ツテ非民主的ナ言葉デアリマシ
テ、御承知ノヤウニ戰時中農民ヲ叩キ
付ケタ言葉デアル、是カラ「戰爭ヲ抛
棄シテ平和ヲ政治ニ、經濟ニ、總テ平
和ノ氣持ヲ立返ラナケレバ相成リマ
セヌ、供出ト云フ字ハ大體供ヘルト云フ
字デゴザイマス、農民ニ供ヘルセルト
云フ感ジニ大體取ラレテ居リマス、農
民デ、或ハ百姓ダト云フコトハ、一ツノ
蔑マレタ言葉ダト云フヤウニビシト來
ルノデアリマス、私モ百姓ノ一人デア
リマス、農民ダ、或ハ百姓ダト言ハレ
ルト、洵ニ劣等ナ國民ノ一員デア
ル、斯様ナ感ジテ持ツノデアリマス、今日
供出ト云フ言葉ヲ聞イタダケデモ、身
ノ毛ガヨダツ位ニ考ヘテ居リマス、成
程供出ノ字ハ、需要供給ト云フ面
カラ言ヒマス、一ツノ術語ニナツテ
居リマスガ、是ハ決シテ通用語デア
リマセヌ、此ノ言葉ヲ改メテ貰ヒタ
イ、是ハ全ク悪用語デアリマス、之ヲ
共同出荷トカ、或ハ出荷トカ云フ平和
的ナ適用語ニ改メテ貰ヒタイ、思ヒ切
ツテ用語ヲ改メルダケデモ、百姓ノ氣
持ハ非常ニ明ルクカタツテ參リマス、是
ハ早イ方宜イト思ヒマス、此ノ席ニ
於テデモ供出ト云フ術語ハ廢メタ、是
カラ共同出荷ダト云フコトヲ天下ノ百
姓ニ御示シテ願ヒタイ、サウシマスレ
モノト私ハ信ジテ居リマス、是ハ非常
ニ悪用語デゴザイマス、一ツ御改
メノ程ヲ希望致シマス

○和田國務大臣 私モ其ノ點ハ實ハ贊
成ナノデアリマス、供出ト云フ言葉ヲ
使ハズニ何トカ旨イ言葉ガアレバ、例
ヘバ政府ノ買入トカ、サウ云フ經濟關

○和田國務大臣 御話ノヤウニ、農業
保險ト家畜保險トハ、會計トシテハ一
緒デアルカ、制度トシテハ別ナモノト
考ヘテ居リマス、片方ハ死亡、疾病ノ
保險デ、保險ニ相應ハシイモノデア
ルガ、農業保險ハ、保險ヨリモ共濟上云ツタ
方ガ事實ニ近イヤウナモノニナルノデ、
別個ニ政府トシテ考ヘテ居リマス
農業ノ點ハ、御話ノヤウニ基本的ナ
資材ガ足ラナイノデアリマスカラ、只
今ノ所ハ其ノ足ラナイモノヲ製造工場
ニ割當テマシテ、ソレ等ノ生産ヲ督勵
シテ居ルデアリマスガ、唯ドウシテ
モ日本デ足ラナイモノハ外國カラ仰グ
ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、米國ニ
頼ミマシテ輸入ヲ仰イデヤツテ行ク、
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○和田國務大臣 御話ノヤウニ、農業
保險ト家畜保險トハ、會計トシテハ一
緒デアルカ、制度トシテハ別ナモノト
考ヘテ居リマス、片方ハ死亡、疾病ノ
保險デ、保險ニ相應ハシイモノデア
ルガ、農業保險ハ、保險ヨリモ共濟上云ツタ
方ガ事實ニ近イヤウナモノニナルノデ、
別個ニ政府トシテ考ヘテ居リマス
農業ノ點ハ、御話ノヤウニ基本的ナ
資材ガ足ラナイノデアリマスカラ、只
今ノ所ハ其ノ足ラナイモノヲ製造工場
ニ割當テマシテ、ソレ等ノ生産ヲ督勵
シテ居ルデアリマスガ、唯ドウシテ
モ日本デ足ラナイモノハ外國カラ仰グ
ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、米國ニ
頼ミマシテ輸入ヲ仰イデヤツテ行ク、
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○和田國務大臣 御話ノヤウニ、農業
保險ト家畜保險トハ、會計トシテハ一
緒デアルカ、制度トシテハ別ナモノト
考ヘテ居リマス、片方ハ死亡、疾病ノ
保險デ、保險ニ相應ハシイモノデア
ルガ、農業保險ハ、保險ヨリモ共濟上云ツタ
方ガ事實ニ近イヤウナモノニナルノデ、
別個ニ政府トシテ考ヘテ居リマス
農業ノ點ハ、御話ノヤウニ基本的ナ
資材ガ足ラナイノデアリマスカラ、只
今ノ所ハ其ノ足ラナイモノヲ製造工場
ニ割當テマシテ、ソレ等ノ生産ヲ督勵
シテ居ルデアリマスガ、唯ドウシテ
モ日本デ足ラナイモノハ外國カラ仰グ
ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、米國ニ
頼ミマシテ輸入ヲ仰イデヤツテ行ク、
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○和田國務大臣 御話ノヤウニ、農業
保險ト家畜保險トハ、會計トシテハ一
緒デアルカ、制度トシテハ別ナモノト
考ヘテ居リマス、片方ハ死亡、疾病ノ
保險デ、保險ニ相應ハシイモノデア
ルガ、農業保險ハ、保險ヨリモ共濟上云ツタ
方ガ事實ニ近イヤウナモノニナルノデ、
別個ニ政府トシテ考ヘテ居リマス
農業ノ點ハ、御話ノヤウニ基本的ナ
資材ガ足ラナイノデアリマスカラ、只
今ノ所ハ其ノ足ラナイモノヲ製造工場
ニ割當テマシテ、ソレ等ノ生産ヲ督勵
シテ居ルデアリマスガ、唯ドウシテ
モ日本デ足ラナイモノハ外國カラ仰グ
ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、米國ニ
頼ミマシテ輸入ヲ仰イデヤツテ行ク、
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

係ハツキリ示スヤウナ言葉ニシタ方
ガ宜ト思フテ居リマス、適當ナ言葉
ガアリマスレバ、用語ハ何時デモ改メ
ルニ吝カデハアリマセヌ

○佐伯委員 是ハヤハリ官尊民卑ト云
フ氣持ガ多分ニ考ヘラレテ居ルノデア
リマスカラ、是非トモ改正シテ貰ハナ
ケレバナラスト思フテ居リマス、私ノ
質問ハ終リマス

○小川原委員長代理 高倉輝君

○高倉委員 今度ノ土地改革ガ非常ニ
重大ナ土地改革デアアルコトハ申スマデ
モアリマセヌガ、昨年「ボツダム」宣言
ヲ受諾シマシタ時ニ日本ハ民主化ノ國
際的義務ヲ持ツタ譯デ、民主化ナル爲
ニハ、民主化ノ最大キナ妨ゲトナツ
テ居リマシタ農村ニ於ケル封建性ヲ取
去ラナケレバナラナイ、封建性ヲ取去
ル爲ニハ、其ノ根據デアアル土地問題ヲ
根本的ニ解決シナケレバナラナイ譯デ
アリマスカラ、實ハ其ノ時ニ此ノ土地
改革ヲ根本的ニやらナケレバイケナイ
義務ガアツタ譯デアリマス、所ガ政府
ガソレヲ怠ツタモノデアリマスカラ、
昨年十二月九日ノ聯合軍司令部ノ指
トナツテ現ハレテ、現行法令ガ出テノ
デアリマス、併シソレガ非常ニ不徹底
ナモノデアツタガ爲ニ、再ビ五月ノ對
日理事會ノ批判トナツテ、今度ノ新シ
イ法案ヲ出サナケレバナラナイト云フ
運ビデ此處マデ來タ譯デアリマス、先
達テ和田サンハ、第三次ノ農地改革ヲ
ヤル意思ハナイト仰シヤイマシタケ
レドモ、昨年第一次ノ農地改革ヲオヤ
リニナツタ時ニモ、第二次農地改革ハ
オヤリニナル意思ハナカツタデアリマ
セウガ、様々ナ情勢カラ第二次ノ農地
改革ヲヤラザラ得ナカツタ譯デアリ
マスカラ、ヤル意思ハナイト思フテ居

ツテモ、ヤラザラ得ナイヤウナ情勢
ガ來ナイヤウニ、我々ハ今十分ニ慎重
ナ態度ヲ執ツテ行カナケレバナラナイ
イ、サウ云フ意味デ此ノ審議ヲ餘程綿
密ニヤル必要ガアルト思フノデアリマ
ス、固ヨリ今度ノ農地改革ニ依リマシ
テ、日本ノ封建性並ニ土地問題ガ根本
的ニ掃出シタト云フ事實ヲ私共モ十
分認メマスルシ、又此ノ法案ノ説明並
ニ答辯ニ於ケル和田サンノ熱意ノアル
眞面目ナ態度ニモ十分好意ヲ持チマ
ス、併シソレニモ拘ラズ此ノ土地改革
カ實際ニ行ハレマシタ結果、果シテ本
當ニ日本ノ農村ノ民主化ガ實現サレ、
司令部カラ示サレタヤウニ、又政府ガ
言明シテ居リマシヤウニ、日本ノ農村
カラ封建性ヲ完全ニ取去リ、農民ヲ農
奴ノ生活カラ解放シテ、民主化ノ基
礎ヲ置クコトガ出來ルカドウカト云フ
點ニ對シテ、非常ナ心配ヲ抱カザルヲ
得マセヌ、和田サンノ御答辯ヲ聽イテ
居リマシテモ、ドウモ納得ノ行カナイ
所ガアリマシテ、或ハ和田サン自身ハ
其ノ矛盾モチヤント御存ジデアリナガ
ラ、斯ウ云フ不完全ナモノヲ實行セザ
ルヲ得ナイヤウナ位置ニ置カレテ居ッ
タノデハナイカト云フ氣サハ私共ハス
ルノデアリマスガ、併シサウ云フ點ハ
別トシマシテ、此ノ法案ノ根本的ナ方
針ニ付テ三點御質問ヲ致シタイト思ヒ
マス——運輸大臣御急ギニナルノデハ
アリマセヌカ

○小川原委員長代理 御急ギダサウデ
アリマス

○高倉委員 順序トシテ和田サンニ御
尋ネシタ後御聽キスル方ガ宜イノデ
スガ、運輸大臣ノ方カラ御聽キ致シマ
ス

ソレハ農村ノ失業者ノ問題デアリマ

シテ、失業者ガ渾山嶺エマスコトハ、
丁度農民ノ生活ガ低イコトガ都市勞働
者ノ生活ヲ引下ゲル所ノ根本的ナ原因
ニナルト同ジヤウニ、都市勞働者ノ失
業者ガ殖エルトコトハ當然農村ニモ大キ
ナ負擔ヲ負ヘセルコトニナル

〔小川原委員長代理退席、委員長
着席〕

今ノ河合厚生大臣ガ、何年前デアリマ
スカ、農村ハ失業者ノ吸取紙デアアルト
云フコトヲ言ハレタコトガアリマス
ガ、事實上サウ云フ現象ニツテ居リマ
ス、隨ヒマシテ此ノ失業ノ問題ト農村
トヲ絡ミ合ヒマシテ、最近ノ問題ニ付
テ平塚サンニ御伺ヒシタイト思ヒマ
ス、詰リ失業者ヲ作り出ス所ノ根本ノ
原因デアアル首切リニ對シテ、臨安定本
部長官ノ言葉ト、今度「ゼネスト」ノ
結果ニ現ハレタ平塚サンノ言葉トノ間
ニ、果シテ完全ナル一致ガアルカドウ
カ、隨サンノ方デハ、首切リヲ前提ト
シテ産業ノ整備ヲスルト云フコトヲ言
ツテ居ラレマシタガ、今度「ゼネス
ト」ノ協定ノ時ニハ、アノ協定ニアリ
マスルヤウニ、首切リヲシナイト云フ
言明ニ依ツテアノ協定ガ成立シテ居リ
マス、是ハ果シテ矛盾シナイカドウ
カ、此ノ點ヲ先ツ御伺ヒ致シマス

○平塚國務大臣 國有鐵道ノ爭議ノ解
決ニ當リマシテ、色々ト伊議委員トノ
話合ヒノ結果、合理的ニ經營ヲヤル、
合理的ニ經營ヲヤル場合ニ、首切リ前
提トシナイト云フコトヲ結果ヲ付ケタ
ノデアリマス、隨サンノ方ハ、日本産
業全體ニ對シテノ御意見ダラウト考ヘ
マスガ、少クトモ私ハ今回ノ解決ニ於
テサウ云フコトヲ言明シテ居リマス

○高倉委員 ソレデ運輸省ノ態度ハ能
ク分リマシタ、併シ安定本部ハ内閣ニ

命令スル權限ヲ持ツテ居リマシテ、購
サンノ言ハレタコトハ、是ハ日本ノ産
業全體ニ適用サレル性質ノモノデア
ルト考ヘナケレバイケマセヌ、隨テハ
國鐵ニモヤハリ適用サレルモノデア
リマスマイカ、サウシマス、運輸大
臣ノ方デ御首ヲシナイト考ヘテオイデ
ニナツテモ、安定本部ノ方針カラソレ
ヲ命令サレタ時ニハ、ヤハリ實行シナ
ケレバナラナイヤウナコトニナルノデ
ハナイカ、此ノ點ヲ御伺ヒシマス

○平塚國務大臣 隨サンハマダ具體的
ニ言ウタコトデナイト私ハ思ヒマス、
少クトモ國有鐵道ニ於テハ先日ノ協
外ニ出ル考ヘハ持ツテ居リマセヌ

○葉梨委員長 高倉君ニ御注意申上ゲ
マス、アナタノ御質疑ハ本案ト非常ニ
懸隔シテ居ルヤウニ委員長ハ伺ヒマス
ガ、マダ其ノ調子ヲ御進メニナリマス
カ

○高倉委員 是ハ極ク簡單デアリマシ
テ……

○葉梨委員長 簡單デアツテモ、ドウ
カ本案ニ關係ノアル質疑ニ限定サレル
ヤウ希望致シマス

○高倉委員 前カラノ順序ヲ省キマン
テ突然終ヒノ所ニ來タノデ、大變關聯
ガナクナリマシタケレドモ、モウ一言
デ……

○葉梨委員長 デハ一言ダケ許可致シ
マスガ、ドウカ關聯事項ニ限定シテ戴
キマス

○高倉委員 今ノ鐵首ヲシナイト云フ
説明ト安定本部トノ方向ハ大體一致シ
テ居ルト考ヘテ宜シウゴザイマセウ
カ、是ダケヲ御伺ヒ致シマス

行ク積リデアリマス

○高倉委員 ソレデ運輸大臣ニ對ス
ル質問ハ是デ終リマシテ、和田サンニ
御質問致シマス、ソレカラ尙ホ吉田サ
ンニ質問スベキ筈ノコトモ、今日ハオ
見エニナツテ居リマセヌカラ、和田サ
ンニ御伺ヒシナケレバナラヌ點ガゴザ
イマスノデ、御含ミ願ヒマス

現行農地調整法ト、今度ノ農地法案
トヲ比ベマスト、同じ名前ニナツテハ
居リマスケレドモ、本質的ニ大キナ違
ヒガアルト思ハレマス、是ハ先達テ社
會黨ノ大澤君モ觸レラレマシタガ、現
行農地調整法ニハ「本法ハ互譲相助ノ
精神ニ則リ農地ノ所有者及耕作者ノ地
位ノ安定」云々ト云フ言葉ガアリマシ
タノガ、今度ノ新シイ法案ニ依リマス
ト「本法ハ耕作者ノ地位ノ安定及農業
生産力ノ維持増進ヲ圖ル」云々ト變リ
マシテ、互譲相助ノ精神或ハ農地ノ所
有者ト云フ文句ガ取去ラレテ居リマ
ス、現行農地調整法ノ方針ニ依リマス
ト、地主ト小作人トノ讓合ヒニ依ッ
テ、兩方ノ地位ヲ安定サセル方向ニ依
ツテ、農地問題ヲ解決スルコトニナツ
テ居ツタト思ハレマスノガ、今度ノ法案
ニ依リマスト、農地ノ問題ヲ解決スル
ニハ耕作者ガ主デアアルカラ、働ク農民
ヲ本體トシテ其ノ地位ヲ安定サセル爲
ニハ、或ル場合ニハ地主ガ犠牲ヲ拂ッ
テモ仕方ガナイト云フ工合ニ取ラザル
ヲ得ナイ文句ニナツテ居リマスガ、是
ハサウ云フ工合ニ理解シテモ宜シウゴ
ザイマスウカ

○和田國務大臣 農村ノ民主化ヲ圖リ
マシテ農業ノ生産力ヲ高メ、サウシテ
日本ノ再建ノ基礎ヲ確立致シ、言換ヘ
レバ國ノ爲ノ力ト云ヒマスガ、底力ヲ
高メテ行キマスニハ、ドウシテモ實際

上働人、耕作者ト云フモノノ地位ノ安定ガ必要デアリ、又ソレノ力ヲ俟ツト云フコトガ根源デアルト思ヒマス、今同ハ其ノ點ヲ明瞭ニ致シタノデアリマス、併シ勿論サウカト云ツテ、農村社會ニ於テ、從來實際上日本ノ傳統トシテ、善キモノトシテ殘ツテ居ツタモノヲモ否定シテシマフト云フ意味デハ毛頭アリマセヌガ、趣旨トシマシテハ、只今説明致シマシヤウニ、耕作者ノ地位ノ安定ト農業生産力ノ發展ヲ圖ツテ行ク、斯ウ云フコトヲハツキリト明記致シタノデアリマス

○高倉委員 此ノ法案ヲ實行シマシタ上ニ、果シテ此處ニ雷イテアリマシヤウナ方針ニ合フ結果ガ生マルカドウカト云フ點ニ疑ヒヲ抱キマス、御尋ネテ致シマス、是マデ日本ノ小作料ハ御承知ノ通り世界無比ノ高イモノデアリマシテ、種レ高ノ大體半分以上ガ小作料トシテ納メラレコトニナツテ居リマシタ、隨ヒマシテ働ク農民ノ大部分ヲ占メル小作人ハ、極度ノ貧困ニ陥ラザルヲ得ナイト云フ結果ニナツテ居ツタノデアリマス、其ノ結果ハ、第一ニ農民ハ畜力化、機械化、或ハ土地ノ集團化等ノ方法ニ依ツテ農業ノ近代化、合理化ヲ圖ル經濟的ナ餘裕ガナイ爲ニ、農業ノ本質的ナ發展ヲ防ギ止メ、隨テ日本ノ農業ガ世界的ニ非常ニ低位ノ位置ニ止マラナケレバナラヌト云フ結果ヲ生シテ居リマシタ、第二ハ、村政ニ携ハル者ハ、村ノ中ノ一部ノ地主、富農デアツテ、働ク農民ハ事實上村政ニ携ハル機會ヲ與ヘラレコトガ殆ドナカッタト云フ現象ガ現ハレマシテ、隨テ所謂封建的ナ支配ヲ受ケル結果ガ現ハレテ居リマシタ、第三ハ、農民ガ非常ニ貧困デ、働イテモ

貧困デアアルコトハ、農村ニ低賃金ノ基礎ヲ造リマシテ、潜在的ナ産業豫備軍ノ役目ヲ農民ガ果ス結果トナツテ居ツタ、隨ヒマシテ今度ノ戰爭ニ現ハレタヤウニ、農民ハイツ何時デモ都市ノ労働者ニ代リ準備ヲシテ居ル、ソレガ都會ノ労働者ノ賃金ヲ引下ゲ、生活ヲ引下ゲル根本ノ原因ニナリ、隨テ此ノ高小作料ト云フモノハ、日本ノ全労働者ノ生活ヲ引下ゲル重大ナ原因ニナツテ居ツタ譯デアリマス、其ノ結果ハ、國內ノ商品トシテノ市場價值ガナクナリマシテ、隨テ新シイ超利潤ノ市場ヲ海外ニ求めナケレバナラヌト云フ結果ニナリ、ソレガ侵略戰爭ヲ行ハザルヲ得ナイ原因トナツテ居ツタ譯デアリマス、詰リ侵略戰爭ノ根本原因ト云フモノハ、日本ノ土地問題ノ中ニ含マレテ居タ、隨テ此ノ土地問題ノ根本的ニ解決シナケレバ、是マデ日本ニアリマシタ軍國主義ノ基礎ト云フモノハ取去ルコトガ出來ナイ、隨テ此ノ土地問題ヲ好イ加減ニ解決スルト云フコト、根本的ニ解決シナイト云フコトハ、將來ニ戰爭ノ危險ヲ尙ホ殘スコトニナル、サウ云フ意味カラ申シマス、今度ノ土地問題ノ解決ノ中ニハ尙ホ甚ダ不完全ナモノガアルノデハナイカ、第一、一町歩ノ土地ヲ殘シタト云フコトモサウデアリマスガ、此ノ不完全ナ土地問題ノ解決ヲ行ヒマシタ結果ハドウナツテ現ハレルカト云ヒマス、先ヅ第一ニ次ノヤウナ形ニナツテ現ハレテ來ルドラウト思ヒマス、土地ヲ買ヘナイ貧農ハ今マデノ儘殘ル、今度最高小作料ト云フモノガ決定サレテ、二割五分ト云フ規定ガ初メテ日本ノ法制ノ上ニ現ハレマシタケレドモ、是ハヤハリ非常ニ高小作料デアリマシテ、戰爭前ノ

「ドイッ」ノ小作料ガ世界最高ト言ハレテ居リマシタガ、是モ最高小作料ハ二割デアリマス、其ノ最高小作料ヨリモ尙ホ五分高イ、隨テ日本ノ小作人ノ生活ガ世界的「レベル」ニ達スルコトハ到底出來ナイ、是ガ一ツ、ソレカラ第二ハ、土地ヲ買ツタ所ノ自作農ハソレデハドウカト云ヒマス、是ハ和田サシガ度々御説明ニナリマシタヤウニ、三十年間今ノ小作料ヲ拂ヒ續ケルコトニ依ツテ自作農ニ直セルノガ今度ノ法案ノ目的ガ、斯様ニ言ハレテ居リマス

○和國田務大臣 小作料ノ二割五分ト云フノハ最高ノ率ナノデアリマス、全部ガ全部二割五分ト云フ譯デアナイノデアリマス、ソレカラ小作料「ドイッ」又「イギリス」デスカ、其ノ他ノ外國ノ小作料ト日本ノ小作料ヲ其ノ儘直ガ假定數字デ比較スルノハ、私如何カト思フノデス、其ノ國ノ特殊ノ事情ト云ヒマスガ、其ノ國ノ經濟的ナ事情モ色々アル譯デアリマシテ、ソレ等ヲ勘案スル必要ガアルノデハナイカ、斯ウ思ヒマス、要スルニ、私ハ日

本ノ農村ガ經濟的ナ力ヲ持ツテ、從來ノヤウナ慢性ナ失業ガ農村ニ溢レルヤウナコトニナラナイ限りハ、結局農業經營ニ剩餘ガ殘ルカドウカト云フ點ニアルノデアリマシテ、其ノ點カラ言ヒマス、今同小作料ヲ金納ニ致シマシテ、又其ノ率等モ相當下リマシタヤウナ状態ニ置キマスルコトハ、ソコニ農業ノ經營ニ一ツノ剩餘ヲ生ム條件ヲ作ツタモノト考ヘテ居リマス、勿論農地ノ改革自體カラ直チニサウ云フ結論ガ出ルノデハナイノデアリマシテ、ソレニ加ヘマシテ、色々ノ組織ノ問題デアルトカ、經營ノ技術ノ問題ヲ同時ニ今後アルコトニ依ツテ出來ルノデアリマスガ、少クとも土地ノ所有關係ニ付テ、只今言ヒマシタヤウニ、小作料自體ニ付テモ相當ノ適正化ヲ行ツタト云フコトハ、農業經營ノ中ニ一ツノ剩餘ガ生レテ來ル餘地ヲ與ヘタ、斯ウ云フコトニナリマス、ソレハ今後ニ於ケル、經營技術其ノ他ノ浸透ニ依ル生産ノ發達ニ依ツト云フコトニナラザルヲ得ナイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○高倉委員 農業經營カラ來ル所ノ剩餘ニ依ツテ、農民ノ經濟的生活ノ向上ト云フコトヲ只今モ仰セラレマシタシ、是マデモ度々仰セラレマシタケレドモ、結局ソレハ農地問題ガ完全ニ今ナケレバ出來テ來ナイ現象デアリマセウ、サウスルト、ソレマデハヤハリ農民ノ大部分ハ、今ノ生活以上ニ高イ生活ニ上レルト云フコトハ、實際ニ於テ望メナイノデハナイカ、而モソレハ今ノ經濟事情ガ其ノ儘進マダ場合ニ於テモト云フ意味デアリマス、一兩日前ニ農林大臣モ言ハレマシタガ、技術ニ對

スル獎勵資金ヲ豫算ニ組ンダ時ト今トハ非常ニ變ツタ爲ニ、其ノ儘適用出來ナクナツタト云フコトヲ言ツテ居ラレマスガ、僅カク間ニソレ程變ル經濟事情ニ於テ、今ノ儘デ三十年先ニナツテ生活ガ榮ニナルト云フ風ナ考ヘ方ハ、是ハ一ツノ夢物語デアラナイカ、日本ノ農村ヲ眞ニ民主化シ、農民ノ生活ヲ安定ナラシメル爲ニハ、直グソレガ安定ナラシメル方法ヲ執ラナケレバナラナイノデハナイカ、ソレヲ斯クノ如キ方法ニ依ツテ三十年後マデ延バシタト云フコトハ、結局先程ナタカノ言葉ニモアリマシタヤウニ、或ル政治的ナ勢力ニ牽制サレテ、是ガ農林省或ハ其ノ他ノ農林行政ノ傳統的ナ性格デアリマシタ地主的ナ性格カラ、脱却シ得ナクツタ爲デアリナイカ、サウ云フ工合ニ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、ソレト同時ニ小作人ニ於キマシテモ、ソレカラ小作カラ自作ニ變ルノニ土地ヲ買ヒマシタ農民ノ場合ニ於テモ、其ノ生活ガ非常ニ自立ツテ向上サレルト云フコトガナケレバ、今ノ通りヤハリ低賃金ノ基礎ヲ將來ニ貽スコトニナリマシテ、是ハ隨テ世界のナ不況ト相俟ツテ、國內ガ植民地化スル結果トナリ、隨テ更ニ外國ノ商品ノ市場トシテノ今ノ日本ガ、資本主義社會デアリマス限リ、新シイ市場獲得ノ軍國主義的ナ要素ガ生レザルヲ得ナイノデハナイカ、サウシマス、此ノ侵略戰爭ノ根ガ、軍國主義ノ根ガ土地制度デアツタト云フコトヲ認メルナラバ、此ノ土地制度ヲ不完全ニ行フ、農民ノ生活ヲ本當ニ改良シナイト云フコトハ、將來ニ及ボス所ノ再ビ此ノ戰爭ノ慘禍ヲ貽ス、其ノ根ヲ、貽スト云フコトデアツテ、戰爭ヲ投棄テルト云ツテ居ル憲法ノ精

スル獎勵資金ヲ豫算ニ組ンダ時ト今トハ非常ニ變ツタ爲ニ、其ノ儘適用出來ナクナツタト云フコトヲ言ツテ居ラレマスガ、僅カク間ニソレ程變ル經濟事情ニ於テ、今ノ儘デ三十年先ニナツテ生活ガ榮ニナルト云フ風ナ考ヘ方ハ、是ハ一ツノ夢物語デアラナイカ、日本ノ農村ヲ眞ニ民主化シ、農民ノ生活ヲ安定ナラシメル爲ニハ、直グソレガ安定ナラシメル方法ヲ執ラナケレバナラナイノデハナイカ、ソレヲ斯クノ如キ方法ニ依ツテ三十年後マデ延バシタト云フコトハ、結局先程ナタカノ言葉ニモアリマシタヤウニ、或ル政治的ナ勢力ニ牽制サレテ、是ガ農林省或ハ其ノ他ノ農林行政ノ傳統的ナ性格デアリマシタ地主的ナ性格カラ、脱却シ得ナクツタ爲デアリナイカ、サウ云フ工合ニ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、ソレト同時ニ小作人ニ於キマシテモ、ソレカラ小作カラ自作ニ變ルノニ土地ヲ買ヒマシタ農民ノ場合ニ於テモ、其ノ生活ガ非常ニ自立ツテ向上サレルト云フコトガナケレバ、今ノ通りヤハリ低賃金ノ基礎ヲ將來ニ貽スコトニナリマシテ、是ハ隨テ世界のナ不況ト相俟ツテ、國內ガ植民地化スル結果トナリ、隨テ更ニ外國ノ商品ノ市場トシテノ今ノ日本ガ、資本主義社會デアリマス限リ、新シイ市場獲得ノ軍國主義的ナ要素ガ生レザルヲ得ナイノデハナイカ、サウシマス、此ノ侵略戰爭ノ根ガ、軍國主義ノ根ガ土地制度デアツタト云フコトヲ認メルナラバ、此ノ土地制度ヲ不完全ニ行フ、農民ノ生活ヲ本當ニ改良シナイト云フコトハ、將來ニ及ボス所ノ再ビ此ノ戰爭ノ慘禍ヲ貽ス、其ノ根ヲ、貽スト云フコトデアツテ、戰爭ヲ投棄テルト云ツテ居ル憲法ノ精

神、之ニ反スルモノデハナイカ、本當ニ戰爭ノ根ヲ日本ノ社會カラ拔カナクテ、ドウシテ戰爭ヲ止メルコトガ出來ルカ、是ハ實ハ總理大臣カラ御聽キシタイト思ヒマスガ、今日ハ御見エニナリマセヌカラ、已ムヲ得ズ農林大臣カラ御聽キスルノデ、大變御氣ノ毒デアリマスガ、御考ヘテ御聽キシタイト思ヒマス。

○和田國務大臣 私ハ農村ノ改革ヲヤリマスルコトニ依ツテ、國內市場ガ擴大スルト云フハ、今度ノ農地改革ニ於ケル一ツノ意義トシテ認メテ居ルノデアリマス、併シ此ノ國內市場ノ擴大ハ、農村ノ部面ダケヲ以テハ解決サレナイト私ハ思ヒマス、ヤハリ日本ノ經濟ノ他ノ部面ニ於テモ、同様に問題ヲ解決セザルヲ得ナイト思ツテ居リマス、日本ガ幸ヒニシテ戰爭ヲ拋棄シテシマツタ、此ノ拋棄シタ經濟ニ於テ、是ダケノ多クノ人口ヲ養フテ行クト云フコトニ致シマスル爲ニハ、是ハ農村部面ダケニ於ケル國內市場ノ擴大デハナクシテ、國全體トシテノ日本ノ資本ト云ヒマスカ、商品ト云フモノノ市場ノ擴大ヲヤツテ行ク必要ガアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、勿論現在ノ日本ニ於キマシテハ、農村ノ占メマスル割合ガ大キイノデアリマスガ故ニ、農村ニ於テ國內市場ガ擴大サレマスルコトハ、同時ニ日本ガ回復致シマスル所ノ一ツノ大キキ基礎ヲ與ヘルモノト考ヘマスノデ、私ハ今度ノ農地ノ改革ニ依ツテ、ソレガ或ル程度メコトハ十分達成サレル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ線ニ付テ、現在ノヤウナ農地ノ改革デアルガ故ニ、日本ノ軍國主義ト云フモノノ根ガソコニ殘ツテ居ルトハ、私ハ考ヘマス、日本ノ現在

ノ經濟其ノモノハ、之ヲ基礎ニシテヤハリ變化ヲシ、發展ヲシテ行クノデアリマシテ、其處ニヨソ行動ヲスル我々ノ使命ト云ヒマスカ、日本人トシテノ將來ノ行動ノ範圍ガアルノデアリマス、サウ云フ立場カラ言ヒマスルナラバ、憲法ニ於テハツキリト戰爭ヲ拋棄シ、而モ農地ノ改革ヲ行ヒ、其ノ他ノ工業ニ於ケル再建ヲ行ヒマスルナラバ、御話ノヤウナ點ニ付テハ、私ハ心配ハナイノデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ノ途ハ平和的ナ途ニ依ツテ十分解決シ得ルコトガ考ヘラレル、斯様ニ考ヘテ居リマス。

○高倉委員 此ノ點ハ非常ニ重大ナ點デアリマスカ、モウ一言御質問致シマス、平和的ナ方法ニ依ツテ戰爭ガ再ビ起ラナイヤウニ、我々ノ子孫ガ戰爭ノ慘禍ニ遇ハナイヤウニシナケレバナラス、之ヲスルニ越シタコトハアリマセヌガ、併シソレハ口ダケデハ出來ナイ、實際ニ戰爭ノ根ヲ日本ノ社會カラ抜カナケレバナラナイ、少シデモ日本ノ社會ニ根ガ殘ツテ居ル限リニ於テハ、ヤハリ將來ニ戰爭ノ危險ガアツタ場合ニハ、子孫ハ再ビ斯クノ如キ慘禍ニ遭ハナケレバナラヌコトニナリマセウ、此ノ前一九一八年ニ「ドイツ」ガアノヤウナ敗戦ヲ遂ゲマシタ時ニ、一人トシテ「ドイツ」ノ國民ガ二十年ノ後ニ又再ビソレヨリ更ニ増ス所ノ慘禍ヲ受ケルトハ考ヘナカッタデアリマセウ、ケレドモ實際ハアノ時ノ「ドイツ」ニ於テ其ノ戰爭ノ根ガ抜ケナカッタモノデアアルカラ、「ドイツ」民族ガ今ノヤウナ慘禍ヲ再ビ繰返サナケレバナラナクナツテ居リマス、今日我々ガ考ヘレバ實ニ心ノ懸クナル事柄デアリマスケレドモ、日本ノ現狀ト「ドイツ」ノ當時ノ實狀ト

ハ非常ニ似タ所ガアリマス、例ヘテ申シマス、今申シマシタヤウニ、日本ノ今度ノ新シイ調整法ニ於キマシテモ、ヤハリ文明國デ最高イ所ノ小作料ヲ制定シテ居ル、此ノ前「ドイツ」ニ於テモ高イ小作料ヲ持ツテ居ツテ、ソレガ超利潤ノ基礎トナツタ、其ノ點デモ非常ニ能ク似テ居リマス、更ニ戰後ノ事實トシテ非常ニ「インフレーション」ガ捲起ツテ、個人的ノ生活モ亦國家的ノ生活モ危險ニ陥レテ居ルト云フ點モ餘程能ク似テ居リマス、同時ニ片方ニ於テハ、最モ民主的デアルト云ハレタ「ワイマール」憲法ガ制定サレテ居ツタ、是モ亦今ノ日本ノ狀態ニ非常ニ能ク似タ點デアリマス、又共產黨、社會黨ヲ基礎トスル所ノ民主戰線ニ依ツテ戰爭ノ慘禍ヲ防グ所ノ方法ガ講ゼラレテ居ツタニモ拘ラズ、其ノ時ニ是ガ、成功致シマセヌデシタ其ノ點モ今ノ日本ニ非常ニ能ク似タ點デアリマス、是等ノ點ヲ考ヘ併セルナラバ、將來日本ニ戰爭ノ危險ガナイト云フ工合ナ、極メテ暗愚のナ考ヘニ我々ハ陥ツテハナラナイ、我々ノ子孫ノ幸福ノ爲ニ、民族ノ興隆ノ爲ニ、此ノ點ハ飽クマデ徹底的ニ考究シテ置カナケレバナリマセウ、斯ガ所ガ今申上ゲマスヤウニ、今度ノ土地改革ヲ見マス、農村ノ超利潤ノ基礎ト低賃金ノ基礎ガ取ラレテ居ナイ、是ハ恐ラクハ和田サシモ御認メニナルデアラウト思フ、サウシマセト此ノ超利潤ノ基礎、低賃金ノ基礎ハ、將來ニ行ツテヤハリ戰爭ノ危險ノ非常ニ深刻含シ居ルモノデハナイカ、其ノ意味カラ申シマシテ、今度ノ農地調整法ガ不徹底デアルト云フコトヲ今我々ハ感シテ居ル、ト云フヨリハ、將來ニモツト恐ロシイ結果ヲ生ムノデハナイ

ハ相當ニ對シテモウ一度返答ヲ願ヒマス。

○和田國務大臣 農村ニ於キマスル超利潤ノ基礎ガ殘ツテ居ルト云フコトハ、此ノ改革サレマシタ農地制度ノ下ニ於ケル小作料ガ高過ギルカラダ、斯ウ云フコトヲ言ハレタト思フノデアリマス、二割五分ト云フコトハ最高ナノデアリマシテ、其ノ小作料ガ高イカ、安イカト云フコトハ、其ノ國ニ於キマスル事情ニ依ツテ決定セラレル事柄デアリマシテ、一概ニ外國トノ比例ダケヲ以テ言フコトハドウカト思フノデアリマス、殊ニ私ハ農村ダケデ人口比率ノ問題全部ノ解決ヲ考ヘルト云フ事柄デアリマス、私ハ是ハ日本ノ經濟全體ノ問題トシテ考ヘテ行キタイト思フノデアリマス、殊ニ大戦後ニ於ケル「ドイツ」ト日本ノ現在置カレマシタ條件トハ相當ニ對シテ思ヒマス、基礎產業ト他ノ產業ナドニ於ケル條件、今マデ大體ノ輪郭ガ決マツタ條件ヲ考ヘマシテモ、相當ソコニ開キガアルノデアリマシテ、是ハ一律ニハ斷定スルコトガ出來ナイイウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ「ドイツ」ニ於ケル大戦後ノ土地改革ハ、御承知ノヤウニ、「ドイツ」ハ小作ト云フモノハ實ハ地域のニハ餘リナイノデアリマス、「プロロイセン」ナド多イ國デアリマス、「ブロイセン」ナド大地主ノ所ハ別デアリマスガ、大部分ハ自作農デアリマス、隨テ「チチス」政權モ、ソレヲ基礎ニシテ世襲農業ノヤウナ政治ヲ布イテ行ツタノデアリマス、是ハ「ドイツ」ニ於キマスル事情ト日本ノ現在置カレマシタ事情トニハ、相當ソコニ歴史のナ開キガアルト考ヘ

ナ居リマスノデ、是ハ我々今後子孫ノ爲ニ十分各種ノ民主化ノ方法ヲ行ヒマスナラバ、再ビ戰爭ノ慘禍ガ、アナタノ仰シヤルヤウニ今後起ルヤウニハ一概ニハ結論付ケラレナイト考ヘマス。

○葉梨委員長 高倉君時間ガ經過致シテ居リマスカラ、...

○高倉委員 御承知ノヤウニ重大ナ問題デアリマスカラモウ少し...

○葉梨委員長 尙ホ一言伺ヒタイト思ヒマス、段々急ガレマスカラ質問デナク申上ゲテ置キマス、今申シマシタ超利潤ノ基礎低賃金ノ基礎ト申シマスノハ、二割五分ノ最高小作料ト云フ點デ申上ゲタノデアリマセウ、ソレモ含シテ居リマスガ、三十年間今ノ小作料ヲ實際ニ制度化シテ自作農ニナツタ所ノ農民ガ出サナケレバイカナイ、低賃金ノ基礎、超利潤ノ基礎ガ此ノ生活ノ中ニアルノデアリナイカト云フ工合ニ私ハ申シタノデアリマス。

其ノ次ニソレニ關聯致シマシテ御伺ヒシタイト思ヒマスコトハ、今度ノ農地調整法、新シイ法案ニ依リマス結果ハ、一ツノ例證トシマシテ、先ヅ農業經營面積ノ零細化ト云フコトガ必然的ニ現ハレテ來ルダケデアラウト思ヒマス、是ハ是マデ農林省ノ統計ニ依ツテモ現ハレテ居リマス通り、サウデナクテサヘモ最近ニ至リマシテ耕地面積ノ零細化ト云フコトガハツキリ著シク統計ノ上ニ現ハレテ居リマス、所ガ今度ノ此ノ土地改革ノ結果ハ、ソレヲ一層零細化スル結果ニナラザラ得ナイノデアリマセウ、ソレデスクノ如ノ土地ガ零細化シマシタコトハ、將來ニ於キマシテ農業經營ノ近代化、集團化、合理化ト云フコトニ對スル大キキ妨ゲト

ナルニ相違アリマセヌ、此ノ前、此ノ
零細化ヲ防グ方法トシテ協同組合法案
ヲ出ス積リテ、其ノ一ツノ方法トシテ
協同組合法案ヲ出ス積リト云フ御話
ガアリマシタケレドモ、是ハ何時カノ
大臣ノ説明ノ中ニモアリマシタガ、是
マデ協同組合ト云フモノガ成功シナカ
タ、其ノ成功シナカッタ根本ノ理由ハ結
局農地制度デアリマス、詰リ協同組合ガ
成功シナカッタノハ、同ジ協同組合ハ
中ニ入ツテ居ル農民ノ中ニ、或ル者ハ
地主兼自作デアリ、或ル者ハ自作デア
リ、或ル者ハ自作兼小作デアルト云フ
風ナ分裂ガアル爲ニ、是ガ協同經營、
協同作業其ノ他ヲ困難ニシテ居ツタ
根本ノ原因デアリマス、協同組合法案
ニ依ツテ是等ヲ合理化スルト仰シヤツ
タ所デ、此ノ協同組合（行ク所ノ大キ
ナ原因ヲ、今度ノ農地改革ニ依ツテ今
マデ通り殘シテ置キナガラ、之ヲ合理
化スルト云フコトハ非常ニ困難ナコト
デアナイカ、本當ニ日本ノ農業ヲ近代
化シ、或ハ合理化スル爲ニハ、ヤハリ
土地問題ノ解決ヲ一番根本ノ目標トシ
ナケレバナラナイノデアナイカ、是ハ
ドウ云フ工合ニ御考ヘニナリマセウカ
○和田國務大臣 失禮致シマシタ、自
作農ニナツタ者ガ三十年間ニ互ツテ負擔
ヲ受ケテ居ルト云フ點デアリマスガ、
是ハ成程三十年間ニ互ツテ年賦償還ス
ル譯デアリマスガ、ヤハリ繰上償還ト
云フ途ヲ設ケテアル譯デアリマシテ、
自作其ノモノガ經營其ノ他ニ精進シテ
繰上償還ノ途ガ出來タ時ニハ、何時デ
モ繰上償還致シテ宜イノデアリマス、
隨テ結局ハ自作農ニナリマシタ者ガ拂
ヒマス年賦償還金ト云フモノガ、自作
農ニ取ツテ負擔デアルカドウカト云フ
コトニ歸著スルノデアナイカト思フノ

デアリマス、其ノ點ニ付テハ、私ハ先
刻御答ヘシタヤウナ工合ニ考ヘテ居リ
マス
ソレカラ協同經營ノ點ニ絡ンデハ過
小農ノ問題デアリマスガ、其ノ點ハヤ
ハリ日本ノ農業ノ一ツノ大キナ悩ミダ
ト考ヘテ居リマス、今回ノヤウナ土地
改革ヲ行ヒマシテモ、ソコニ過小農ノ
問題ハ殘ツテ參リマス、從來ノ協同
經營ガ失敗シマシタノハ、地主、小作
トノ間ノ協同經營ニアツタノデアリマ
シテ、其ノ際一番厄介デアツタノハ、
地代ノ問題ト努力ノ換算ノ問題、是ハ
表裏ニナツテ居ルノデアリマス、耕作
者ダケガ主ニナツタノ一ツノ協同的
モノハ餘リナカッタノデアナイカト思
フノデアリマス、隨ヒマシテ是ハ今後
ニ於ケル日本農村ノ過小農ニ對スル新
シイ一ツノ行キ方トシテ、私ハ今マデ
ノヤウナ産業組合ト云フヤウナ組織デ
ナシニ、生産面ニモ觸レ得ルヤウナ土
地ノ協同組合デアリマシタラバ、サウ
シテ耕作者トシテノ共通ノ面其ノ他ニ
於テ相當ノ事柄ヲ行ヒマスナラバ、多
少トモ過小農ノ問題ヲ解決スル一ツノ
方法デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○高倉委員 先頃カラ農業恐慌ノ問題
ガ度々問題ニナツテ居リマシタガ、我
我ハドウシケナイ時ガ來テ居ルノ思
ナケレバウシケナイ時ガ來テ居ルノ思
フ、是ハ隨サンガオ見エニナリマセヌ
カラ、モウ一度和田サンニ御伺ヒ致シ
マス、今後ノ農業恐慌ハ、是マデア
ル所ノ資本主義生産様式カラ來ル不景氣
ト同時ニ、日本ノ農業ノ生産力ノ低
位、詰リ國際的競争力ノ弱サト云フ點
ガ重ナツテ來ル所ノ、是マデノ日本ノ
農業ニ未ダ曾テナイ農業恐慌デアルコ
トニハ間違ヒアリマスマイ、是マデノ

日本ノ農業ハ土地ニ非常ニ多クノ努力
ヲ投下シマシテ、ソレニ依ツテ辛ウジ
テ或ル「レベル」ノ生産力ヲ擧ゲテ、隨
テ「コスト」ノ高イ農業デアリマシタ、
ソレヲ守ル爲ニハ、關稅ヲ設ケ、輸入
制限、輸入禁止等ノ方法ニ依ツテ居リ
マシタ、所ガ今度ノ敗戦ニ依ツテソレ
等ノ方法ガ全然缺レナクナツテ參リマ
シタカラ、遅カレ早カレ我が國ノ農業
生産品ハ世界的自由競争ノ中ニ抛リ
込マナケレバナラナイ、其ノ爲ニ「コ
スト」ノ高イ日本ノ農業生産品ハ生産
費ノ低イ原始的生産ノ南方ノ米、又極
メテ生産力ノ近代化シタ「アメリカ」
「カナダ」ノ小麦ト競争シナケレバナラ
ナクナル、最近私ガ計算シマシタ所デ
モ、大體一「ドル」ヲ十五圓ト換算シマ
シテ、「シヤム」ノ米一石ガ百二十圓ト
云フ勘定ニナリマス、又「カナダ」ノ小
麥一石ガ百三十一圓五十五錢ト云フ計
算ニナリマス、此ノ外國ノ米、小麦
ト日本ノ今日一石六百圓—六百圓
ト云フ買上値段ガ付ケラレルカドウカ
問題ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、
ソレ等ノ農業生産品トガ嫌デモ應デモ
競争シナケレバナラナイ、斯クノ如キ
恐ロシイ恐慌ニ堪ヘル爲ニハ、日本ノ農
業ヲ飽クマデモ近代化シ集團化シテ置
カケレバナラナイ、所ガ今度ノ農地
調整法ニ依リマス、嫌デモ應デモ零
細化セザルヲ得ナイ状態ニナツテ居ル
先程カラ、早く土地ヲ買上ゲル方法
モアルト云ハレマスケレドモ、ソレハ
種メテ少数ノ農民デアツテ、農民全體
ガ今買ヘル譯デアナイ、結局土地ノ問
題ガ解決スルノハ、此ノ法案ニアルヤ
ウニ三十年後ト考ヘナケレバナラナ
イ、所ガ恐ルベキ農業恐慌ハ直グ眼ノ
前ニ迫ツテ居ル、此ノ時ニ當ツテサウ

云フ悠長ナ考ヘヲ以テ果シテニ對ス
ル邊ガ開カレルカドウカ、我々ハ一刻
モ早く根本的ノ土地問題ヲ解決シ、日
本ノ農業ヲ近代化シ、合理化シ、隨テ
「コスト」ヲ低クシテ世界的ナ競争ニ堪
ヘル所ノ對策ヲ立テ置カケレバナラ
ナイノデアナイカ、然ルニソレニ對
シテハ何等ノ方法モ立テズ、斯クノ如
キ不徹底ナ農地改革ヲナサルト云フコ
トハ、結局ニ於テ日本ノ農業ニ大キナ
破綻ヲ來サセル原因ヲ作ツテ居ルノデ
ハナイカ、斯ウ云フ工合ニ考ヘマス
ガ、之ニ對スル御意見ハ如何デアリマ
スカ

○和田國務大臣 世界恐慌ガドウ云フ
形デアラスカハ、今後ノ問題デアリマ
シテ、明快ナ御答ヘハ誰モ出來ナイト
思ヒマスガ、唯、日本ノ農業ガ他ノ國
ノ農業ト一ツノ競争關係ニ立ツコトダ
ケハハツキリシテ居リマスガ、其ノ時
ニ、今度ノ農地改革ガ自作農ニナル者
ハ三十年ノ後ニナツテ初メ自作農ニ
ナルノダカラ、非常ニ堪ヘル力ガ弱イ
ノデアナイカ、斯ウ仰シヤイマスガ、
又ソレト同時ニ、經營ノ零細化ト云フ
コトヲ言ハレルノデアリマスガ、經營
ノ零細化ニ付キマシテハ、日本ノ農業
ノ自體ガ全部ガ全部零細ナ農家デハナ
イ、結局零細ナ生産力ノ低イ農家ト云
フモノニ對シテ一番競争ノ波ガ強ク當
ツテ來ル、私ハ斯ウ思フ、ソレニ付テ
ハ、一ツノ考ヘ方ハ、ヤハリ日本ノ農業
ヲ全體トシテ多角化シテ行ク、謂ハバ
適地適作ト云フ事柄ヲ日本全體ニ於テ
ヤツテ行クト云フコトト、局所ノニハ
ヤハリ只今言ヒマシタヤウニ、協同組
合トカ其ノ他ノ組織ノ力ニ依ツテソレ
ニ堪ヘテ行ク、斯ウ云フコトガ農民ノ
側ニ於テナスベキ一ツノ事柄デアルト

思フノデアリマス、ソレカラ、日本ノ
農業生産力ハ、成程アメリカ等ノ生
産力ニ比ベマスレバ低位デアリマス
ガ、東亞ノ農業地域ニ比ベバ相當高
イト思フノデアリマシテ、其ノ高イ
生産力ト云フモノハ、結局其「コスト」
ヲ今少シク低メルコトニ依ツテ尙ホ對
抗力ガ出テ來ル譯デアリマスノデ、ソ
レ等ノ點ニ付テハ、今後ノ問題ト致シ
マシテ、ヤハリ農民側ニ於キマスル組
織化ノ問題ト同時ニ、政府ニ於テモ經
營指導ノ方法ト云フコトニ付テ十分心
ヲシテ行クベキダト考ヘテ居ル次第デ
アリマス

○高倉委員 尙ホ最後ニ一言申上ゲテ
置キタイコトハ、南方ノ農業ト比ベテ
日本ノ農業生産力ハ高イデアナイカト
云フコトヲ仰シヤイマシタガ、是ハ理
由ニナラナイト思フノデス、詰リ、南
方ノ農業ト比ベテ日本ノ農業ハ確カニ
進ンデ居リマスガ、其ノ進ンデ居ル原
因ハ、今申シマスヤウニ、耕地面積ニ
非常ニ澤山ノ勞働力ヲ投下スルコトニ
依ツテ進ンデ居ラマシテ、隨テ其ノ爲
ニ南方ノ農業ト競争ガ出來ナクナツテ
居ル、同時ニソレデアアルカラ「アメリ
カ」、「カナダ」ノ農業トモ競争ガ難カ
シクナツテ居ルノデアアル、ソレダカラ
我々ハ、此ノ日本ノ農業ヲドテラニモ
競争ノ出來ル「コスト」ノ低イ農業ニシ
ナケレバナラヌ、其ノ爲ニハ土地ノ問
題ヲ根本的ニ解決シナケレバナラナイ
ノデアナイカト質問シタレバナラナイ
テ、マデ完全ナ御返事ヲ得マセヌガ、
是等ノコトニ付キマシテハ、更ニ逐條
審議ノ時ニ斯ウ云フ點ニ付テモ質問ヲ
許サレルト云フコトヲ御合ミ願ヒマシ
テ、一應是デ止メルコトニ致シマス

○葉梨委員長 此ノ際委員諸君ニ御話

此ノ際委員諸君ニ御話

リシタイコトゴザイマス、ソレハ委員外議員ノ布利秋君カラ發言ヲ求メラレテ居ルノデアリマス、是ハ實ハ數日前カラ求メラレテ居ルノデアリマス、通告者ノ御發言ガ濟ンダ後ト思ツテ、委員長ハ皆サンニ御話リスルノヲ今日マデ延期シテ居ツタノデアリマスガ、本日、時刻ハモウ定刻ニナツテシマツテ居ルノデアリマスガ、皆サンノ御意向ニ依ツテ、本日之ヲ許可スルカ、或ハ逐條審議ニ入ル前ニ時間ヲ切ツテ之ヲ許可致シマスカ、ドウ致シタラ宜シウゴザイマセウカ、諸君ノ御意見ニ俟チタイト思ヒマス、ソレデハドウデスカ、布君ノ立場モ、實ハ皆サン御承知カモ知レマセヌガ、非常ニオ氣ノ毒ナ立場ニアツテ、無所屬ノ中ノ委員ヲ辭任サレタリ何カシテ、オ氣ノ毒ナ立場ニアリマスノデ、諸君ノ御諒解ヲ得ラレ、バ、僅カノ時間デモ、逐條審議ニ入ル前ニ、本日ハ別ト致シマシテモ、諸君ノ御許シガ願ヘレバ、委員長ハ發言ヲ時間ヲ切ツテ御許シタイ氣ガシテ居リマス、ソレデハ本日ハ此ノ程度デ質疑ヲ打切ルト同時ニ散會シマシテ、次會ハ明後日午前十時カラ逐條審議ニ入リタイト思ヒマス、本日はニテ散會致シマス

午後五時二分散會

(參照)

自作農創設特別措置法案外一件
委員會要求參考資料

二十二、戰時ニ於ケル軍使用ノ工場等ノ敷地面積及ビ耕作地軍買上ゲ面積調

二十三、各府縣別昭和二十一年度田畑作附面積表

二十四、同 米收穫豫想量ト平年

トノ對照表

二十五、同 甘藷收穫豫想量表

二十六、同 馬鈴薯、麥ニ對シテ放出セル肥料總數量並ニ其ノ報價歩合

調

二十七、同 產米、甘藷ニ對スル肥料放出豫定數量表(實當リ又ハ依

當リ、並ニ其ノ期日)

二十八、同 昭和二十一年度春期麥及ビ馬鈴薯ノ收穫豫想量ト主要食糧トシテノ供出見込數量表

二十九、同 米穀年度ノ米、麥、馬鈴薯及ビ甘藷ノ供出量ト二十一年度トノ對比表

三十、同 昭和二十一年度產米、甘藷及ビ昭和二十一年度馬鈴薯、麥

ノ綜合供出割當表及ビ同米換算表

並ニ農家ノ自家用米數量表(米以外ノモノモ各別ニシ並ニ合計米換算)

三十一、昭和二十一年五月ヨリ同年九月迄ノ聯合軍ヨリ放出セル主要

食糧調(數量ハ米換算)

以上

昭和二十一年十一月九日印刷

昭和二十一年十一月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局